

組立・施工説明書

軒天パネル 折板カーポート用



改訂 ・規格 D36 を追加しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は、「軒天パネル」の組み立て・施工について説明しています。
各折板カーポート 本体に同梱の組立・施工説明書をあわせてご覧ください。

目次

■組立・施工の前に	P.1
■全体構成図	P.1
■商品断面図	P.2
■施工の流れ	P.5
■寸法図 4本柱 ◀改訂	P.6
■梁・補強材・下地材の加工 4本柱 ◀改訂	P.9
■寸法図 6・8本柱 ◀改訂	P.20
■梁・補強材・下地材の加工 6・8本柱 ◀改訂	P.26
■軒天材の切断 ◀改訂	P.46
■梁・柱の取り付け	P.49
■補強材の取り付け	P.50
■下地材の取り付け	P.55
■スターターの加工・取り付け	P.56
■エンドベースの加工・取り付け	P.57
■軒天材の取り付け	P.58
■吊金具の取り付け	P.60
■エンドカバーの取り付け	P.61
■結露受けの取り付け (オプション) ◀改訂	P.62
■目板カバーの取り付け (オプション) ◀改訂	P.63
■同梱一覧 ◀改訂	P.64

■組み立て・施工の前に

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組み立て・施工の前に…

商品を正しく組み立て・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組み立てについては必ず説明書に従ってください。

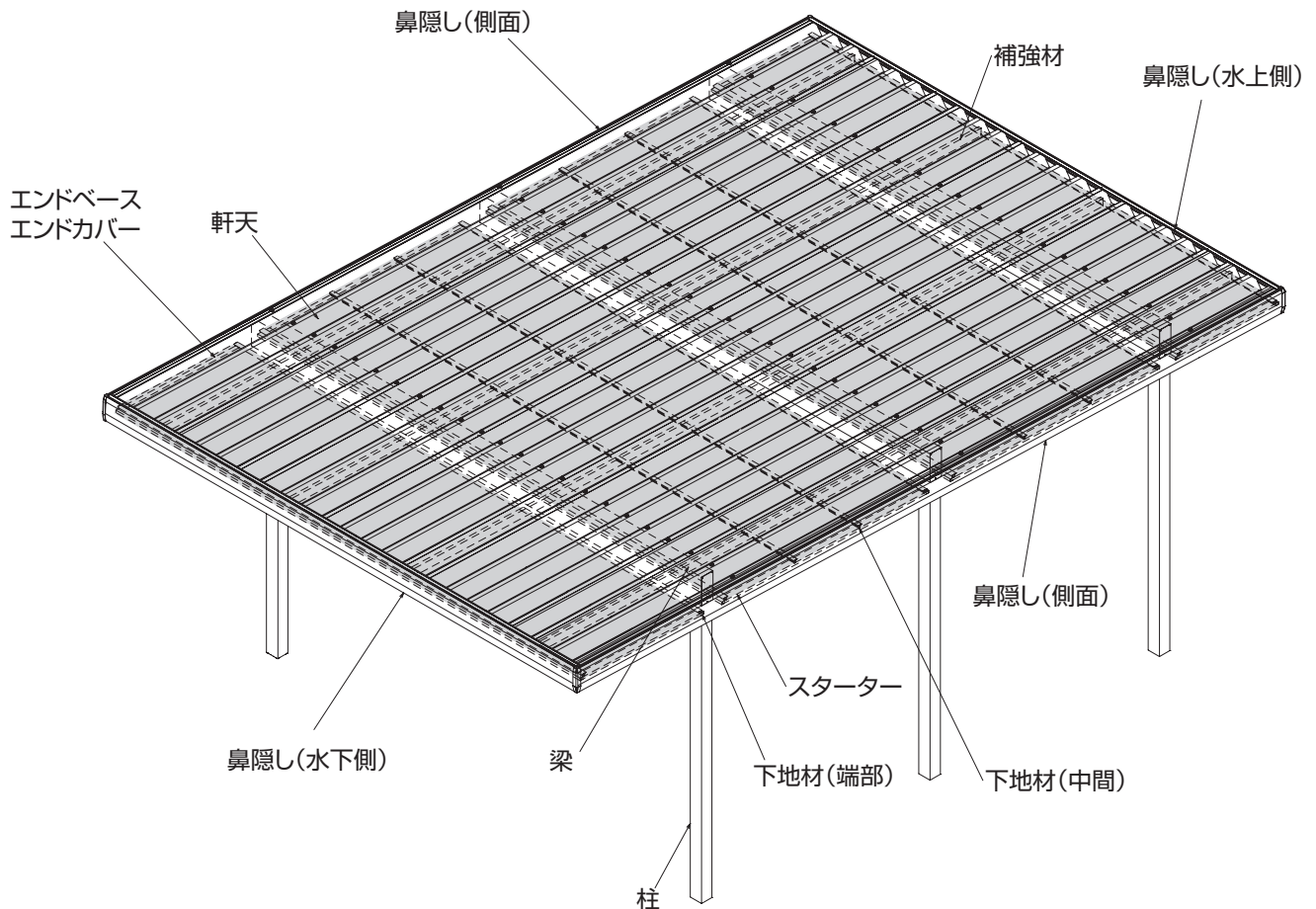
組み立て・施工の後に…

取扱説明書・使い方 & お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

お願い

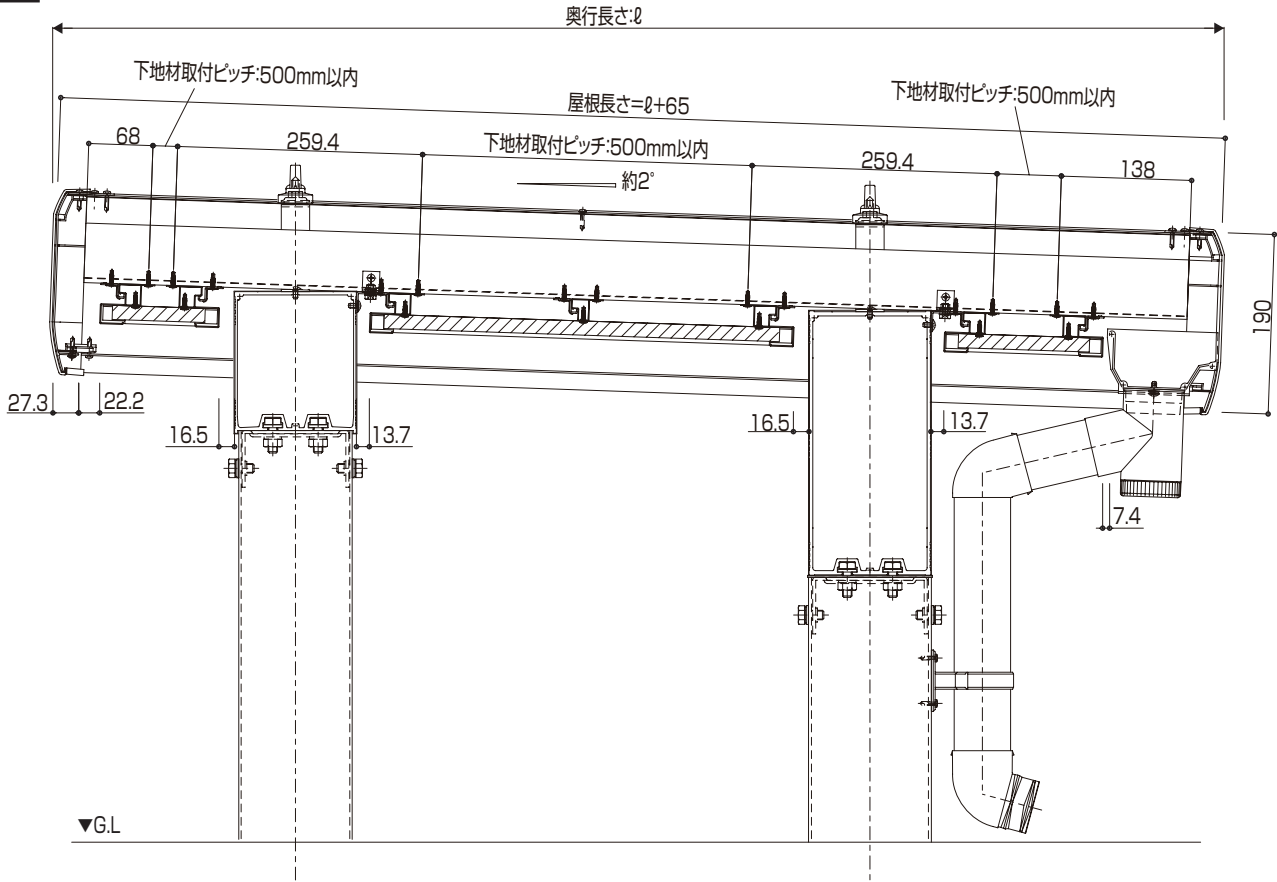
- 組み立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は事故の原因になります。
- ユニットの組み替えなどにより製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損・物損）の原因になります。

■全体構成図

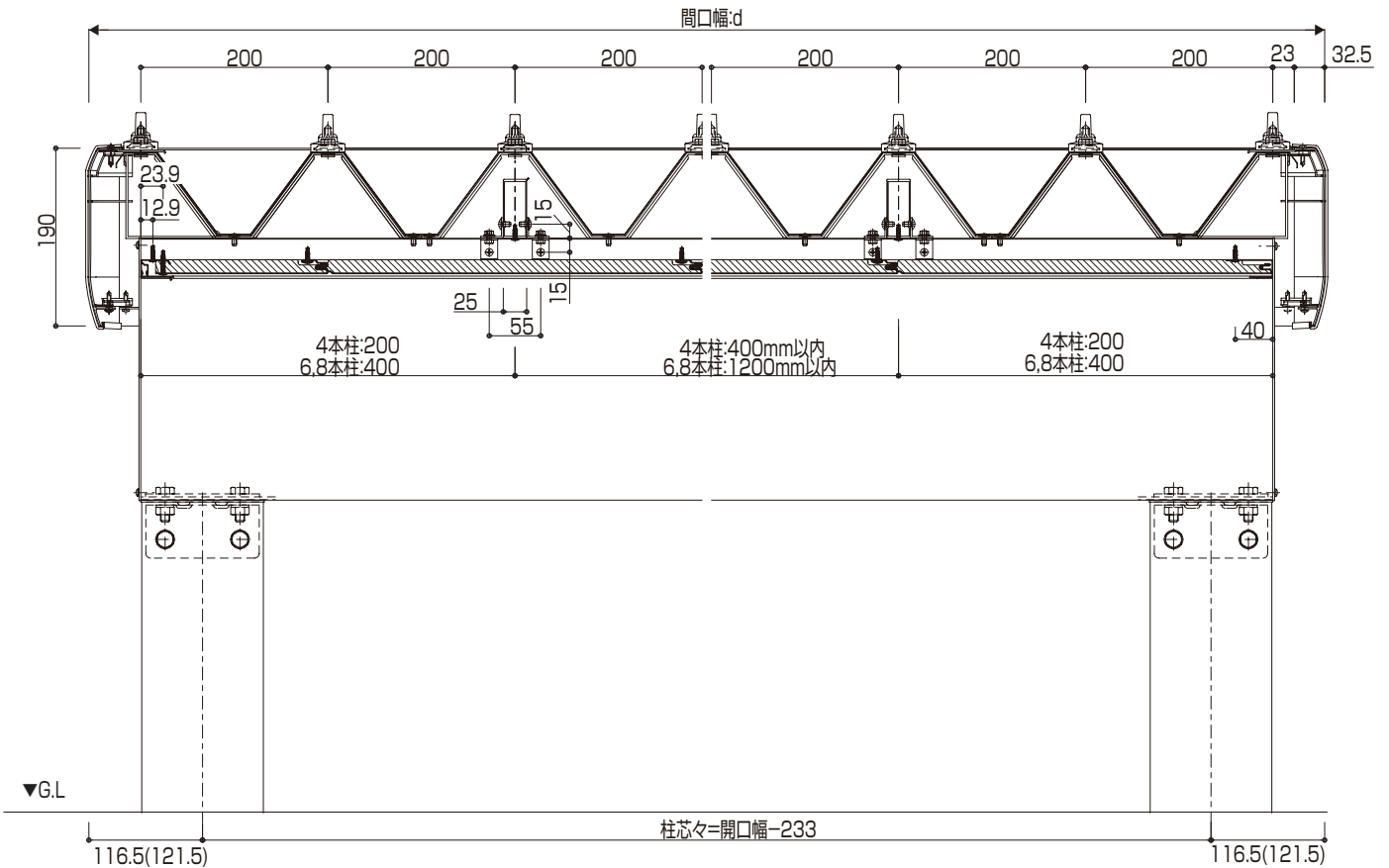


商品断面図

4本柱 <奥行断面>

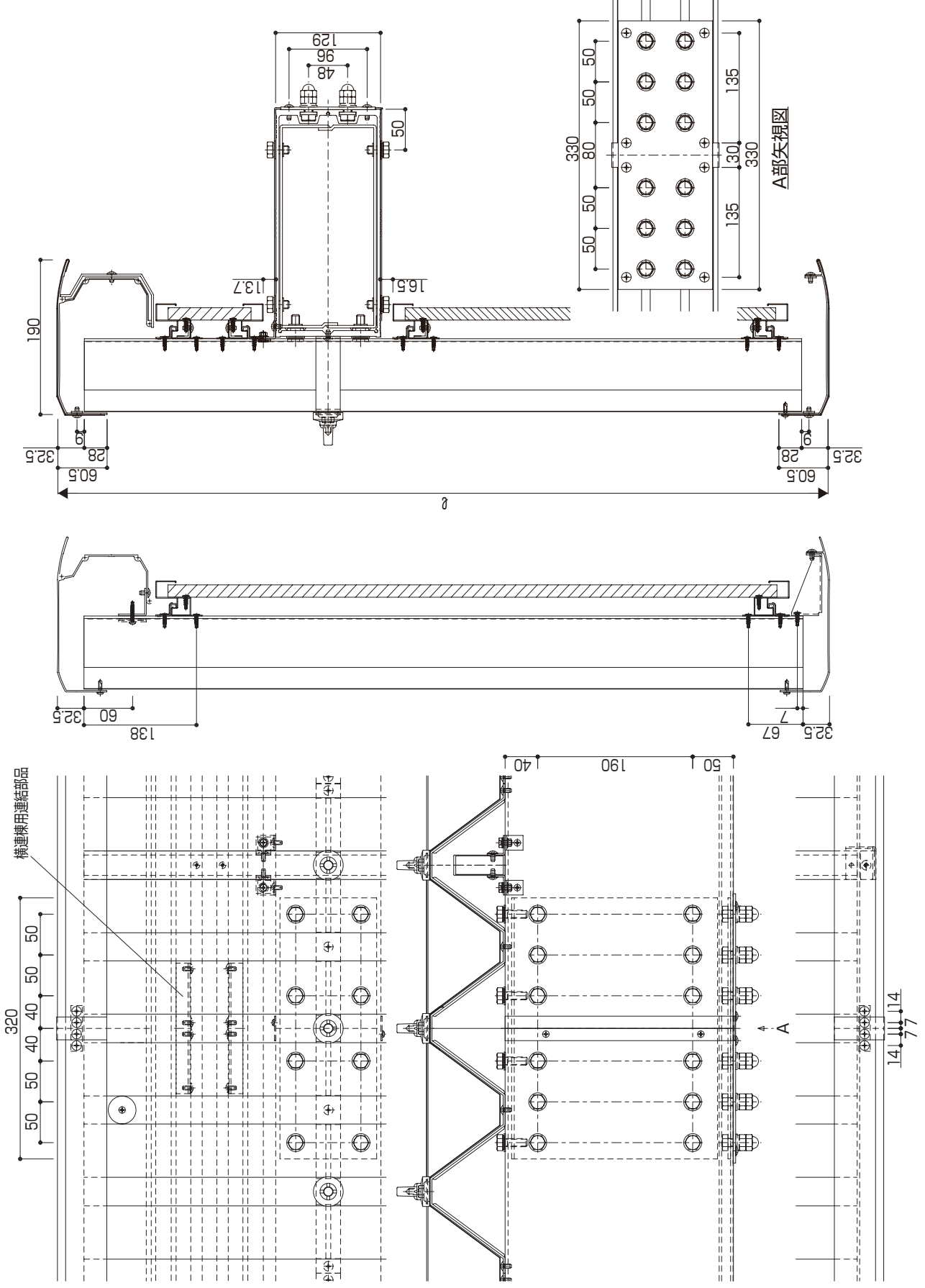


4本柱 <間口断面>

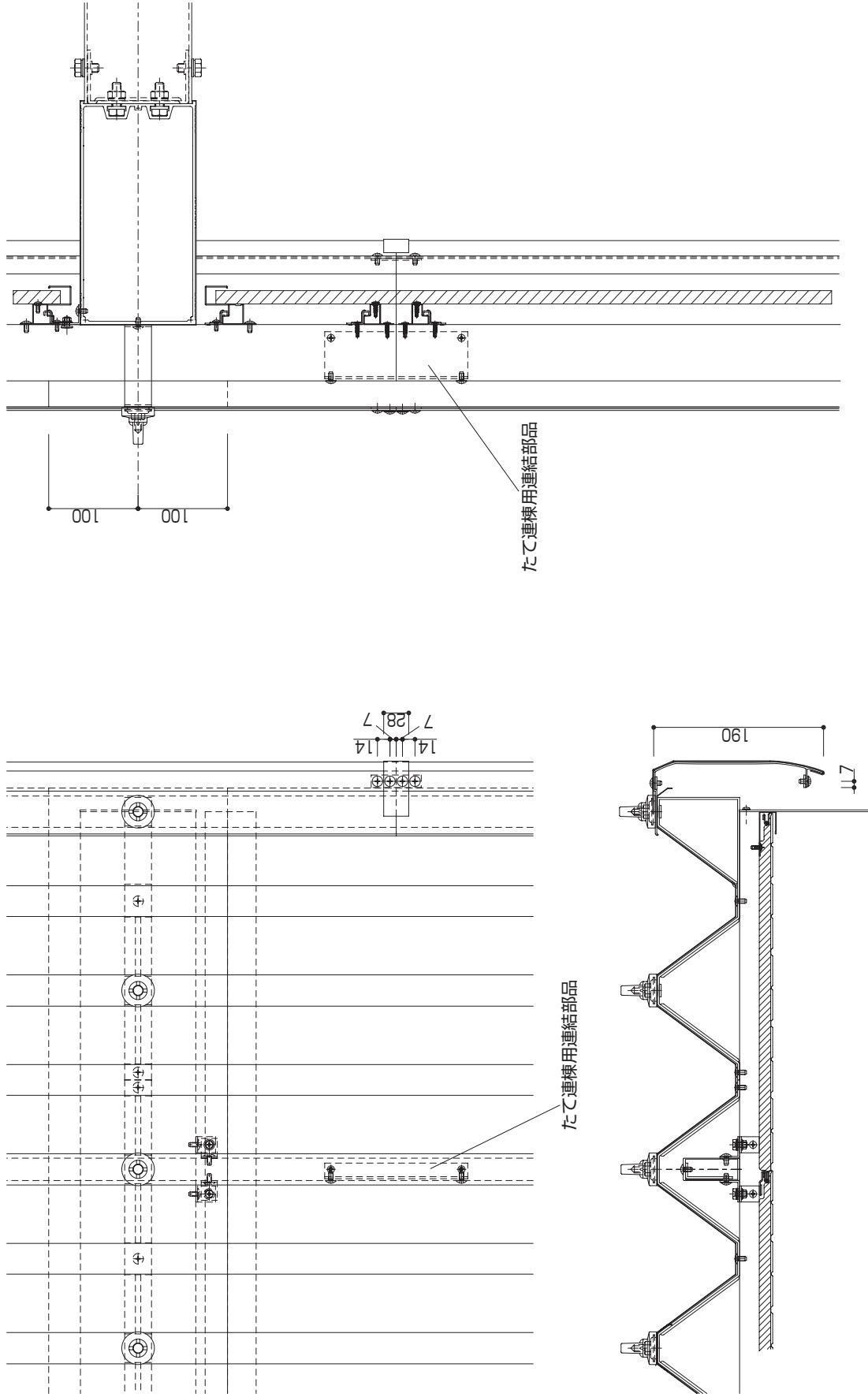


()内寸法は□130柱の場合

<横連棟：屋根部詳細図>



<たて連棟: 屋根部詳細図>



■施工の流れ

○本体 組立・施工説明書参照
 ●軒天パネル 組立・施工説明書参照

単体	たて連棟	横連棟	項目	ページ		
●	●	●	 ■梁・補強材・下地材の加工 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>4本柱</td></tr> <tr><td>6・8本柱</td></tr> </table>	4本柱	6・8本柱	9
4本柱						
6・8本柱						
				26		
●	●	●	 ■軒天材の切断	46		
○	○	○	 ■柱の切断・加工	—		
—	○	○		■鼻隠しの切り詰め・加工	—	
●	●	●	 ■梁・柱の取り付け	49		
—	—	○	 ■連棟柱の部品付け、梁連結材の取り付け、梁の連結、梁カバーの取り付け	—		
●	●	●		■補強材の取り付け	50	
○	○	○	 ■横材の取り付け	—		
○	○	○		■コンクリートの打ち込み	—	
○	○	○		■折板・鼻隠し(側面)の加工	—	
○	○	○		■折板の取り付け	—	
●	●	●		■下地材の取り付け	55	
●	●	●	 ■スターターの加工・取り付け	56		
●	●	●	 ■エンドベースの加工・取り付け	57		
●	●	●	 ■軒天材の取り付け	58		
●	●	●	 ■吊金具の取り付け	60		
●	●	●	 ■エンドカバーの取り付け	61		
○	○	○		■鼻隠し(側面)の取り付け	—	
○	○	○		■鼻隠し(水上側)の取り付け	—	
—	—	○		■鼻隠し(水上側)の連結	—	
—	—	○		■鼻隠し(水下側)の連結	—	
○	○	○		■鼻隠し(水下側)の取り付け	—	
○	○	○		■雨樋の取り付け	—	
●	●	●		■結露受けの取り付け(オプション)	62	
●	●	●		 ■目板カバーの取り付け(オプション)	63	

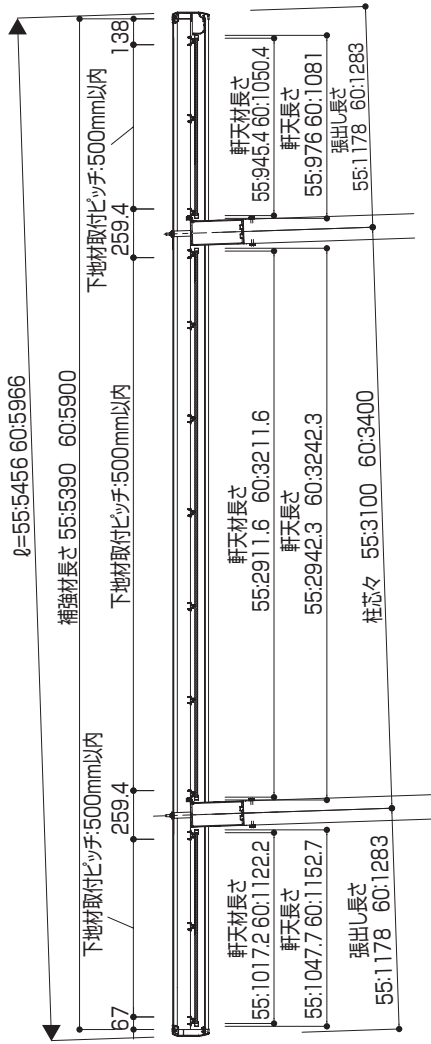
寸法図

4本柱

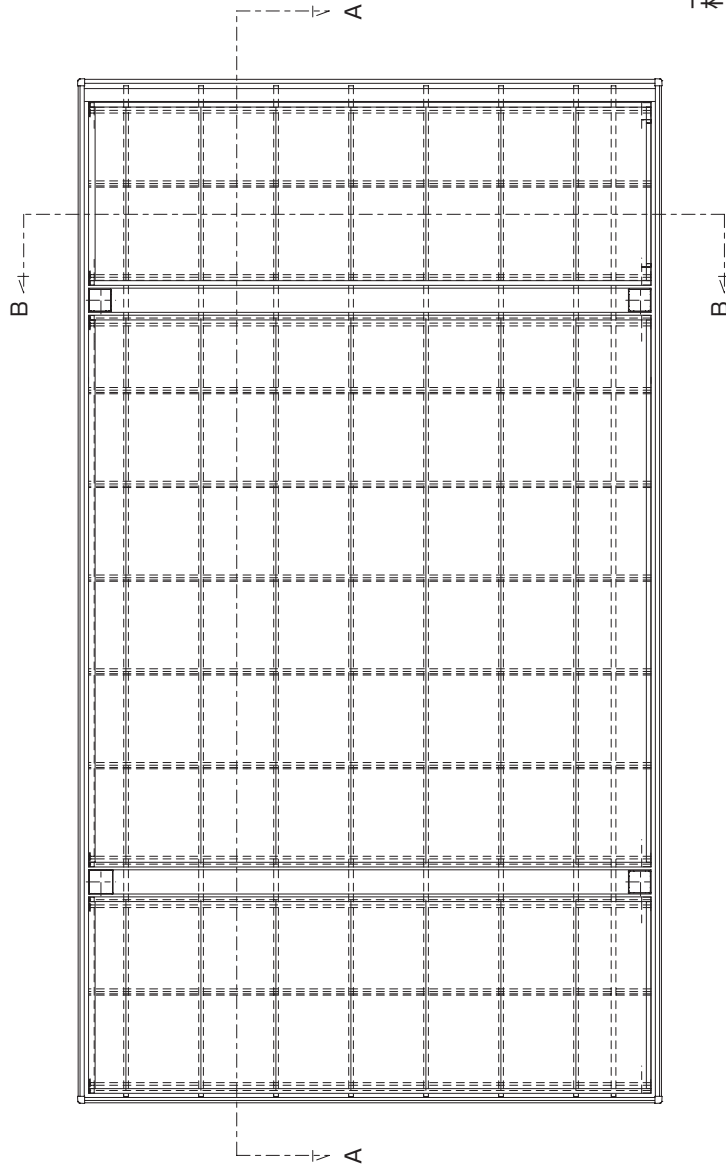
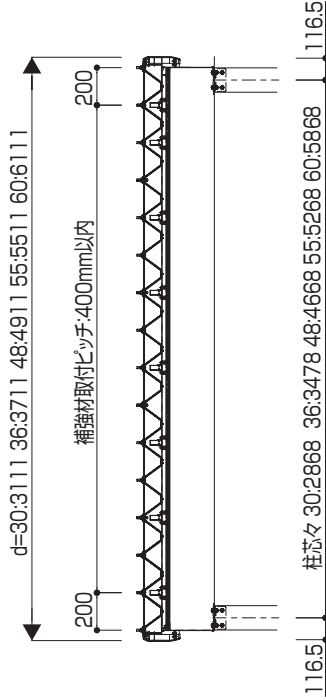


<単体>

A-A断面



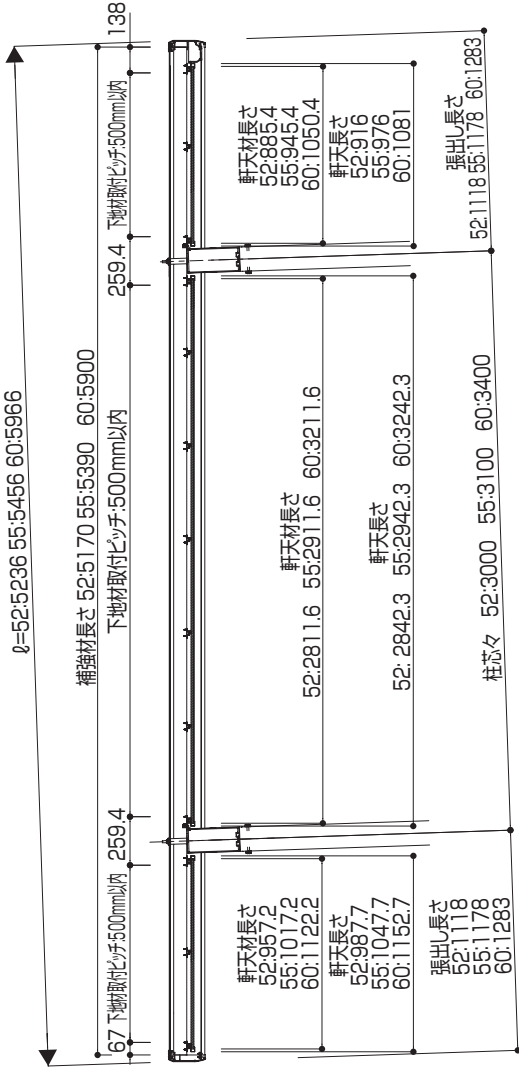
B-B断面



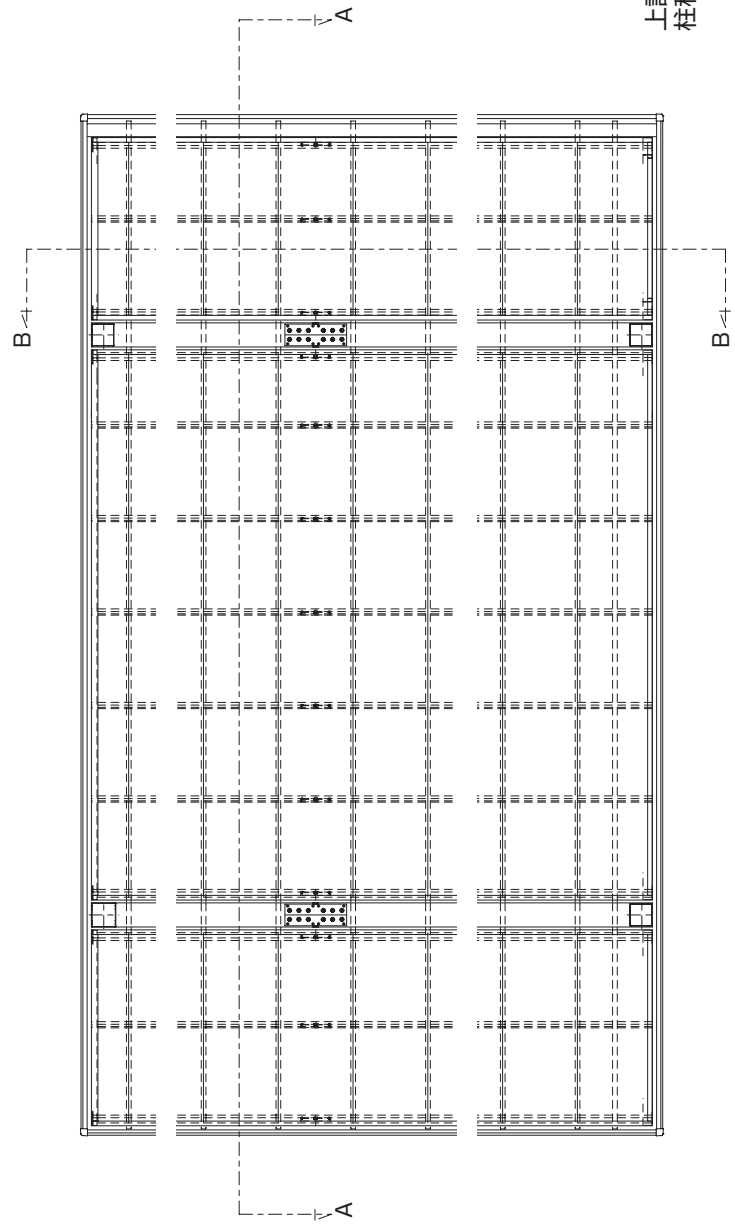
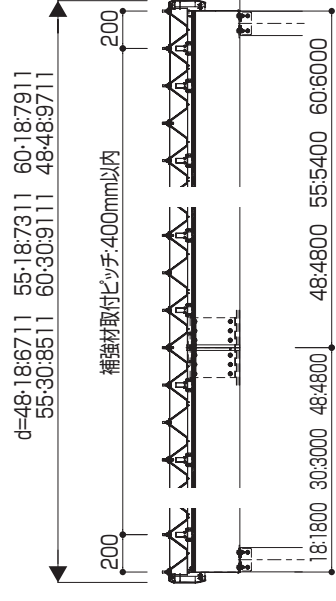
上記寸法は標準寸法で表しています。
柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

<横連棟>

A-A断面

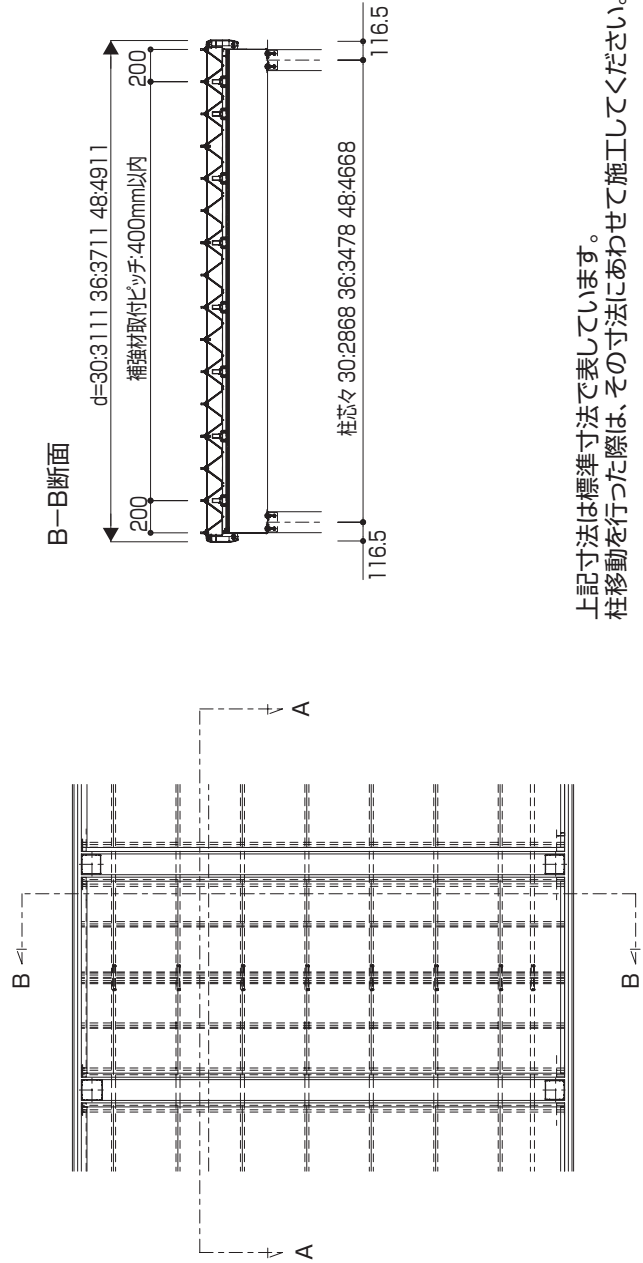
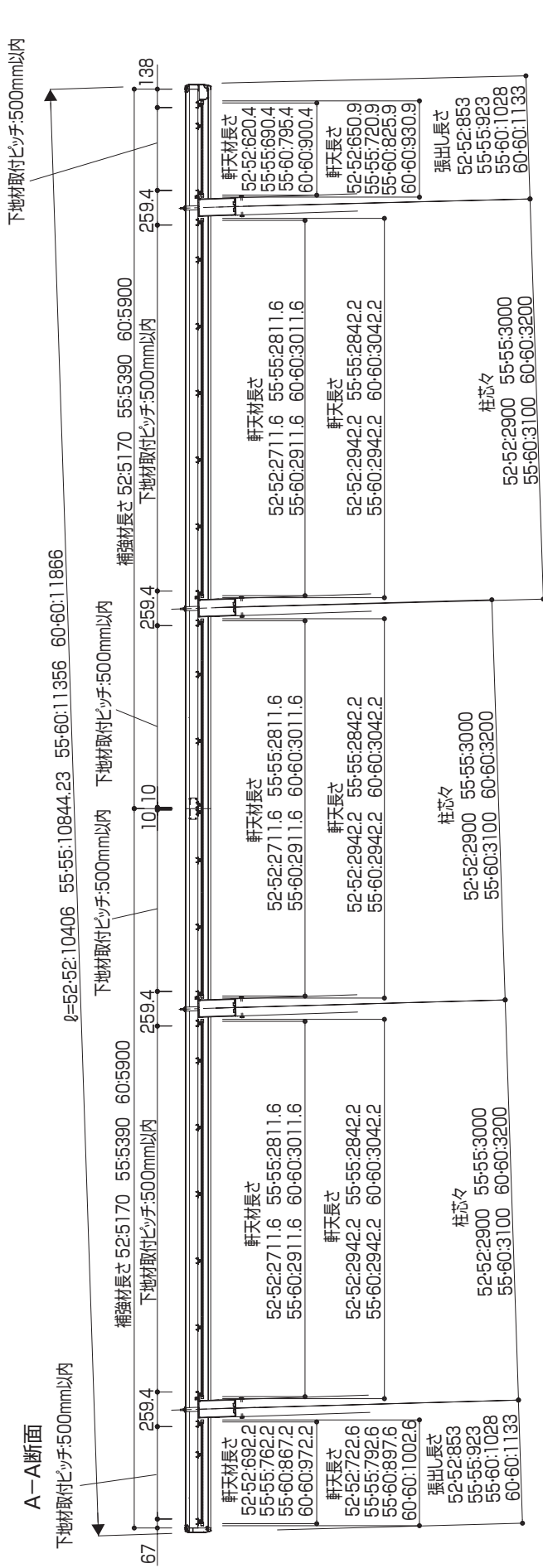


B-B断面



上記寸法は標準寸法で表しています。
柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

<たて連棟>



上記寸法は標準寸法で表しています。柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

■梁・補強材・下地材の加工

4 本柱



梁の加工

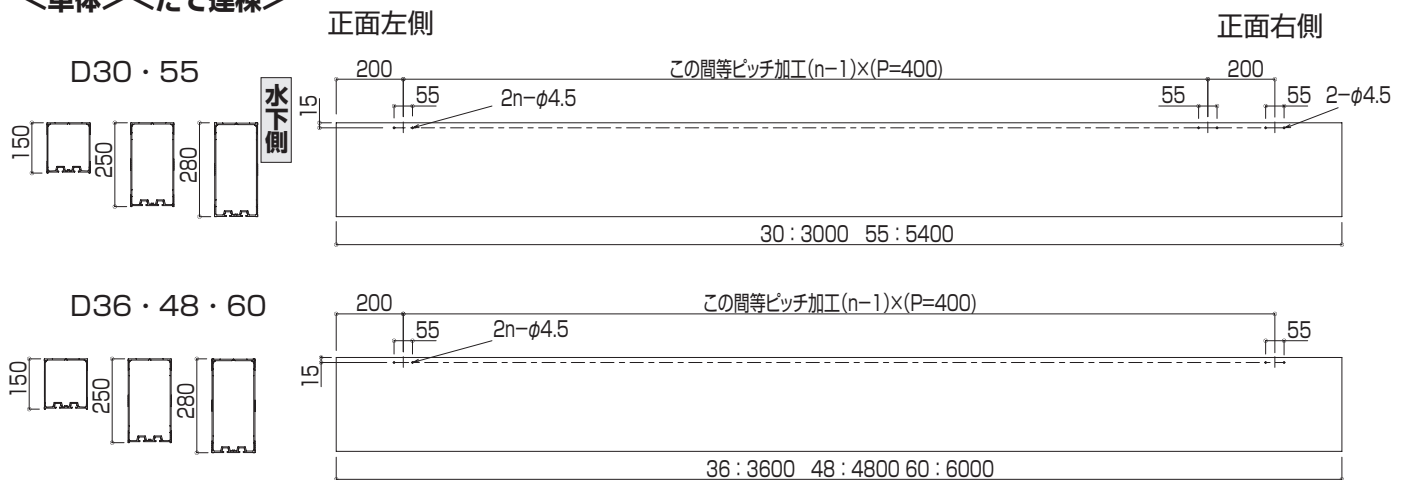
下図の位置に下穴(φ4.5)の穴加工をしてください。

お願い

水下側となる面に加工をしてください。

間口幅 : D	L	n	P
30	3000	7	400
36	3600	9	
48	4800	12	
55	5400	13	
60	6000	15	
48・18	6600 (4800+1800)	12	
60・18	7800 (6000+1800)	15	

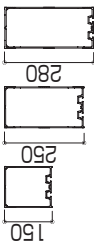
<単体> <たて連棟>



梁の加工

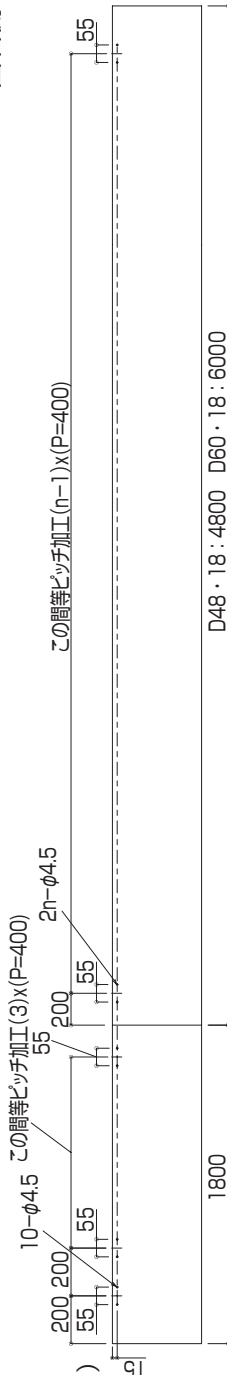
<横連続>

D48・18 D60・18(D80)

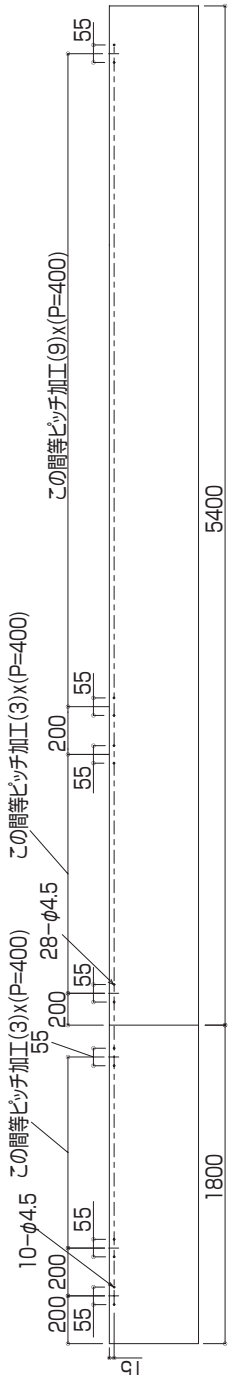
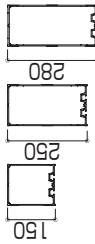


正面左側

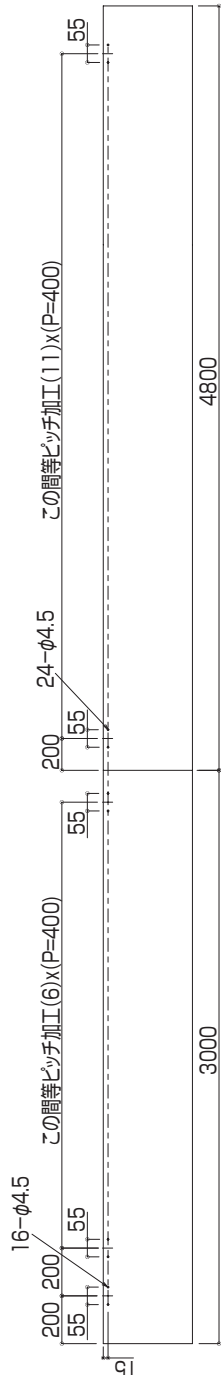
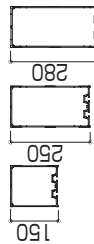
正面右側



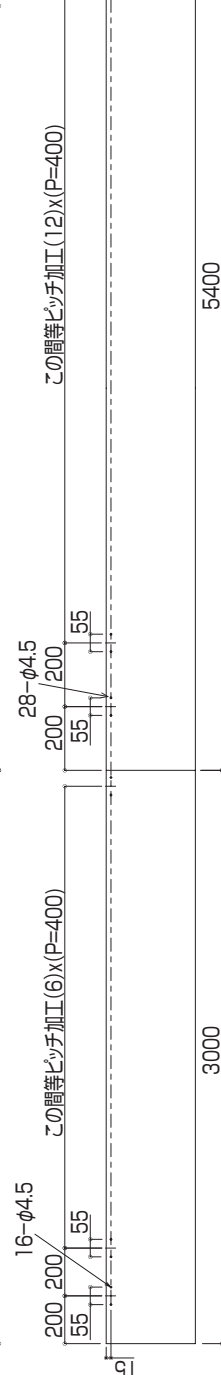
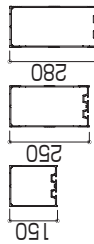
D55・18



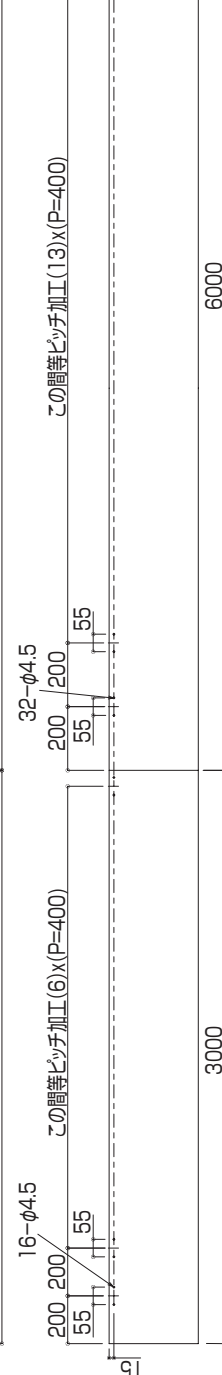
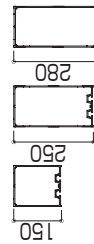
D48・30



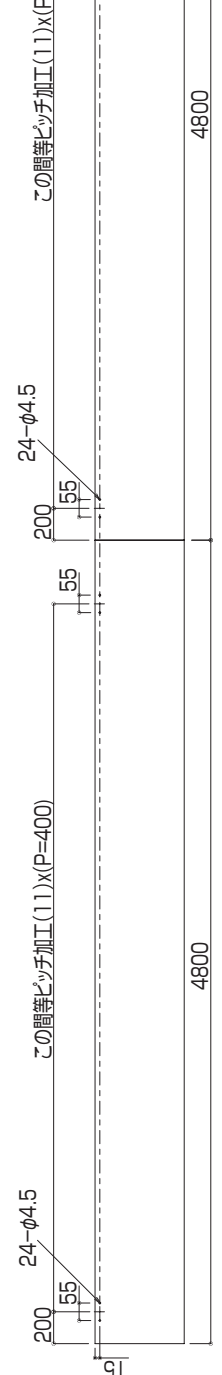
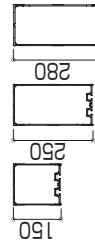
D55・30



D60・30



D48・48

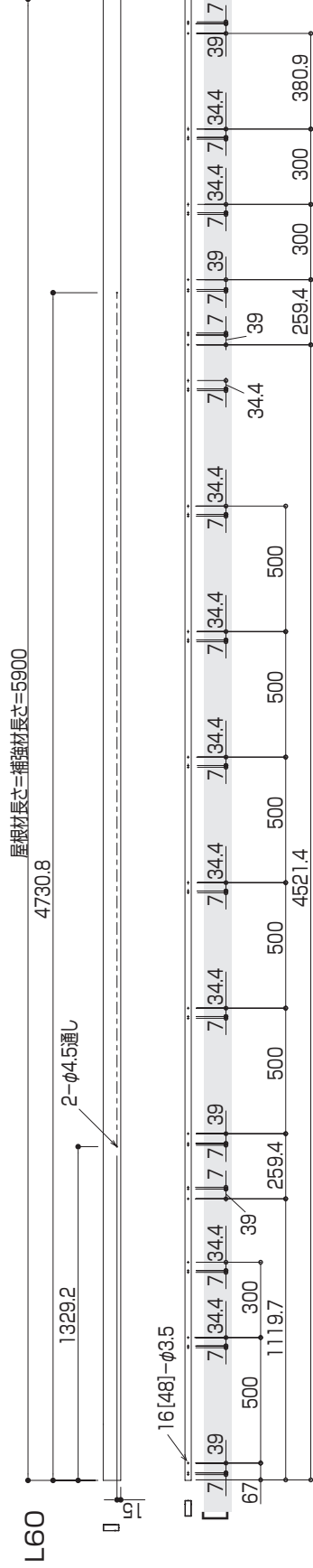
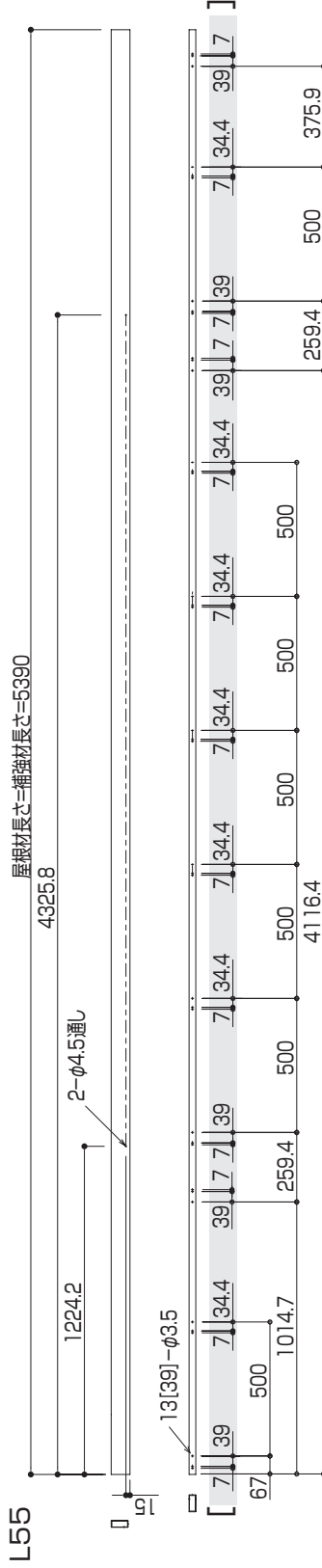
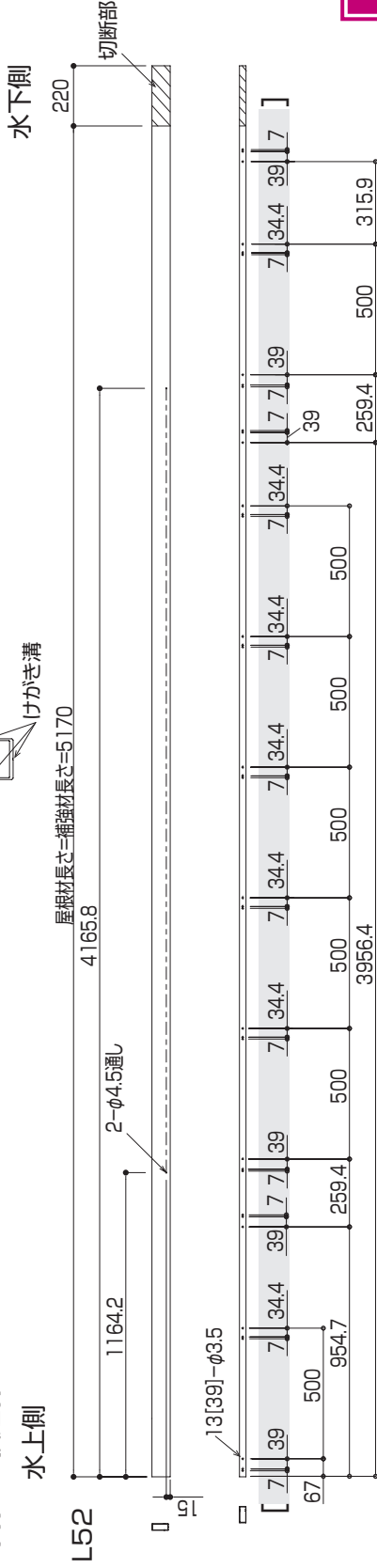
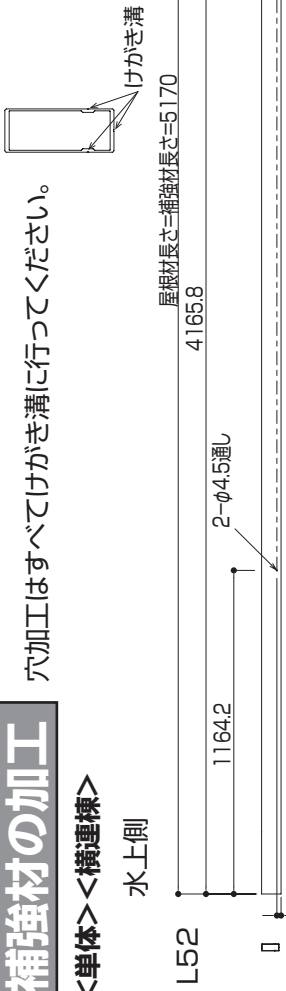


水下側

補強材の加工

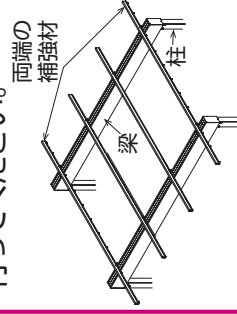
穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

＜単体＞＜横連続＞



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。

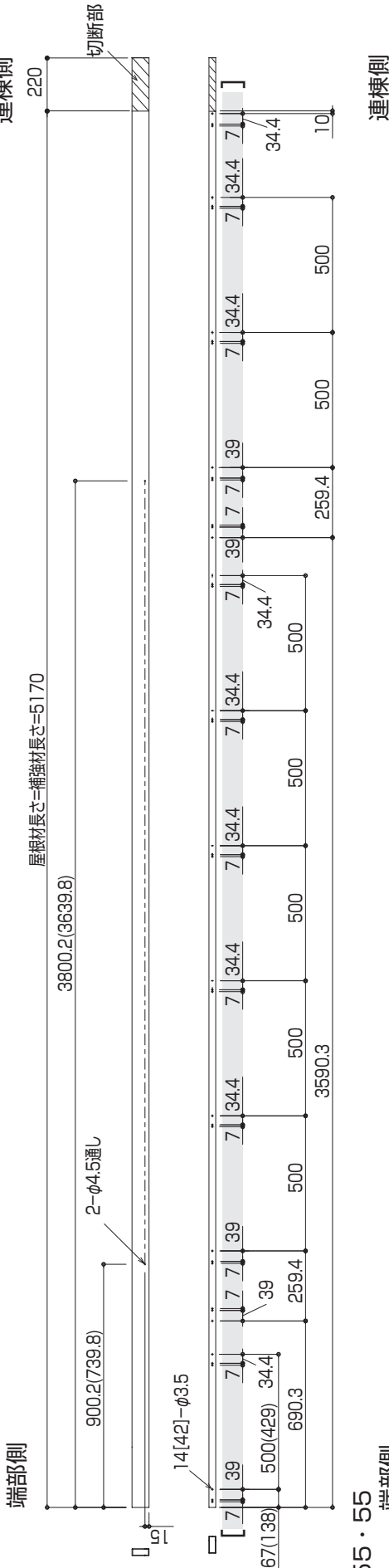


穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

補強材の加工

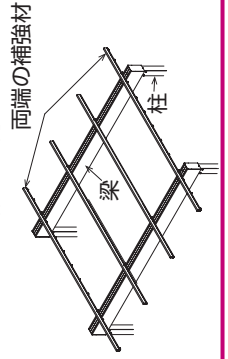
<たて連棟>

L52・52

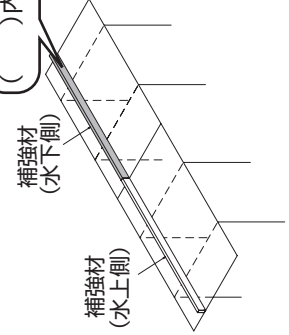


注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。



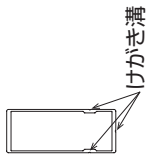
()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する補強材の加工寸法を表しています。
補強材の入り数の半数本を水上側加工、半数分を水下側加工(()内寸法)で加工してください。



4本柱

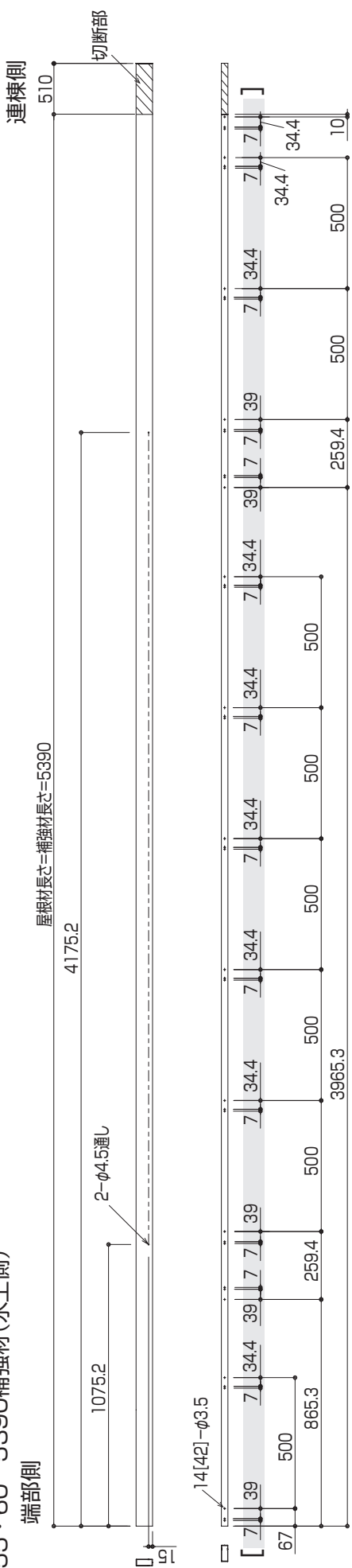
補強材の加工

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

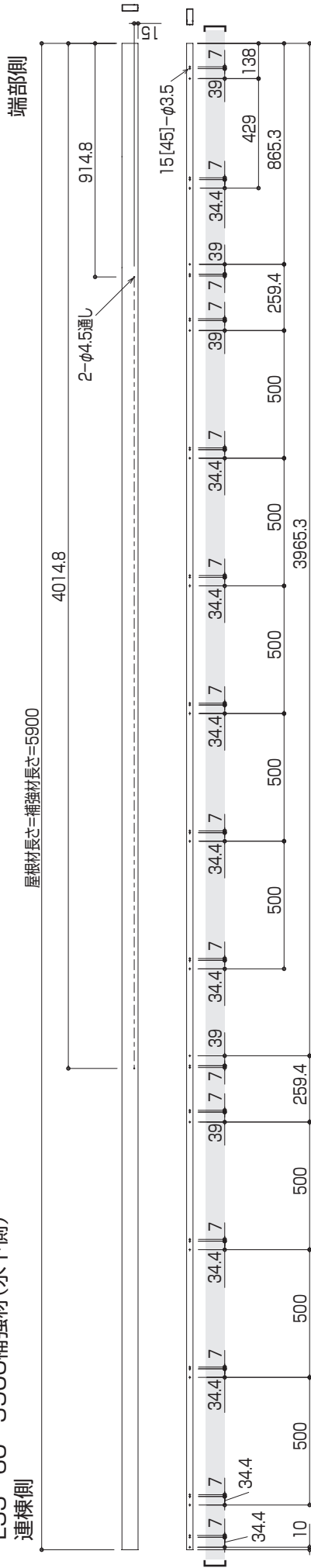


<たて連棟>

L55・60 5390補強材(水上側)

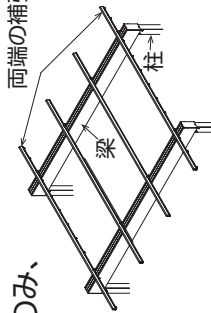


L55・60 5900補強材(水下側)



注意

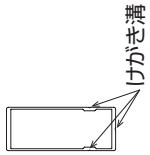
間口から見て両端の補強材2本にのみ、
[]内の加工を行ってください。



補強材の加工

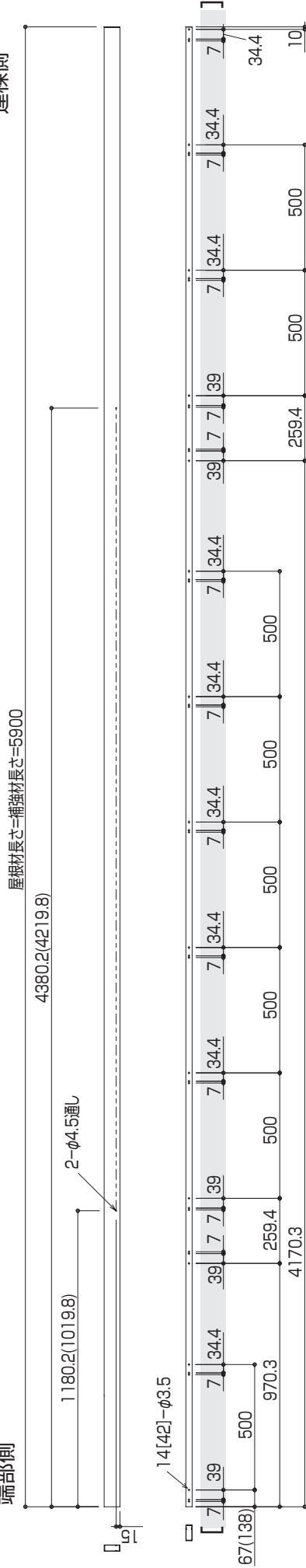
<たて連棟>

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

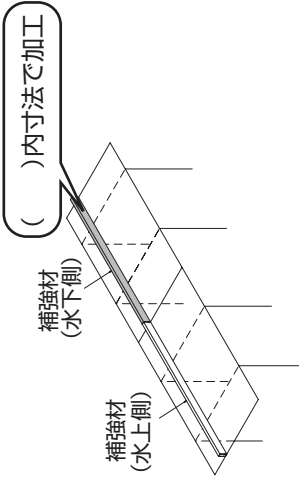


L60・60
端部側

連棟側

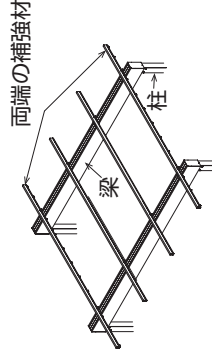


()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する
補強材の加工寸法を表しています。
補強材の入り数の半数本を水上側加工、
半数分を水下側加工(()内寸法)で加工
してください。



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、
[]内の加工を行ってください。



4 本柱

下地材の加工

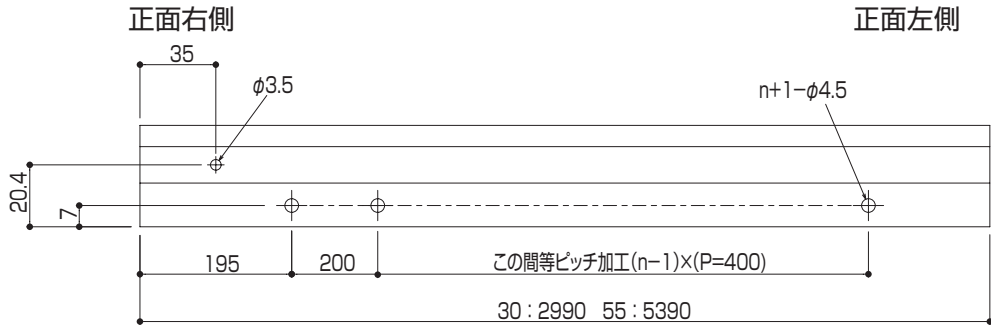
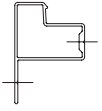
改訂

下地材(中間)

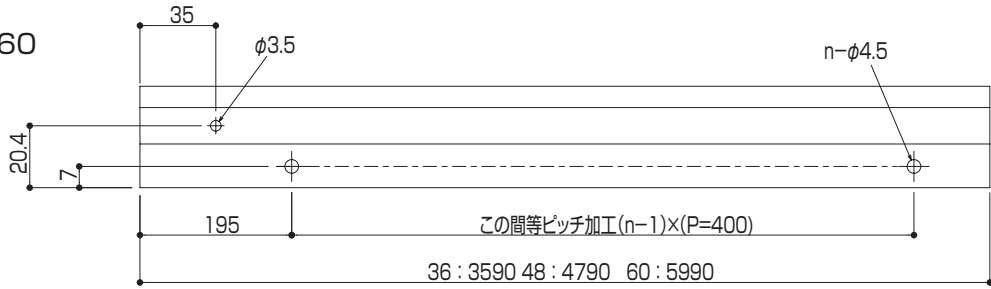
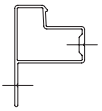
<単体> <たて連棟>

D	n	P
30	7	400
36	9	
48	12	
55	13	
60	15	
48・18	9	
55・18	9	
60・18	12	
40・30	12	
55・30	12	
60・30	13	
48・48	12	

D30・55



D36・48・60



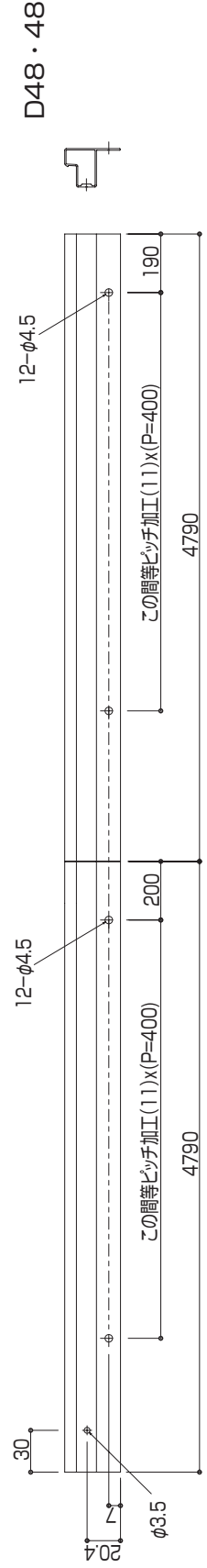
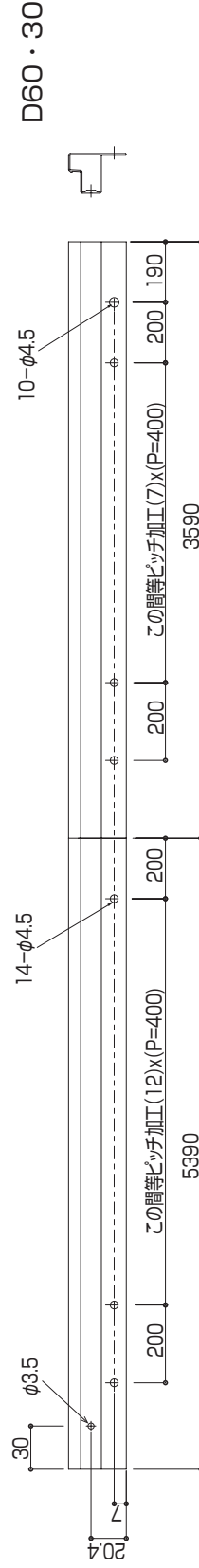
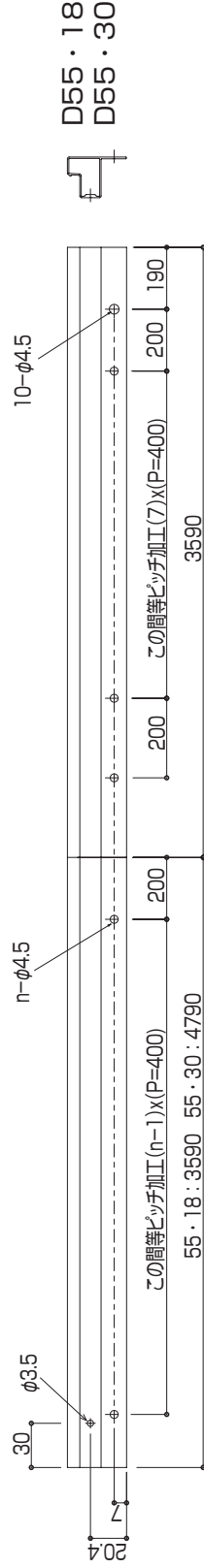
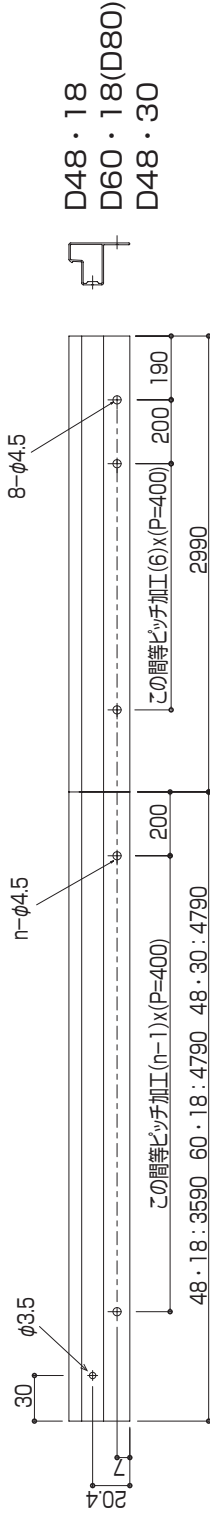
下地材の加工

下地材(中間)

<横連棟>

正面右側

正面左側

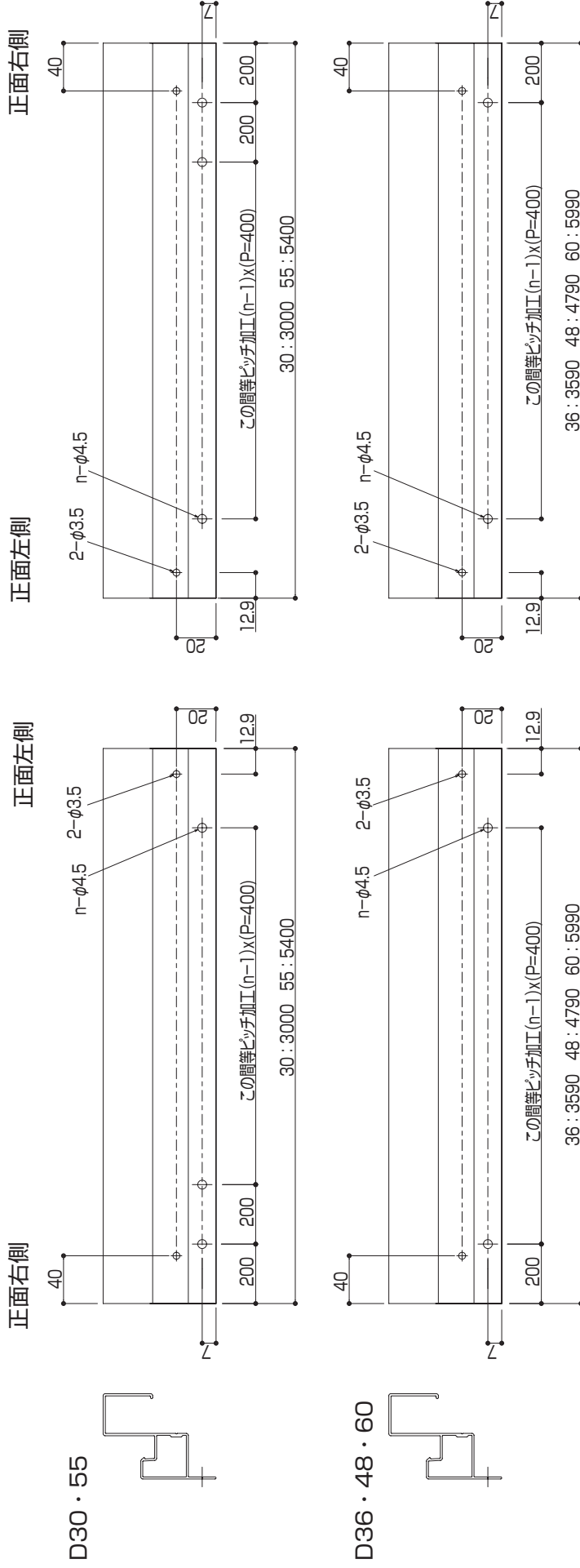


下地材の加工

<単体><たて連線>

下地材(端部)A : 水上

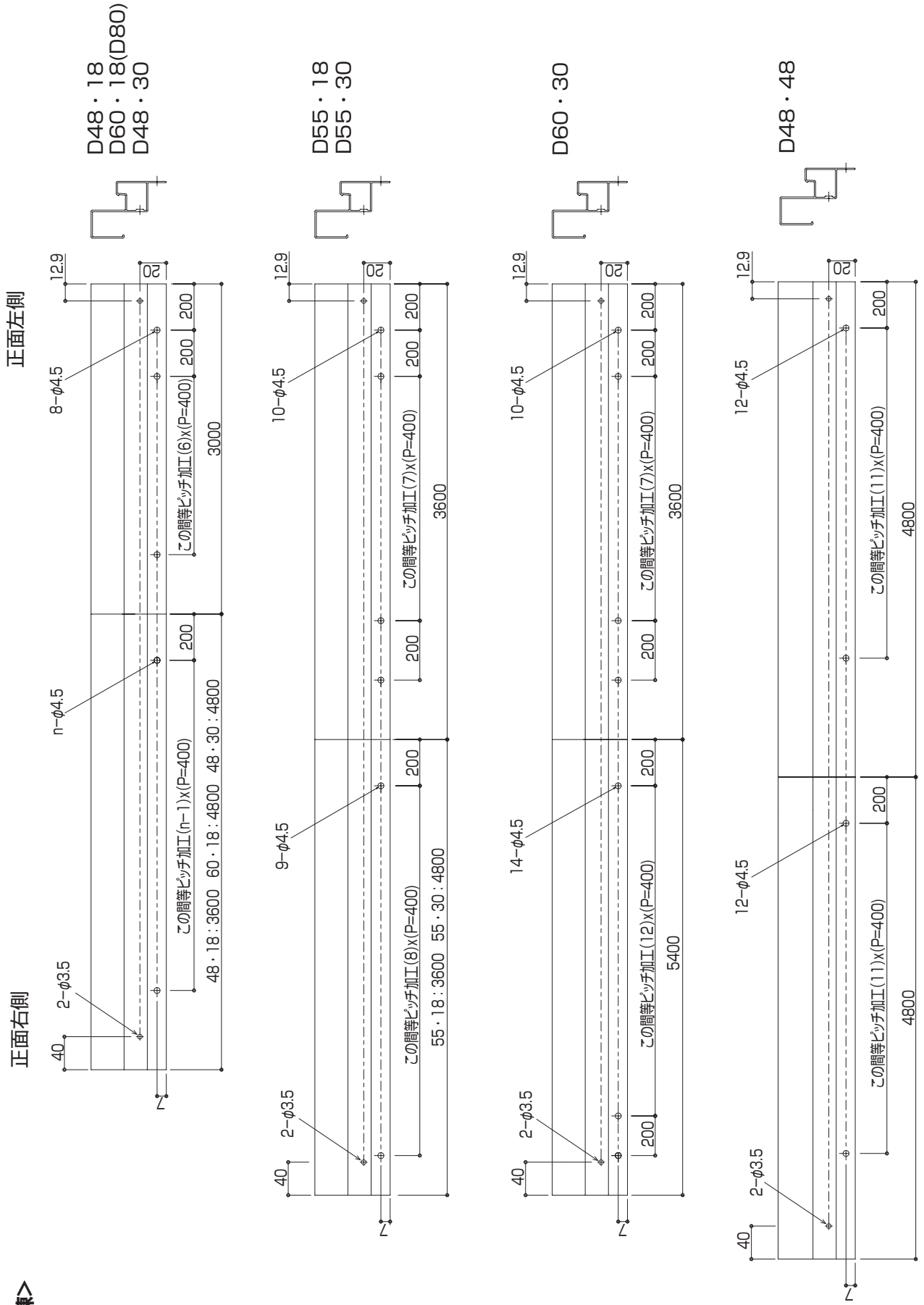
下地材(端部)B : 水下



下地材の加工

下地材(端部)A:水上

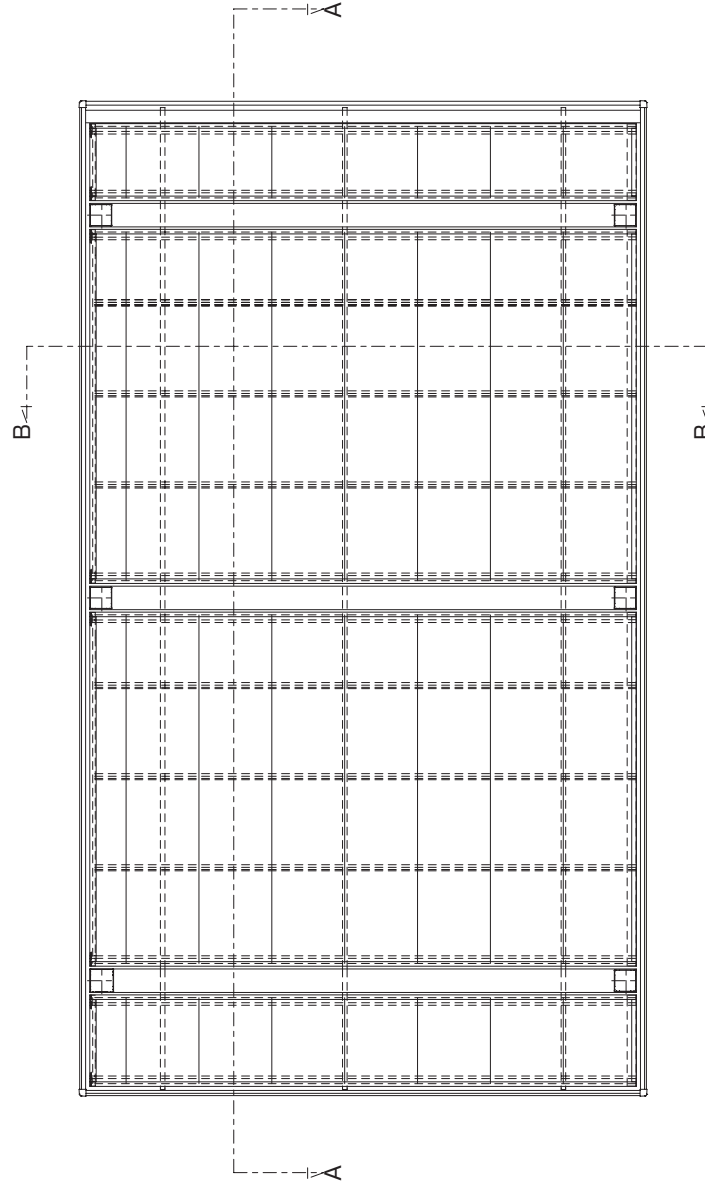
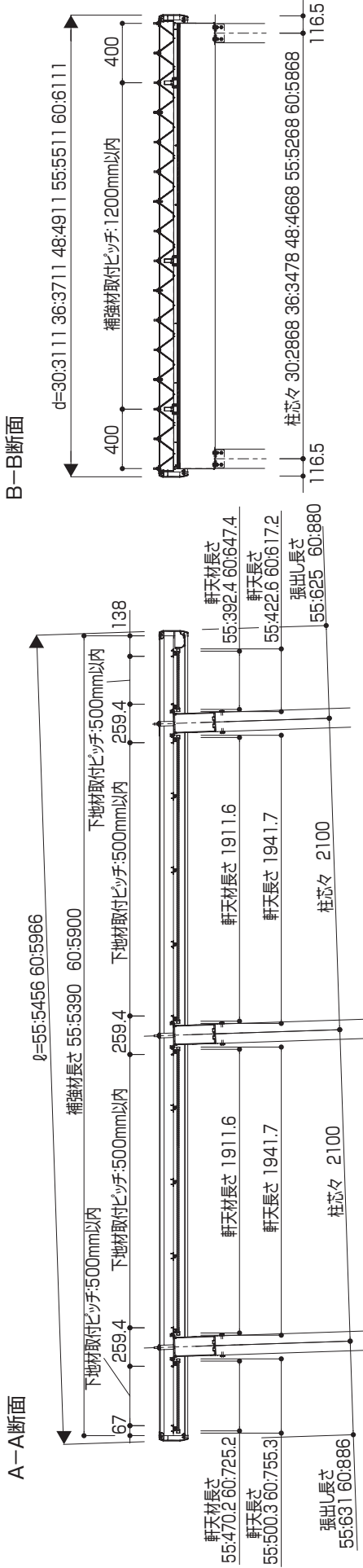
<横連棟>



寸法図 6 本柱

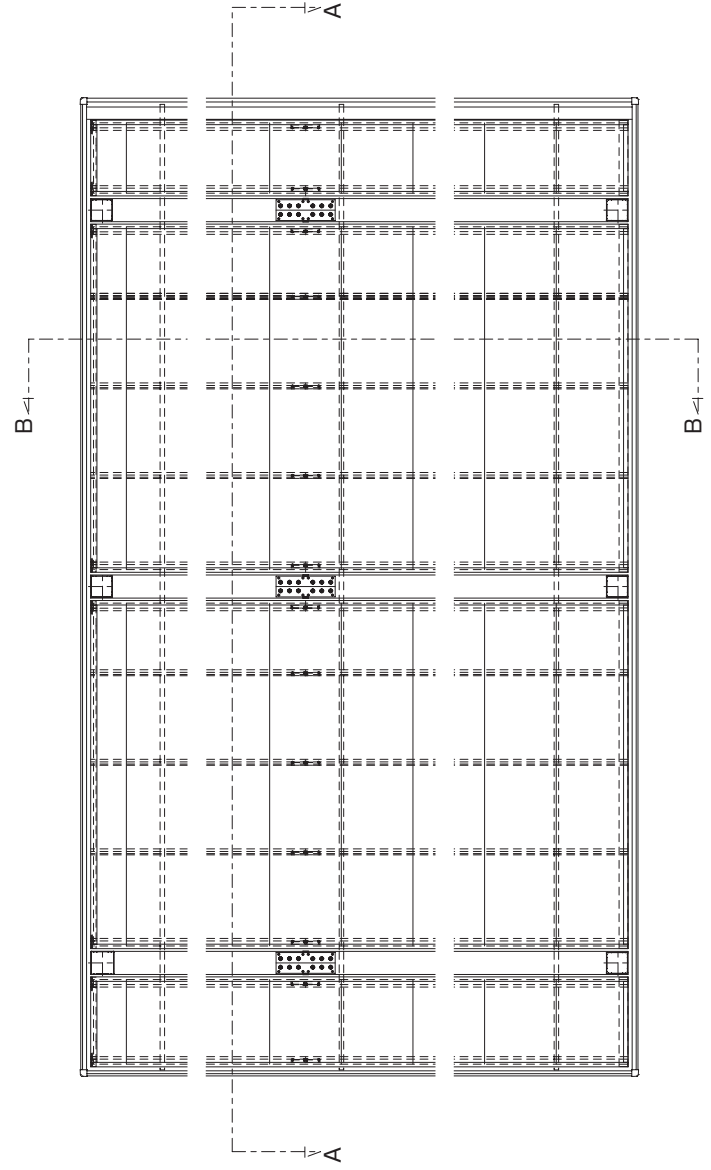
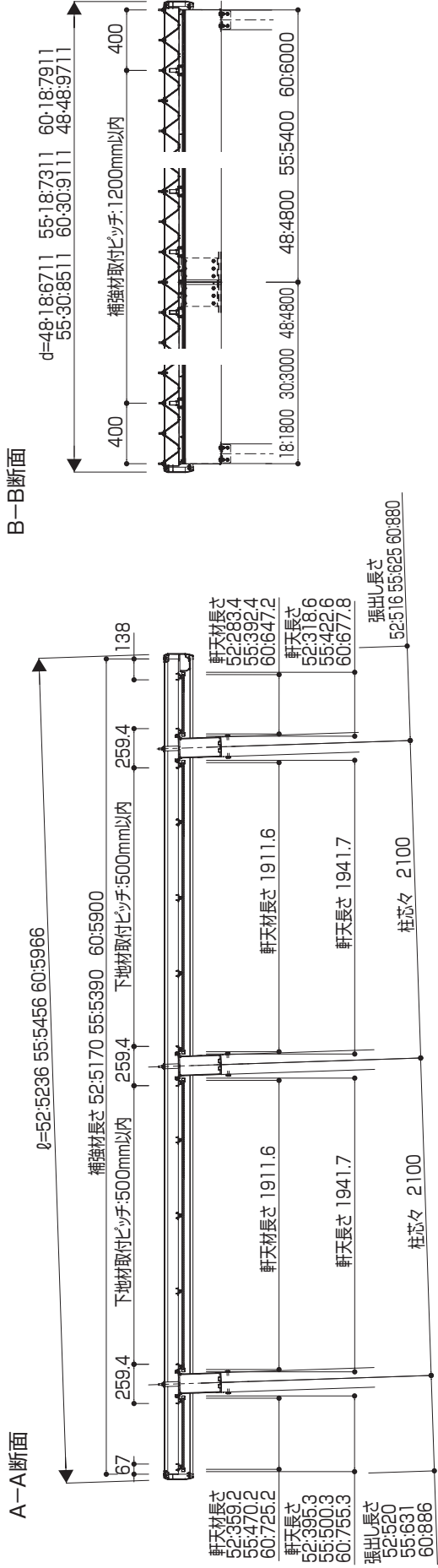
改訂

< 単体 >



上記寸法は標準寸法で表しています。
 柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

<横連棟>

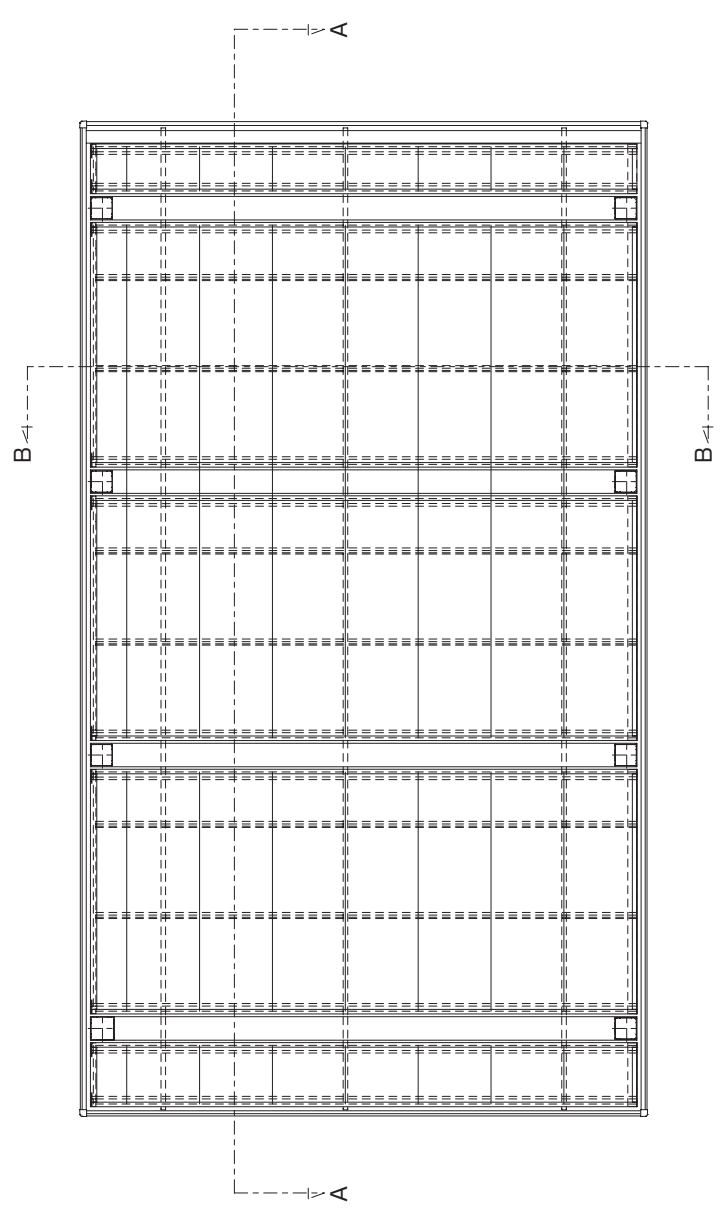
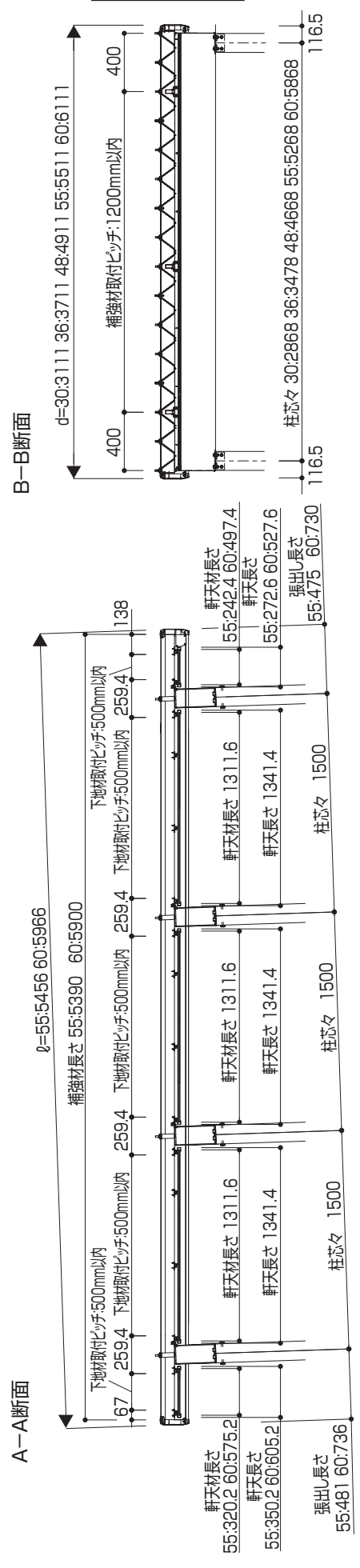


上記寸法は標準寸法で表しています。
柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

8 本柱

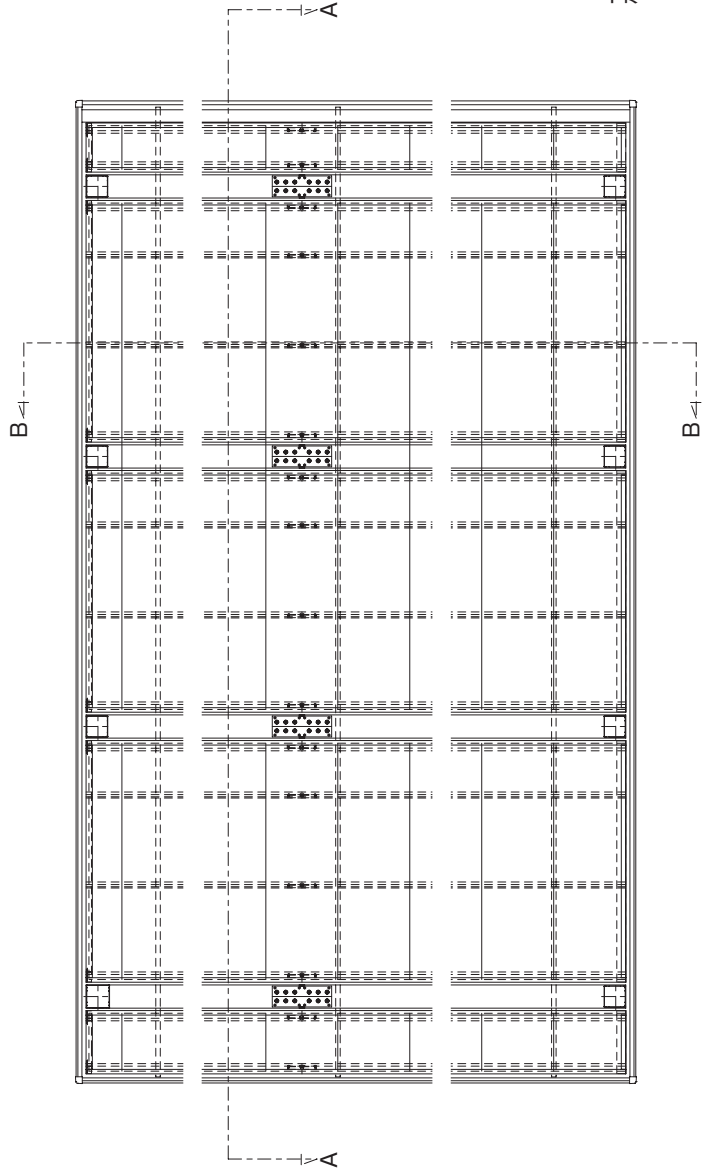
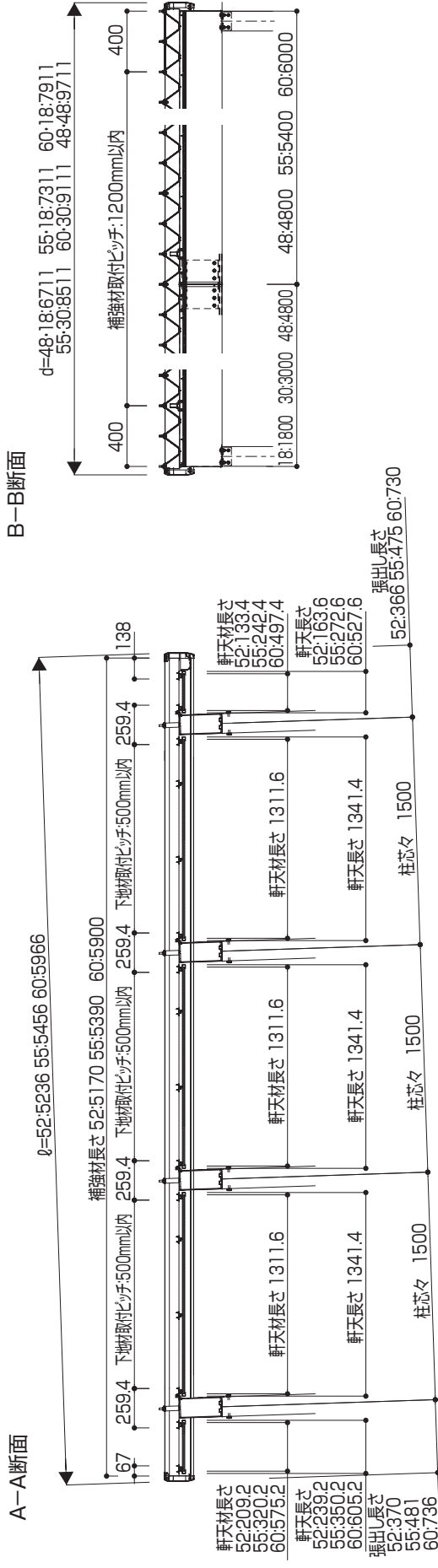
■ 寸法図 8 本柱 改訂

< 単体 >



上記寸法は標準寸法で表しています。
柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

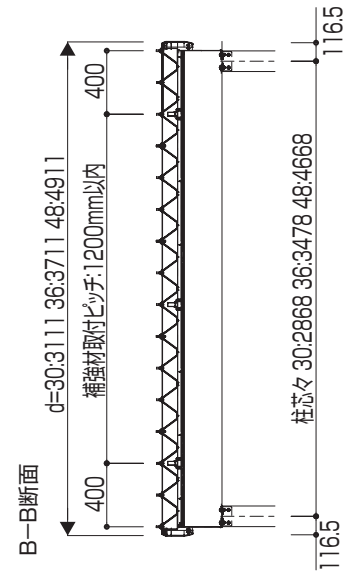
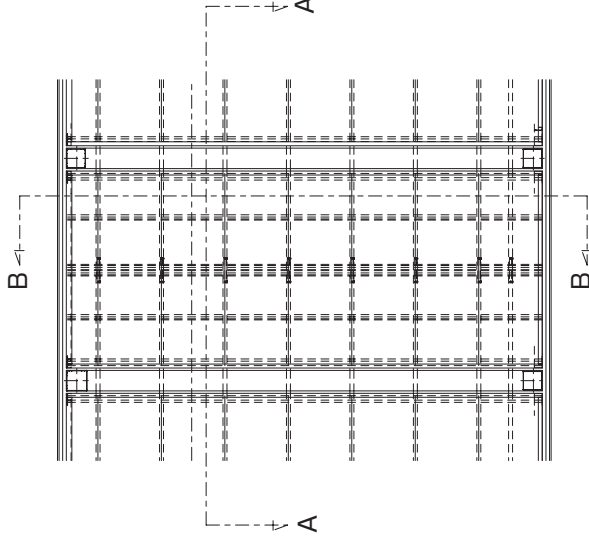
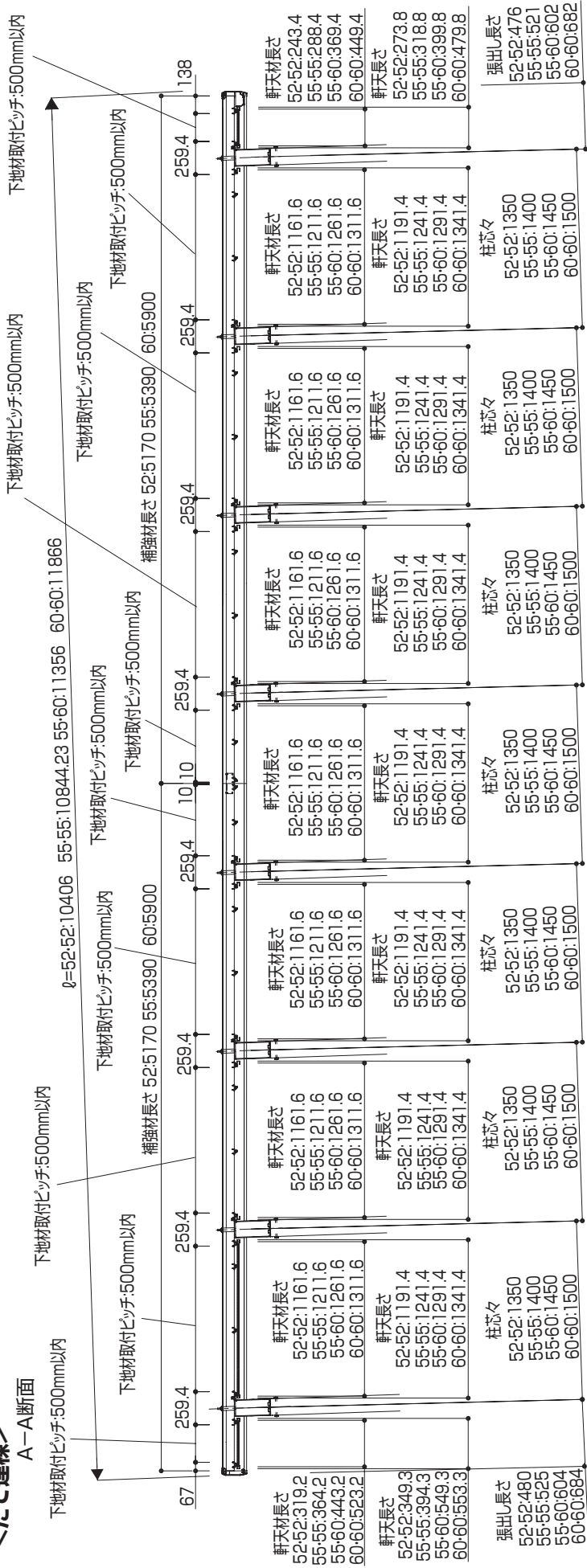
<横連棟>



上記寸法は標準寸法で表しています。
柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

＜たて連棟＞

A-A断面



上記寸法は標準寸法で表しています。
 柱移動を行った際は、その寸法にあわせて施工してください。

■ 梁・補強材・下地材の加工

6・8本柱



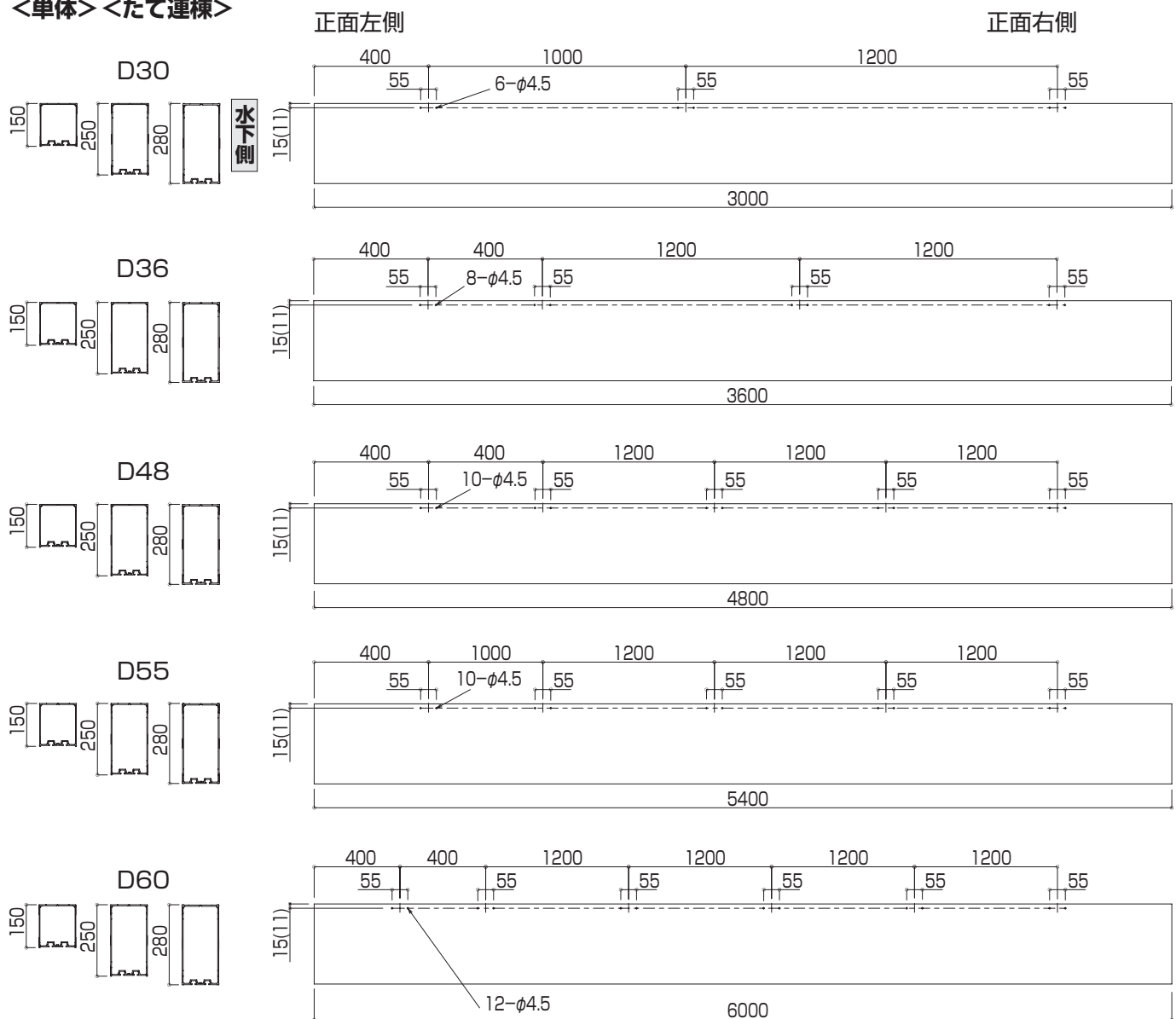
梁の加工

下図の位置に下穴(φ4.5)の穴加工をしてください。

お願い

- 6本柱の場合は、両面同じ位置に加工をしてください。
図は水下側を示しています。
- 6本柱の水上側の加工は、梁上端からの距離(15mm→11mm)が変わりますので注意してください。
- 8本柱の場合は、水下側となる面に加工をしてください。

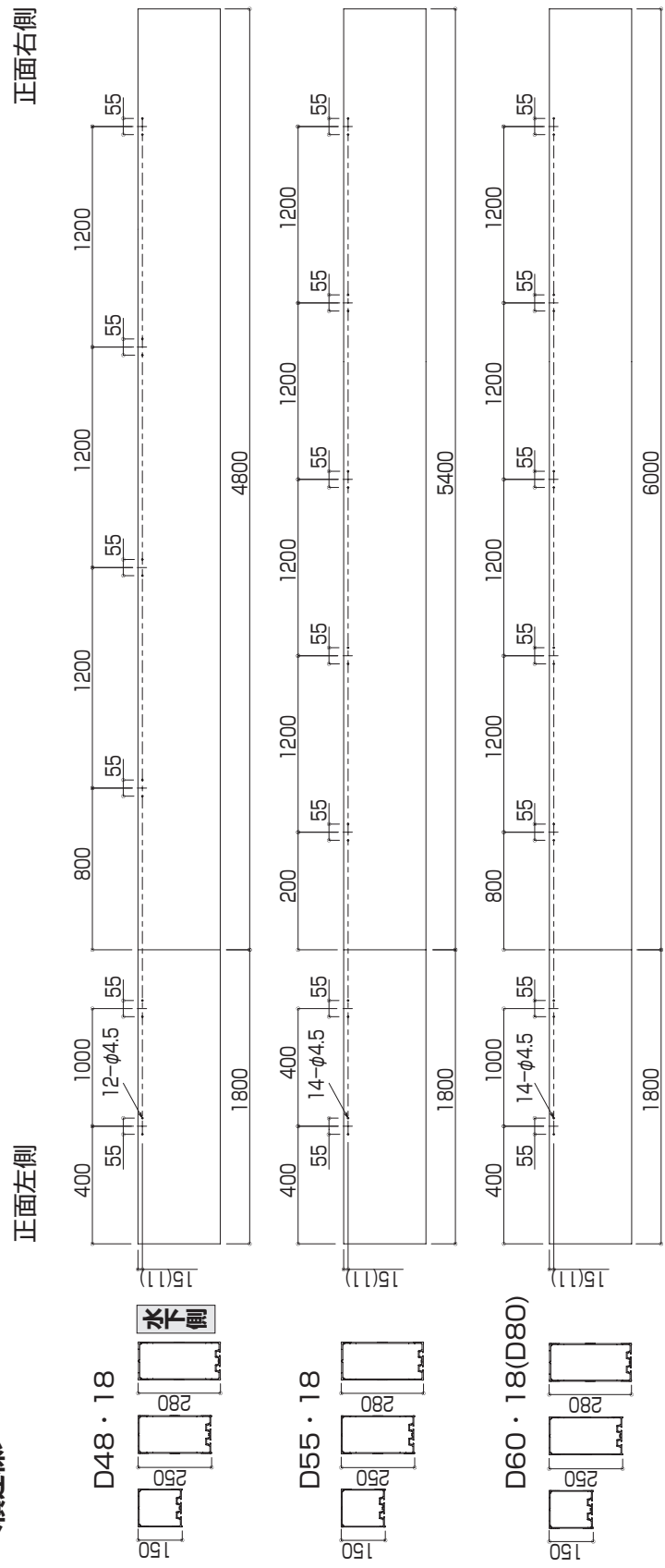
<単体> <たて連棟>



梁の加工

<横運棟>

6・8本柱



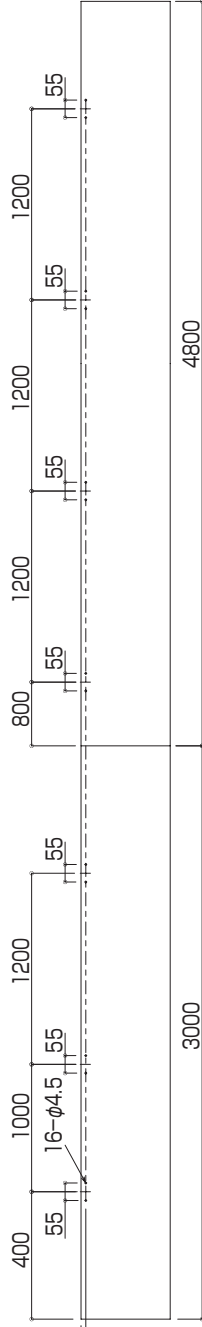
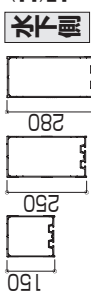
梁の加工

<横連棟>

正面左側

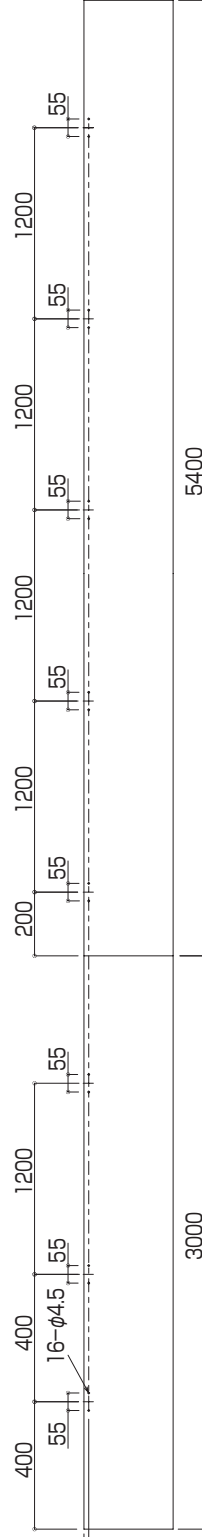
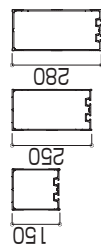
正面右側

D48・30

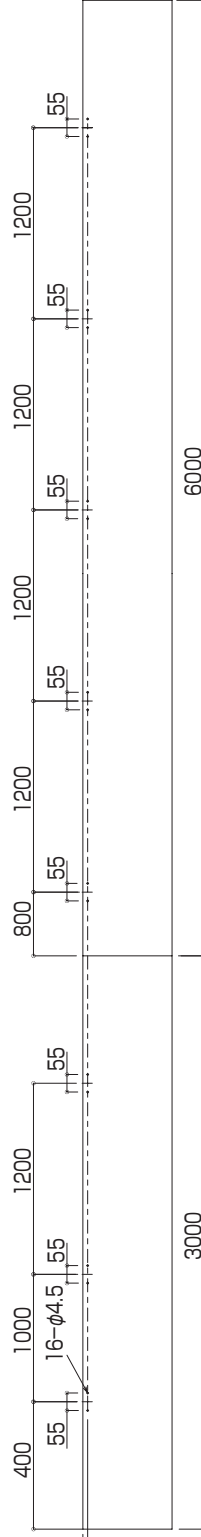
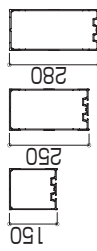


水下側

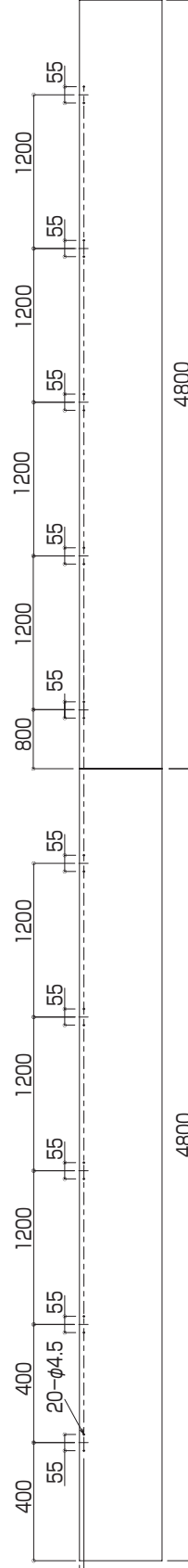
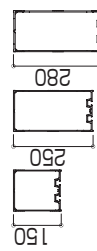
D55・30



D60・30



D48・48



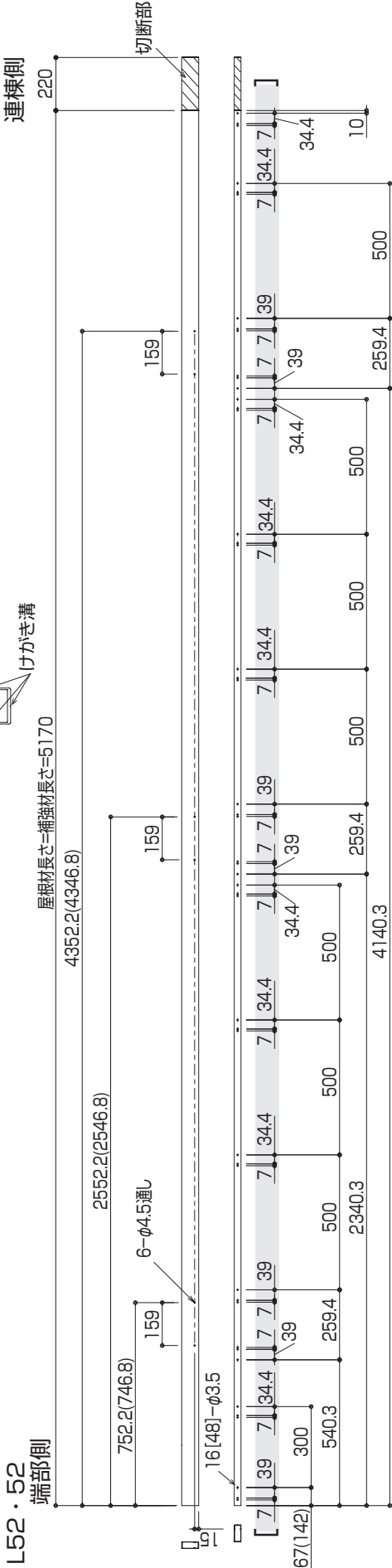
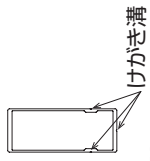
補強材の加工

<たて連棟>

L52・52

端部側

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

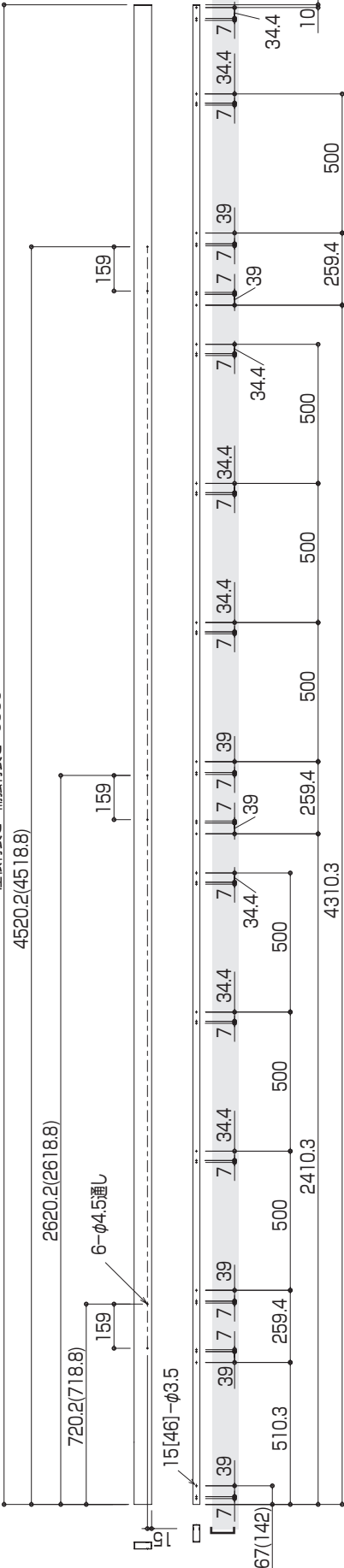


L55・55

端部側

連棟側

屋根材長さ=補強材長さ=5390



()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する補強材の加工寸法を表しています。補強材の入り数の半数本を水上側加工、半数分を水下側加工(()内寸法)で加工してください。

補強材 (水上側)
補強材 (水下側)

()内寸法で加工

注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。

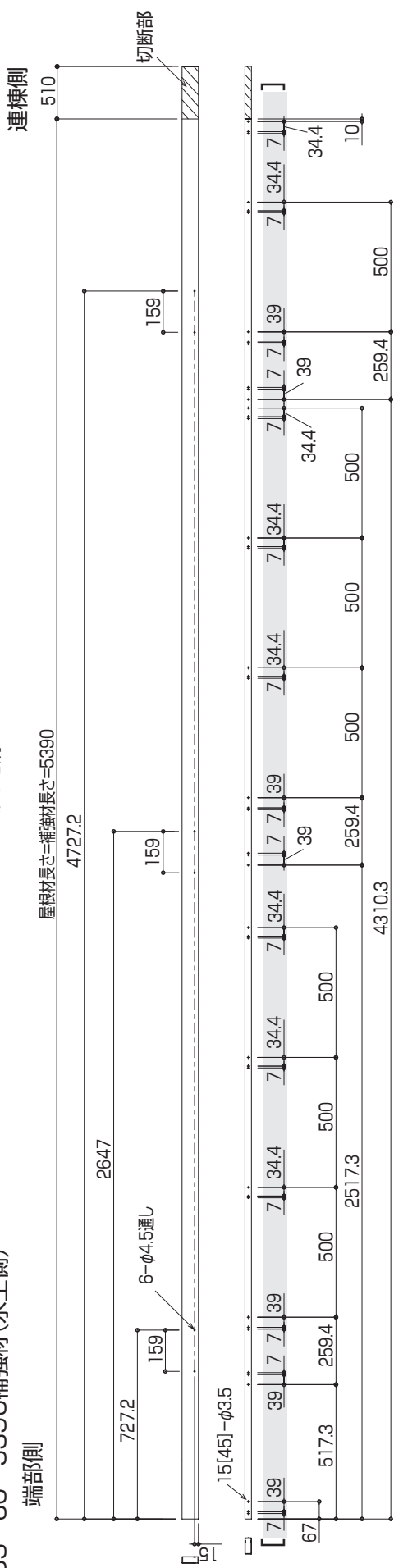
両端の補強材

補強材の加工

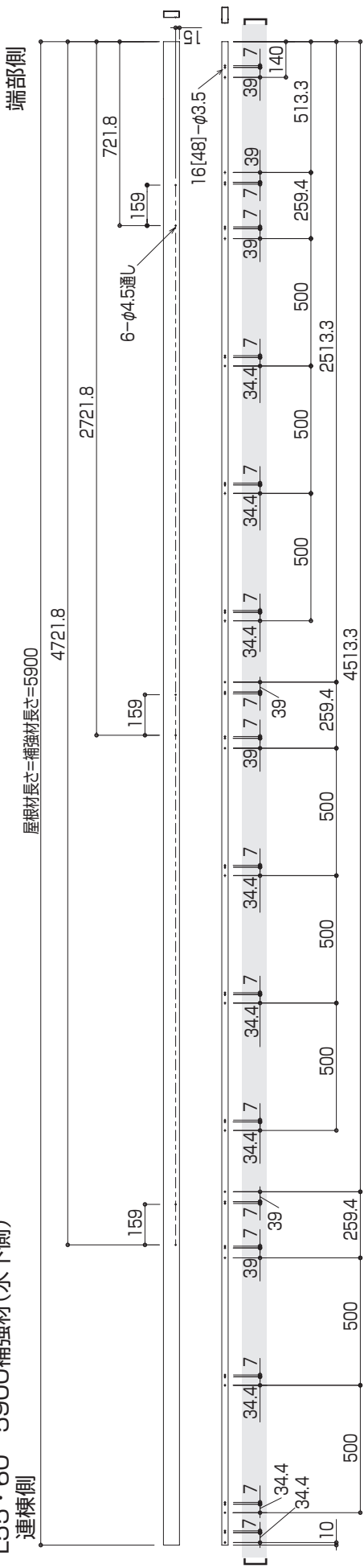
穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

＜たて連棟＞

L55・60 5390補強材(水上側)

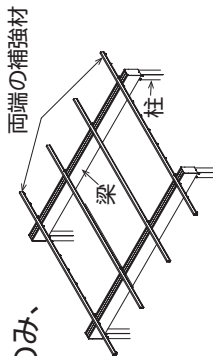


L55・60 5900補強材(水下側)



注意

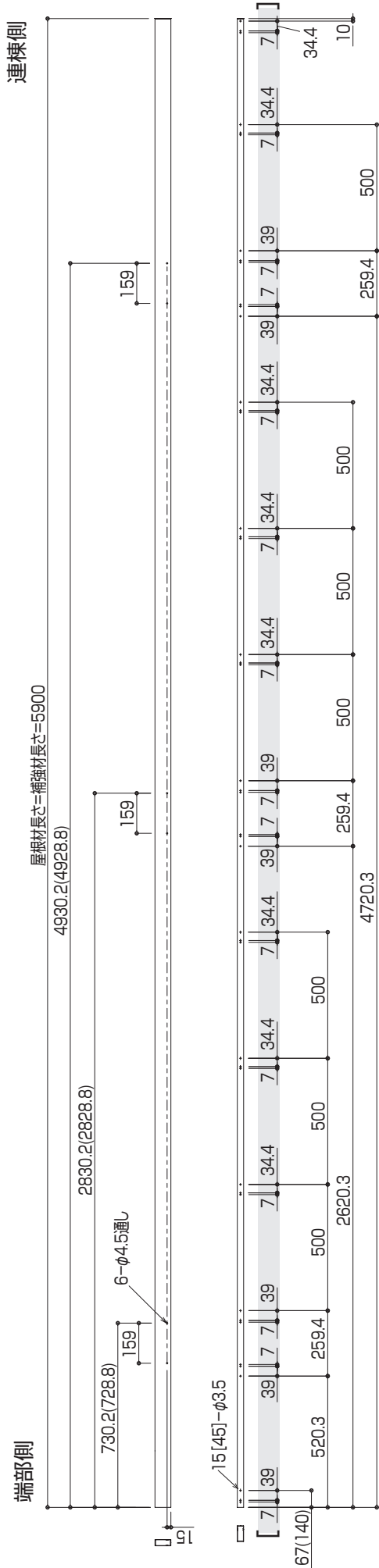
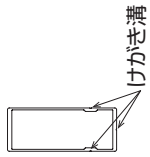
間口から見て両端の補強材2本にのみ、
[]内の加工を行ってください。



補強材の加工

<たて連棟>
L60・60

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。

両端の補強材

()内寸法で加工

補強材 (水下側)

補強材 (水上側)

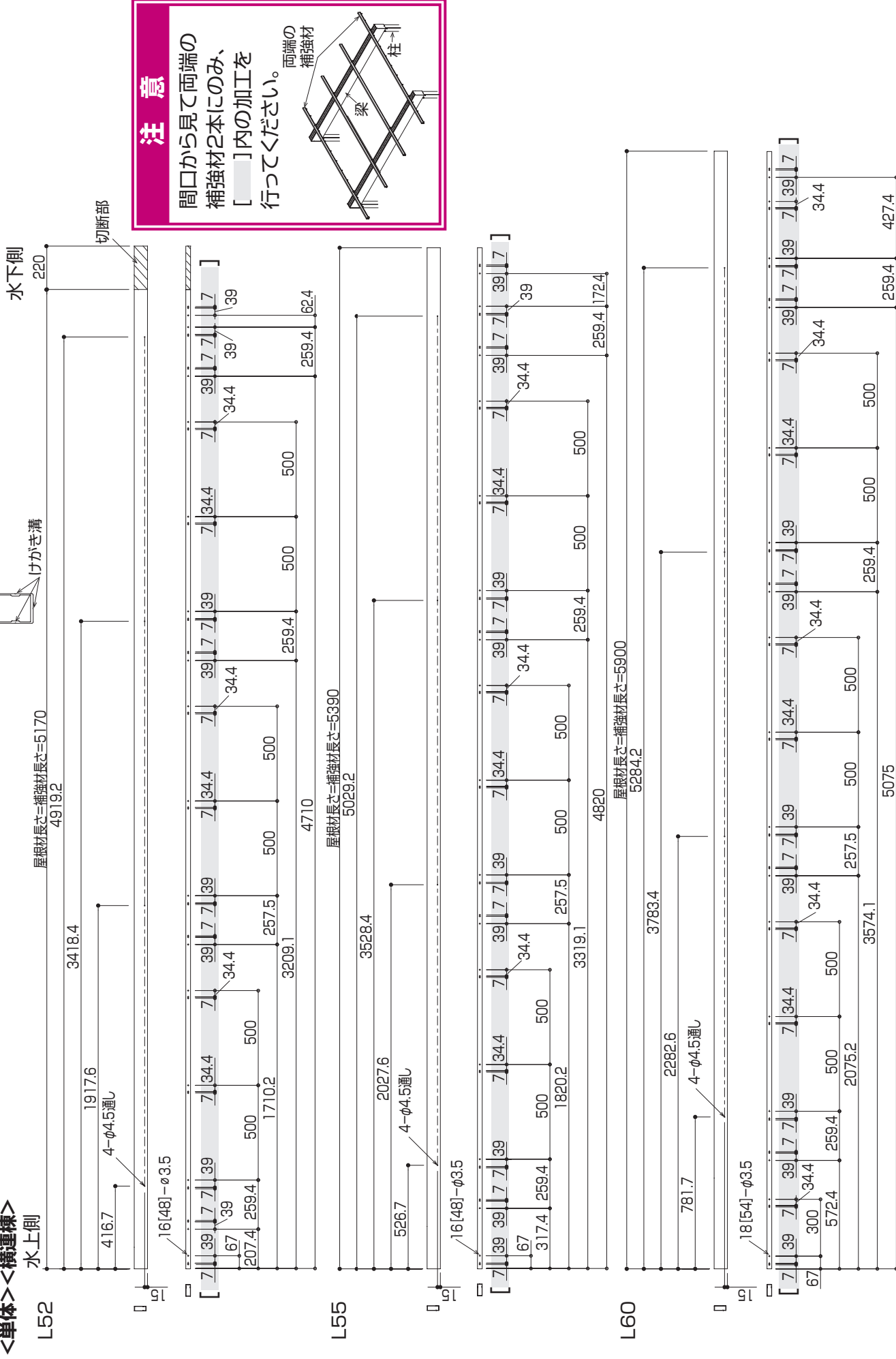
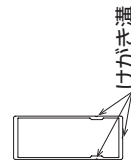
()内寸法で加工

()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する補強材の加工寸法を表しています。補強材の入り数の半数本を水上側加工、半数分を水下側加工(()内寸法)で加工してください。

補強材の加工

<単体><横連棟>

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、【 】内の加工を行ってください。

面端の補強材

補強材の加工

＜たて連棟＞

端部側

L52・52

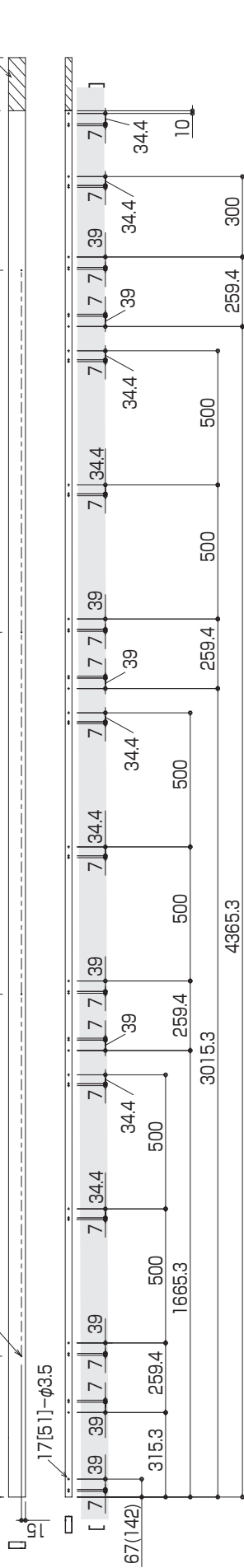
穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

屋根材長さ=補強材長さ=5170

けがき溝

連棟側

切断部



連棟側

L55・55

端部側

屋根材長さ=補強材長さ=5390

4770.2(4609.8)

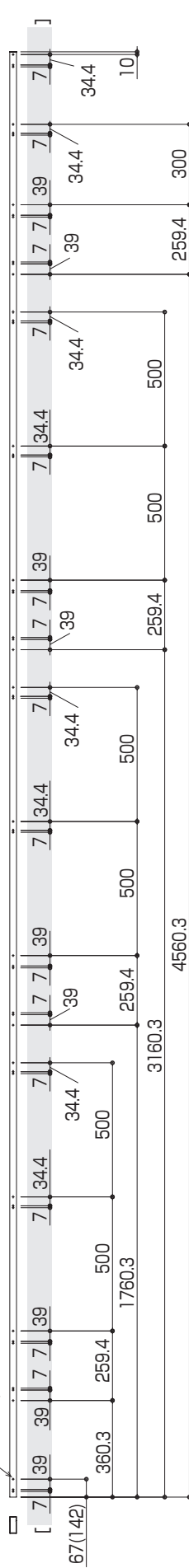
3370.2(3209.8)

1970.2(1809.8)

570.2(409.8)

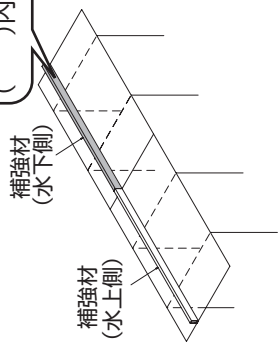
4-φ4.5通し

17[51]-φ3.5



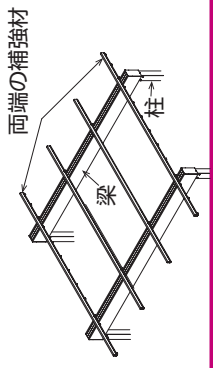
()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する補強材の加工寸法を表しています。補強材の入り数の半数本を水上側加工、半数分を水下側加工(()内寸法)で加工してください。

()内寸法で加工



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。

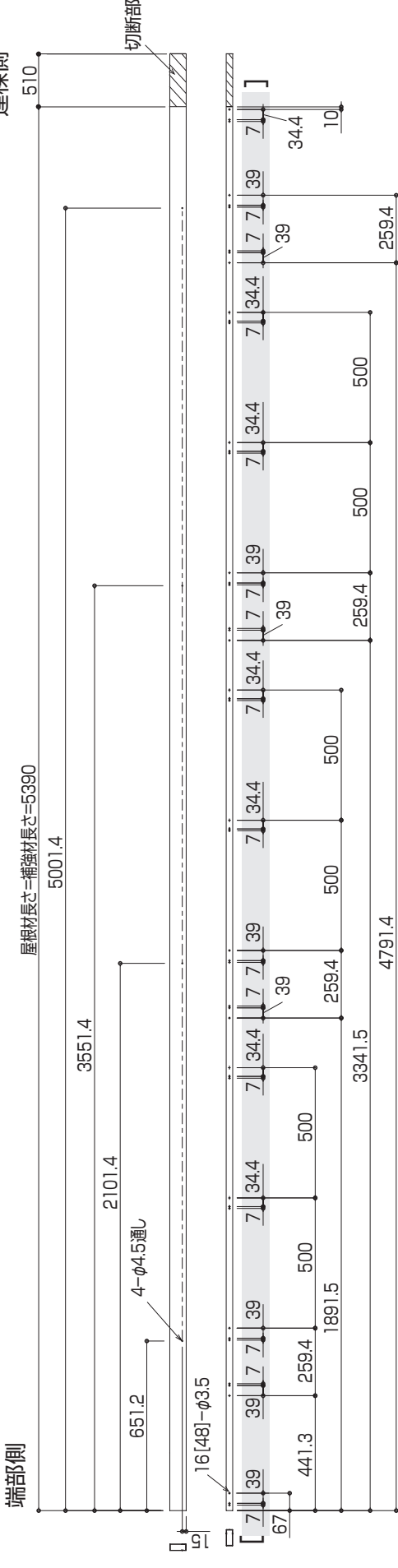


補強材の加工

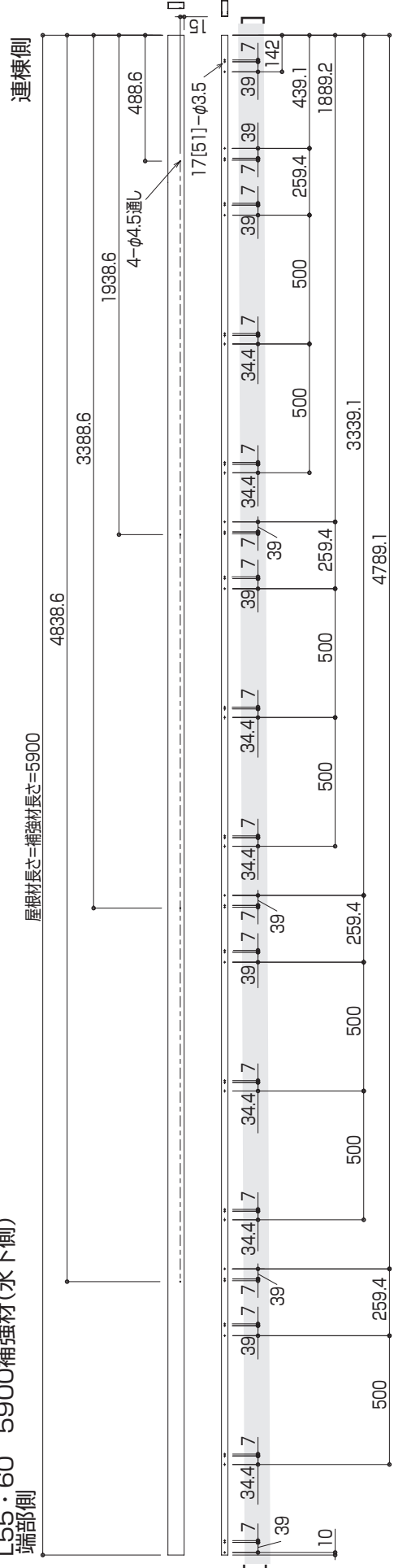
穴加工はすべてけがき溝に行ってください。

<たて連棟>

L55・60 5390補強材(水上側)

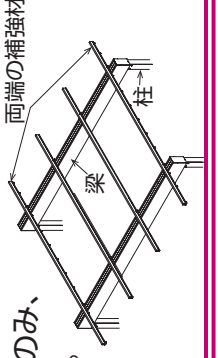


L55・60 5900補強材(水下側)



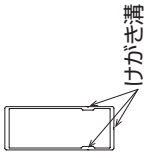
注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、
[]内の加工を行ってください。



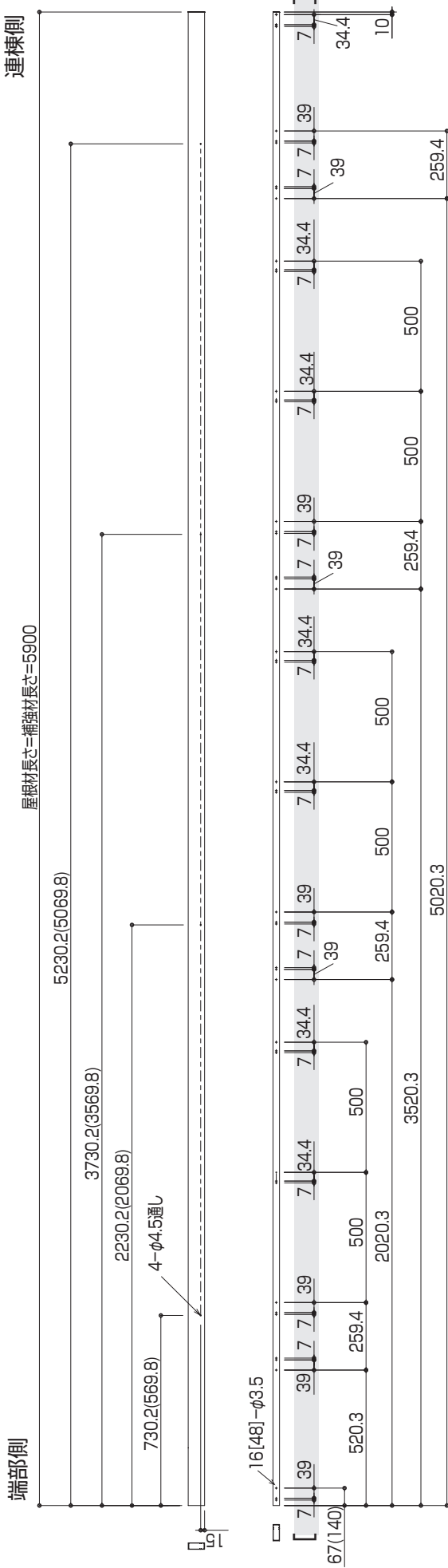
補強材の加工

穴加工はすべてけがき溝に行ってください。



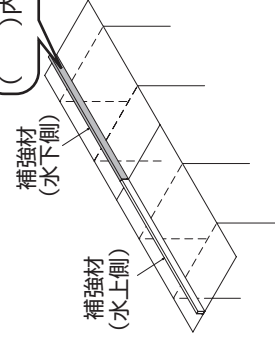
<たて連棟>

L60・60



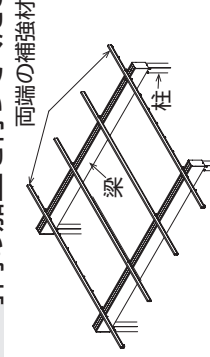
()内寸法は、たて連棟の水下側に使用する補強材の加工寸法を表しています。補強材の入り数の半数本を水上側加工、半数分を水下側加工(()内寸法)で加工してください。

()内寸法で加工



注意

間口から見て両端の補強材2本にのみ、[]内の加工を行ってください。

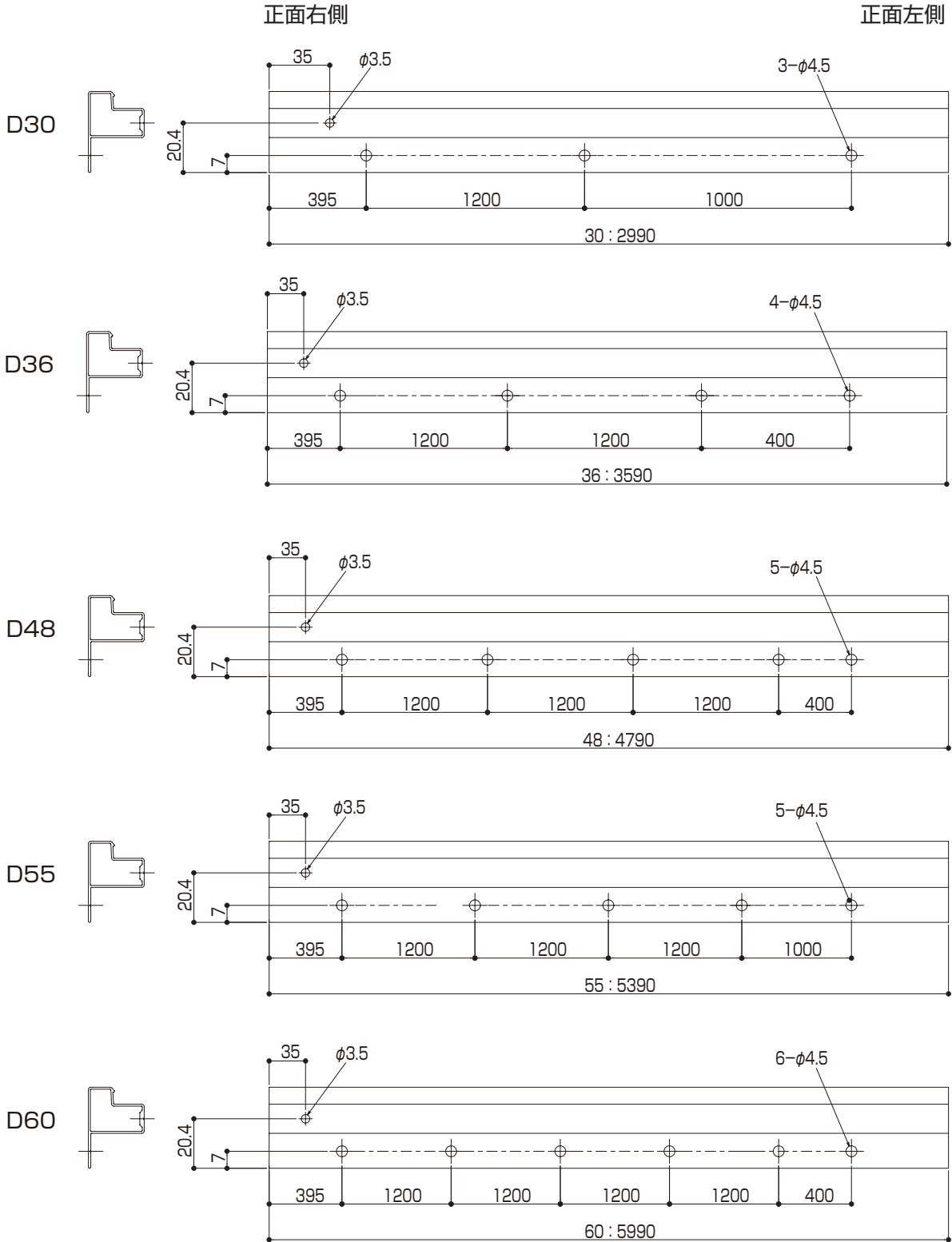


下地材の加工

改訂

下地材(中間)

<単体> <たて連棟>



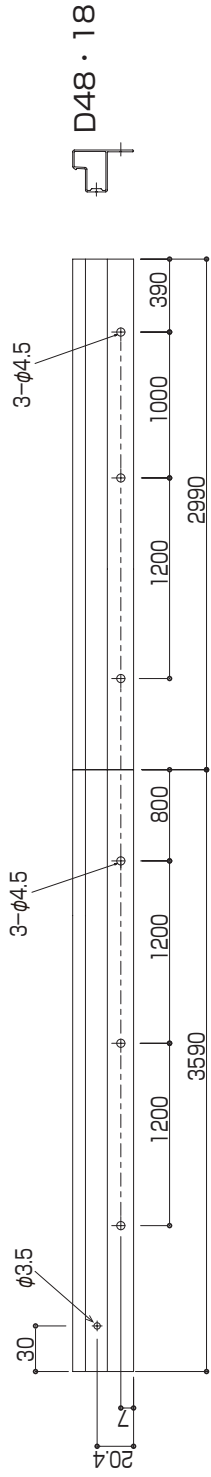
下地材の加工

下地材(中間)

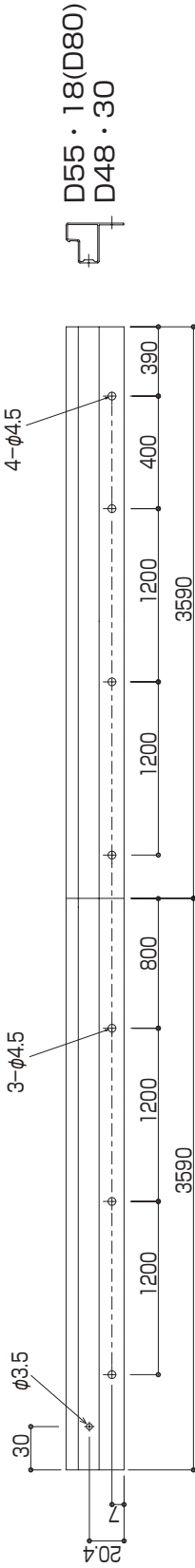
<横連続>

正面右側

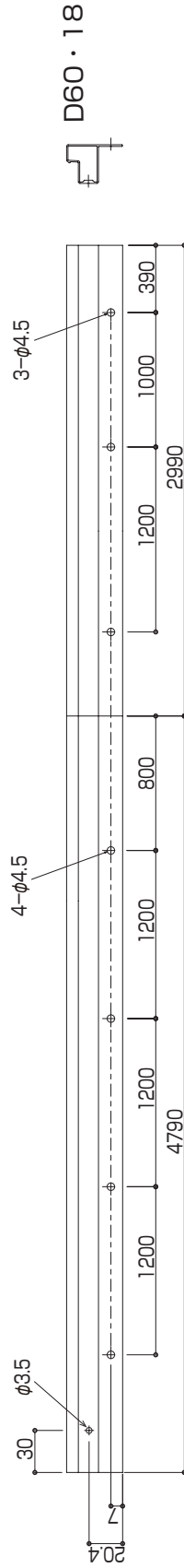
正面左側



D48・18



D55・18(D80)
D48・30



D60・18

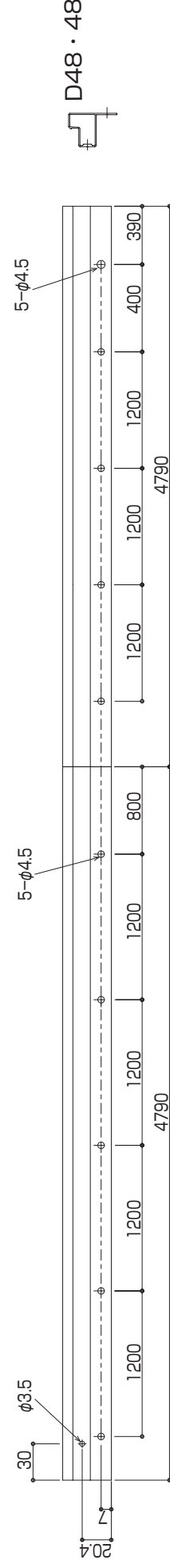
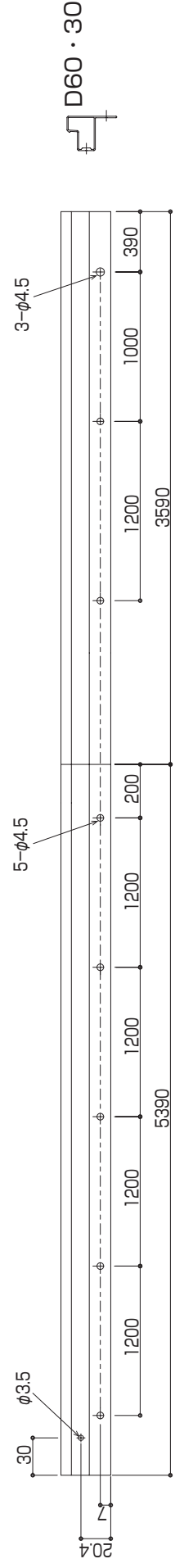
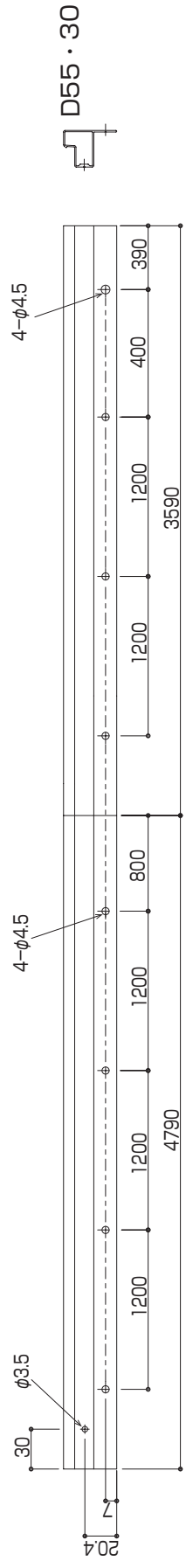
下地材の加工

下地材(中間)

<横連棟>

正面右側

正面左側

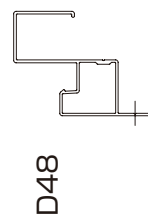
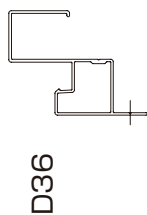
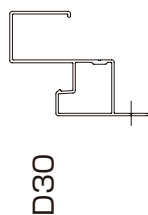
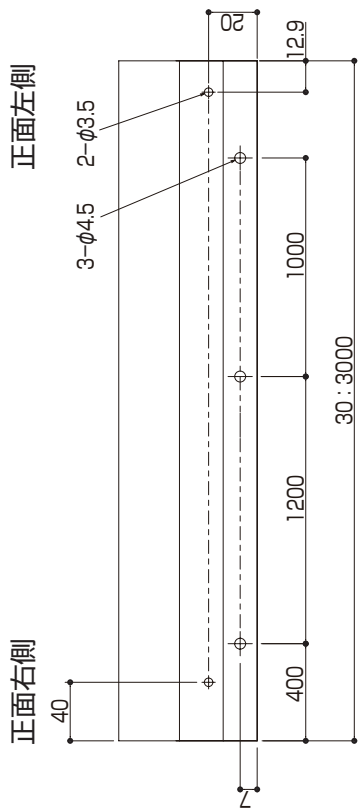
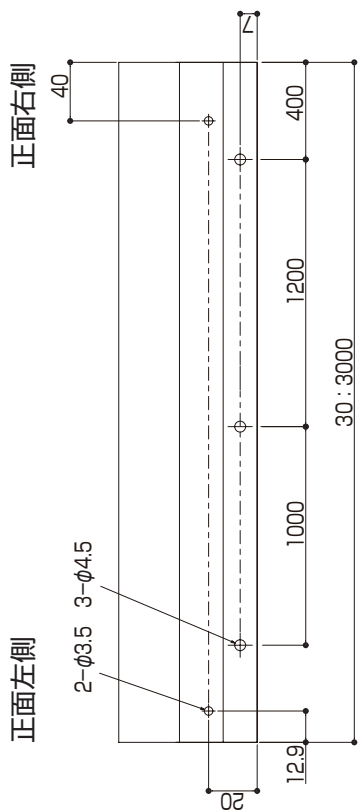
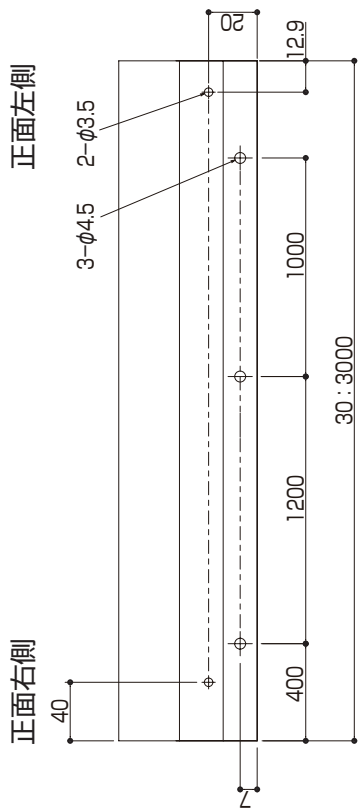
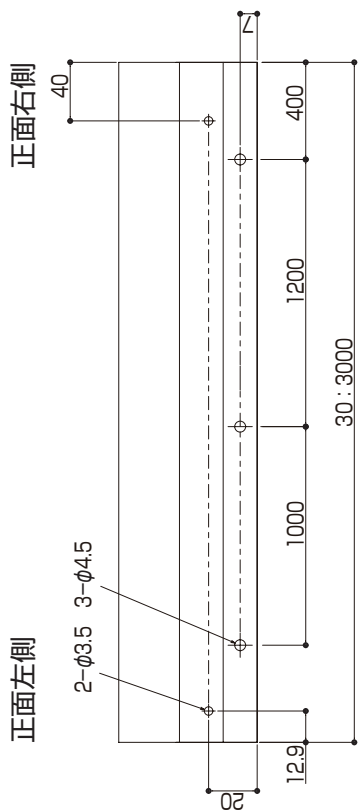


下地材の加工

<単体> <たて連棟>

下地材(端部)A：水上

下地材(端部)B：水下



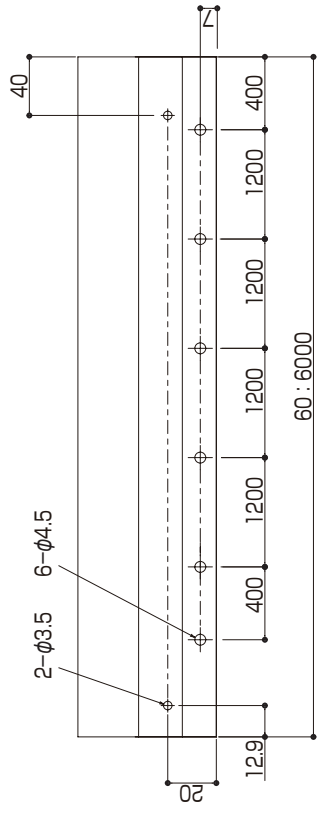
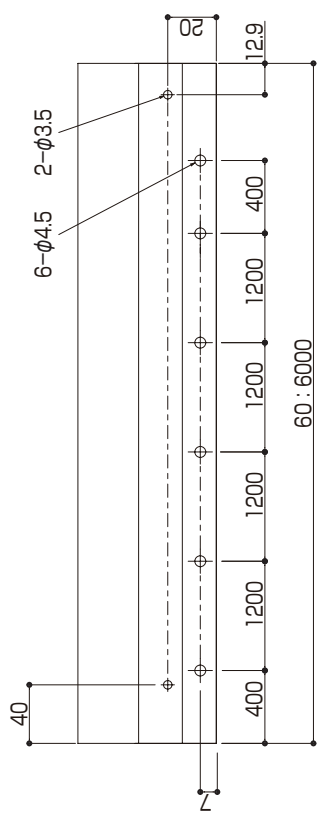
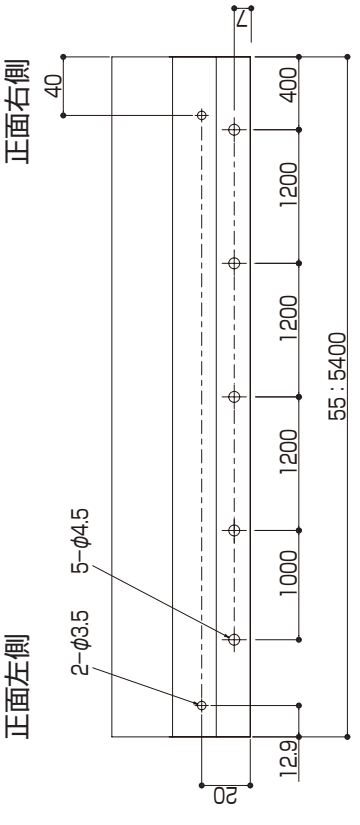
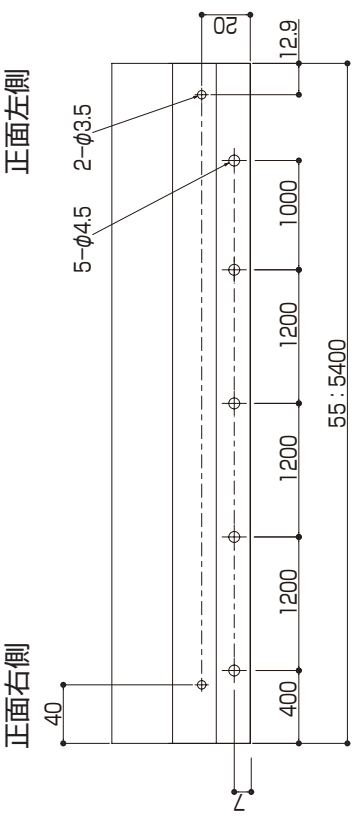
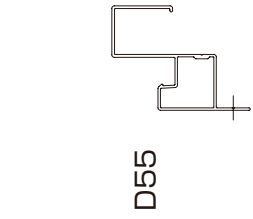
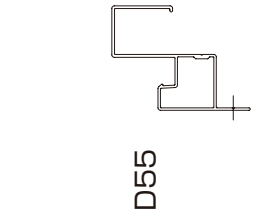
下地材の加工

6・8本柱

<単体> <たて連棟>

下地材(端部)A : 水上

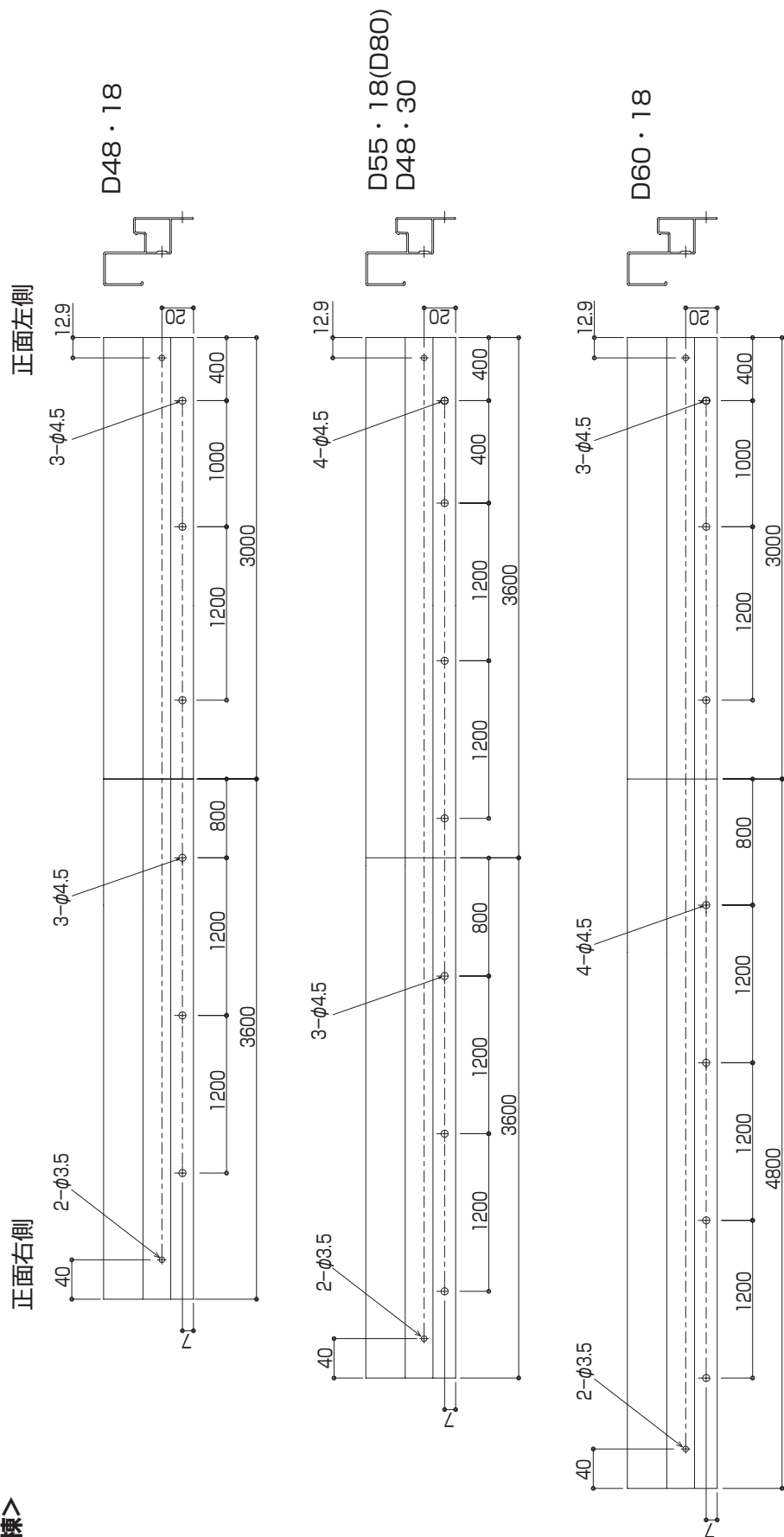
下地材(端部)B : 水下



下地材の加工

下地材(端部)A:水上

<横連棟>



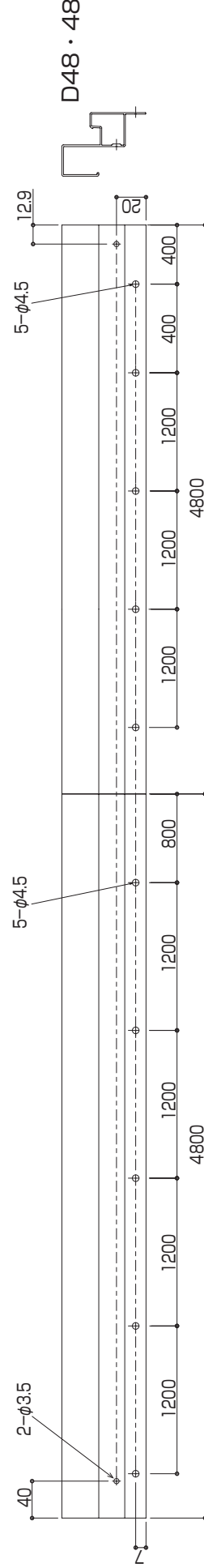
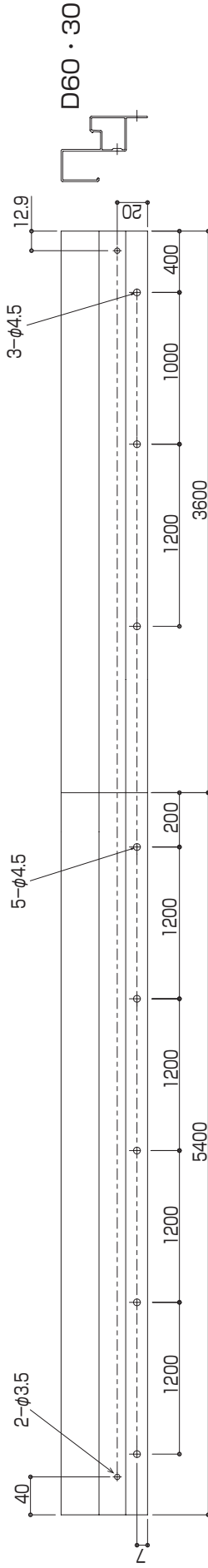
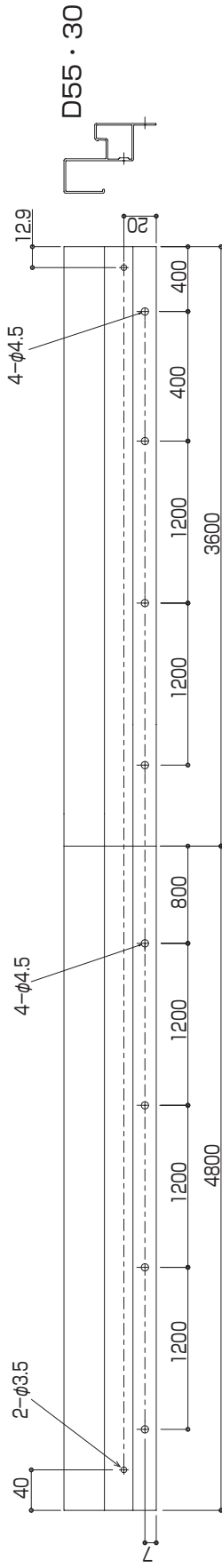
下地材の加工

下地材(端部)A:水上

<横連棟>

正面右側

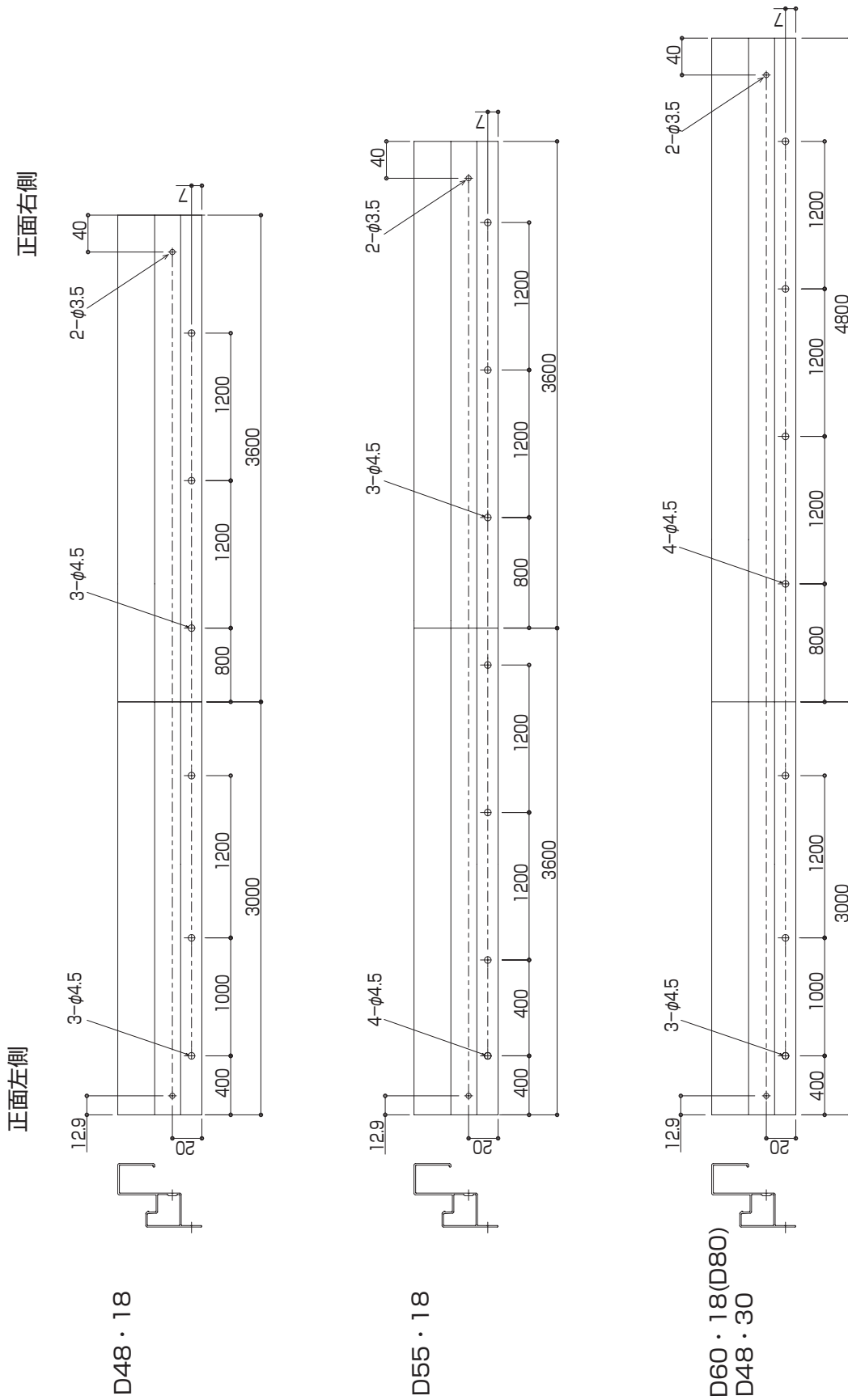
正面左側



下地材の加工

下地材(端部)B: 水下

<横連棟>



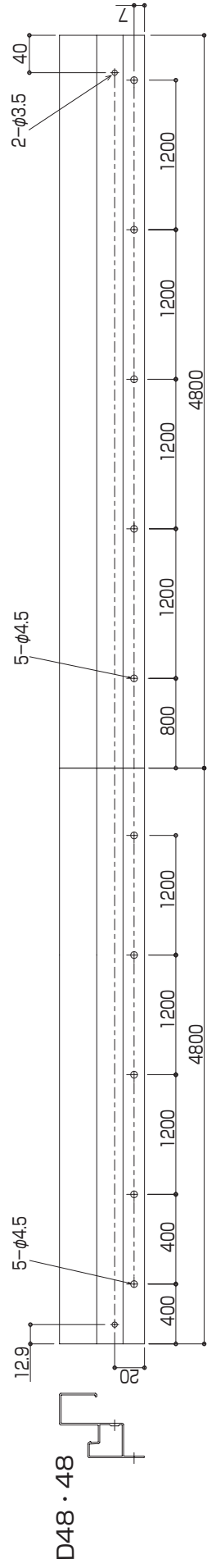
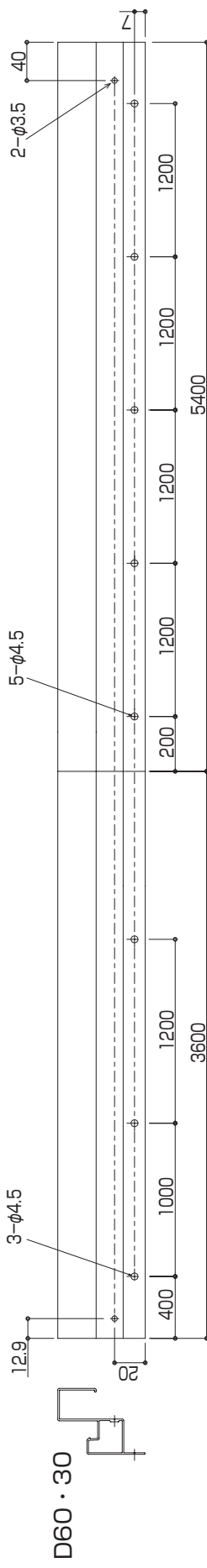
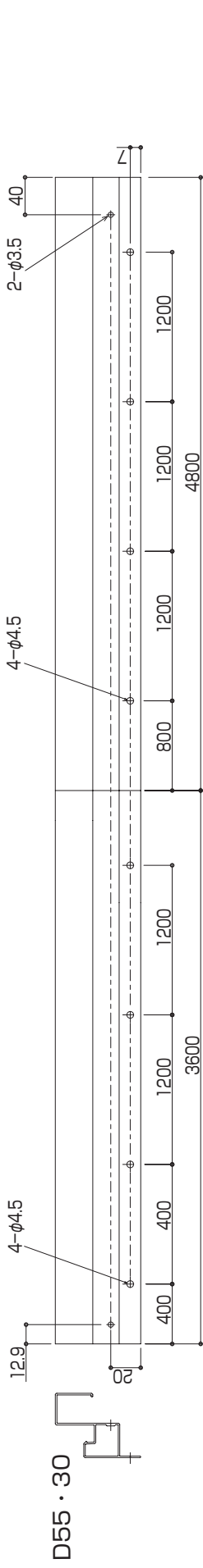
下地材の加工

下地材(端部)B: 水下

<横連棟>

正面左側

正面右側



46 軒天材の切断

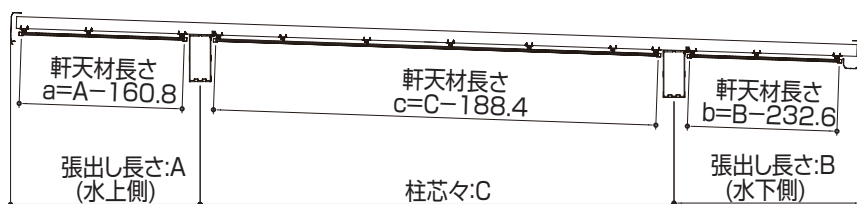
■軒天材の切断



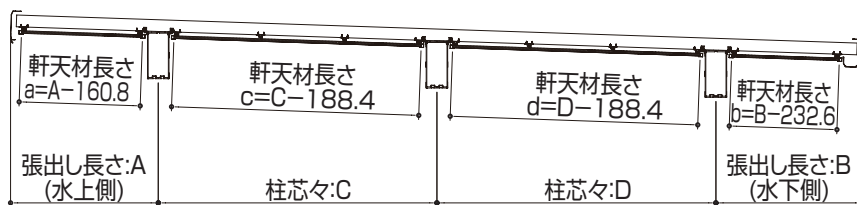
<切断長さ>

A～Eは寸法図(4本柱…P.6～8)(6本柱…P.20～22)(8本柱…P.23～25)を参照してください。

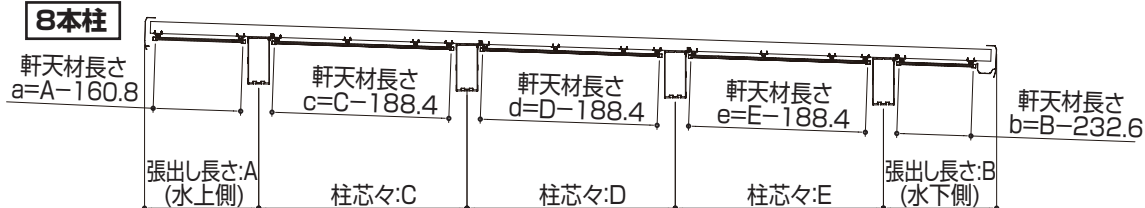
4本柱



6本柱



8本柱



<切断枚数>

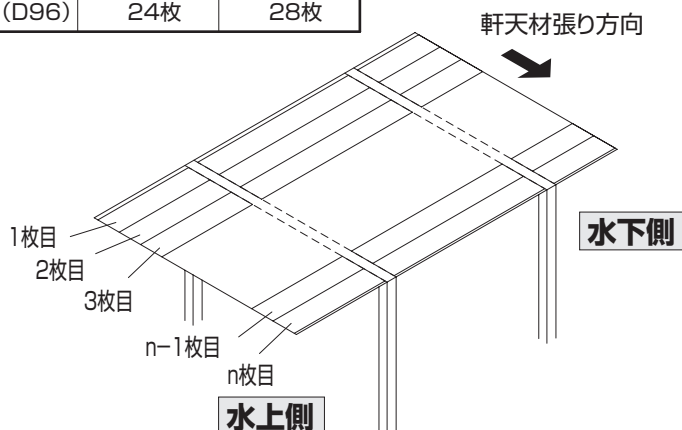
■基本セット(1・2台)
たて連棟セット

間口	n	
	木目 働き幅400	単色 働き幅350
D30	8枚	9枚
D36	9枚	11枚
D48	12枚	14枚
D55	14枚	16枚
D60	15枚	18枚※

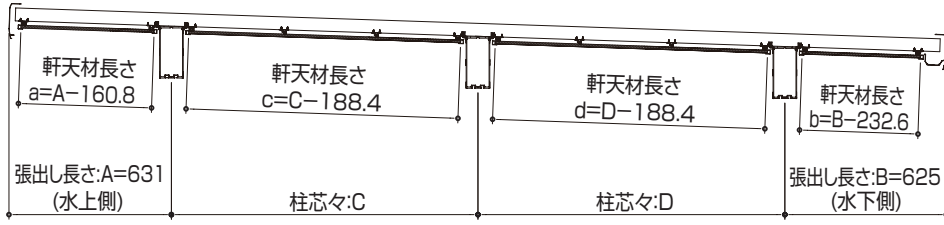
※張り始め側も幅切断が必要
(P.58参照)

■横連棟・間口延長
基本3台用セット

間口	n	
	木目 働き幅400	単色 働き幅350
D48+18(D66)	17枚	19枚
D55+18(D73)	18枚	21枚
D60+18(D78)	20枚	23枚
D55+30(D85)	21枚	24枚
D60+30(D90)	23枚	26枚
D48+48(D96)	24枚	28枚

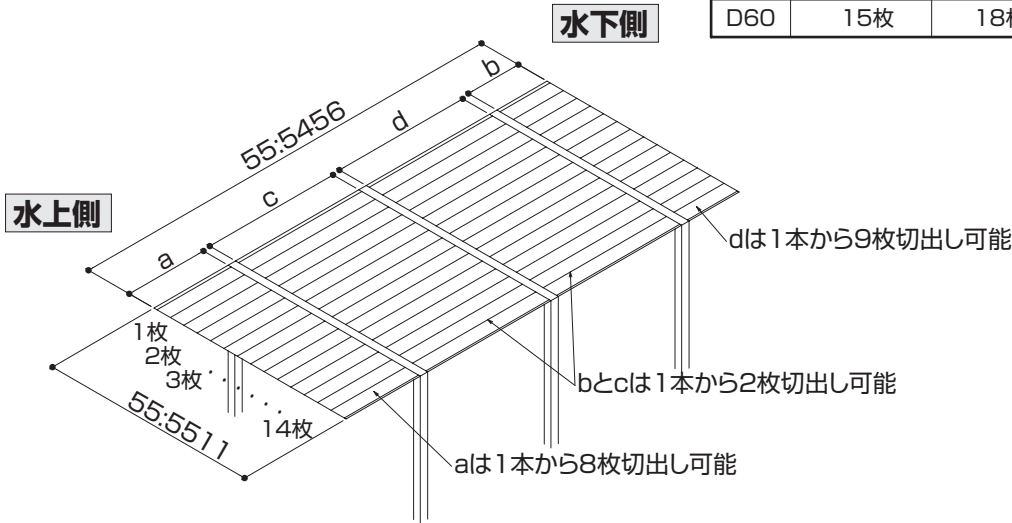


<例> L55・55 6本柱 木目の場合

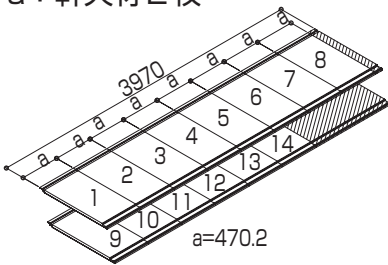


軒天材長さ:a=張出し長さ:A-160.8=470.2
 軒天材長さ:b=張出し長さ:B-232.6=392.4
 軒天材長さ:c=張出し長さ:C-188.4=1911.6
 軒天材長さ:d=張出し長さ:D-188.4=1911.6

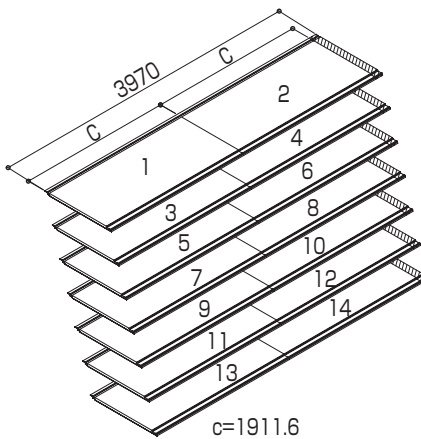
間口	n	
	木目 働き幅400	単色 働き幅350
D30	8枚	9枚
D36	9枚	11枚
D48	12枚	14枚
D55	14枚	16枚
D60	15枚	18枚※



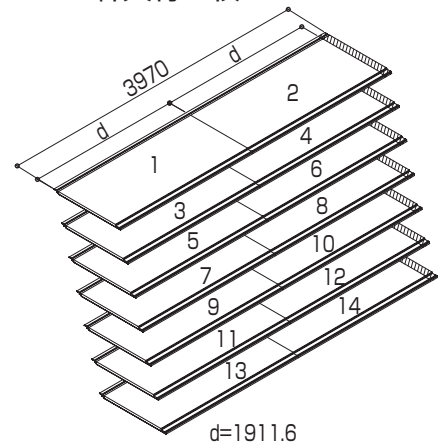
a : 軒天材 2枚



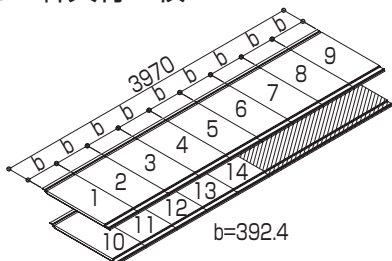
c : 軒天材 7枚



d : 軒天材 7枚



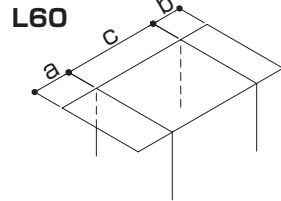
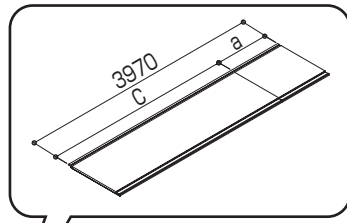
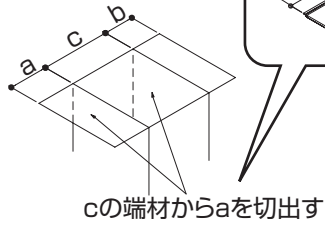
b : 軒天材 2枚



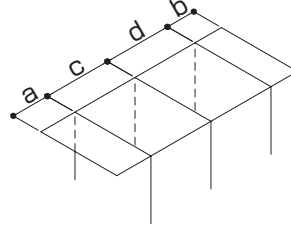
48 軒天材の切断

＜材料の割当＞
単体・横連棟

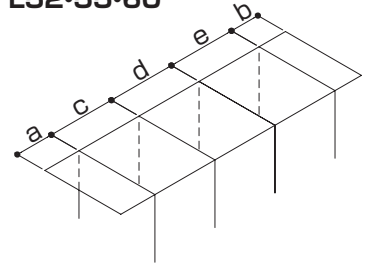
4本柱
L52・55



6本柱
L52・55・60

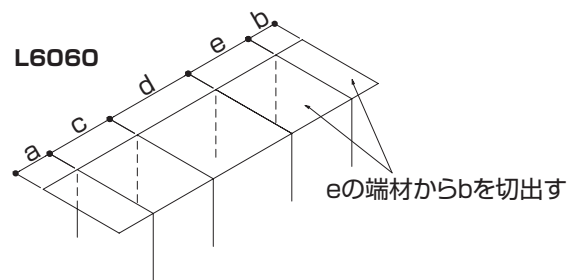
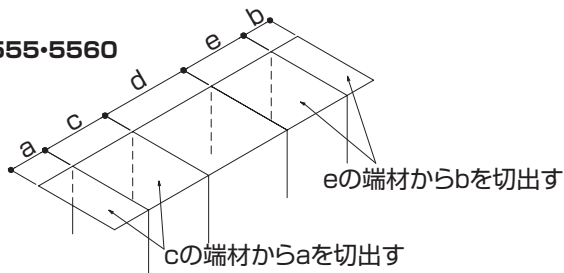


8本柱
L52・55・60

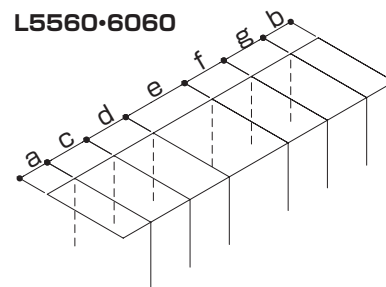
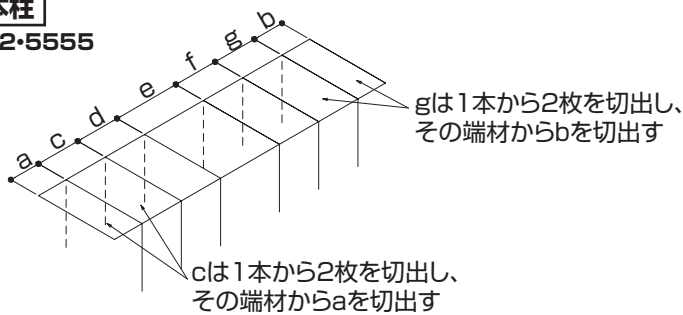


たて連棟

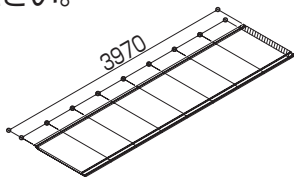
8本柱
L5252・5555・5560



12本柱
L5252・5555



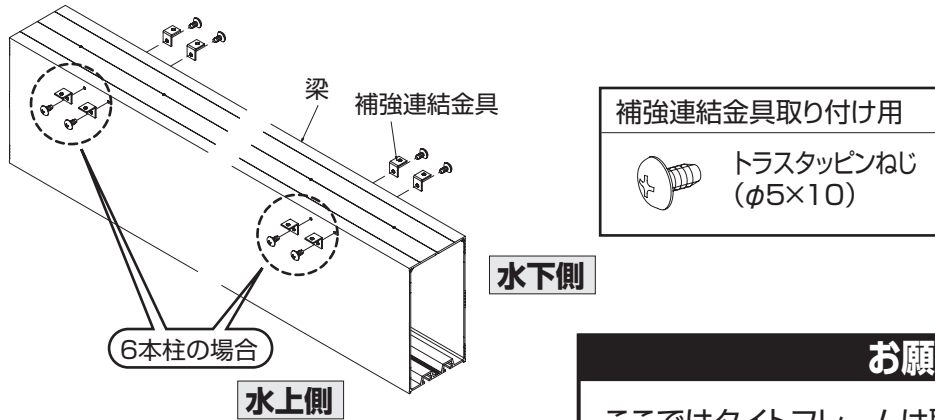
指示のない軒天材は、材料から同一長さを必要枚数切出してください。



■柱・梁の取り付け

1. 補強連結金具の取り付け

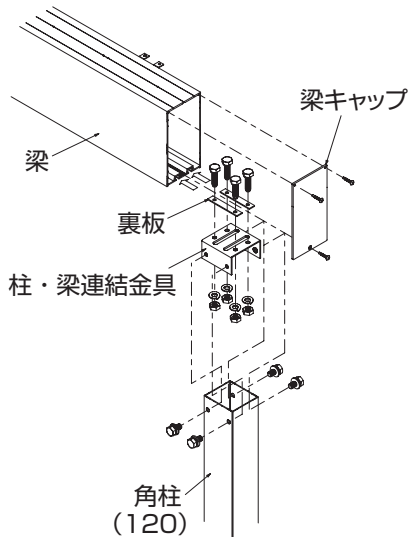
6本柱の場合は、水上側と水下側の両方に付けてください。



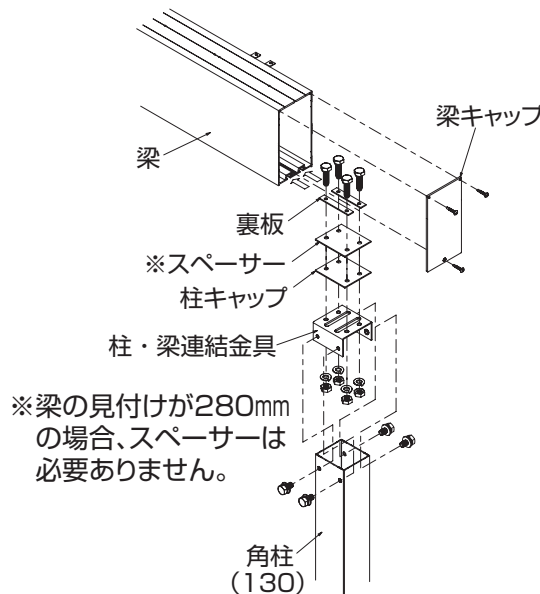
お願い
ここではタイトフレームは取り付けないでください。

2. 梁・柱の取り付け

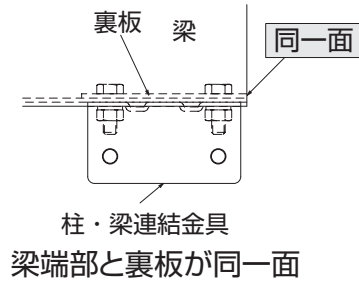
■角柱(120角)の場合



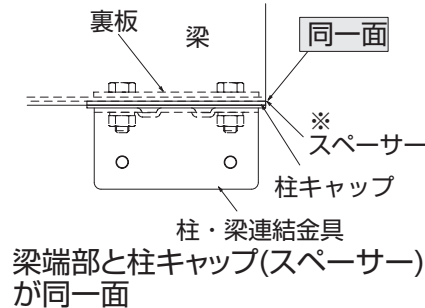
■角柱(130角)の場合



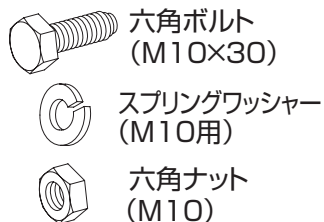
ポイント



ポイント



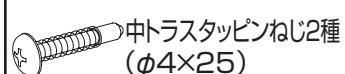
柱・梁連結金具取り付け用(本体に同梱)



柱・梁連結用(本体に同梱)

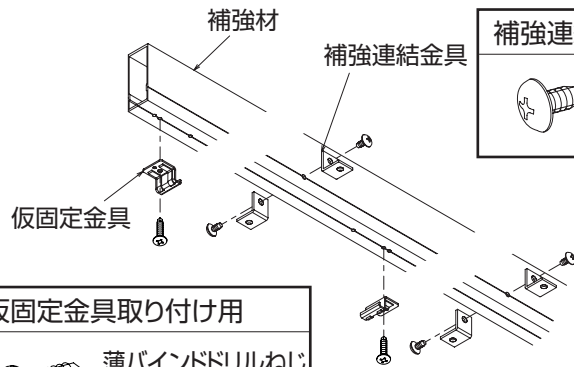


梁キャップ取り付け用(本体に同梱)



■補強材の取り付け

1.補強連結金具・仮固定金具の取り付け



補強連結金具取り付け用

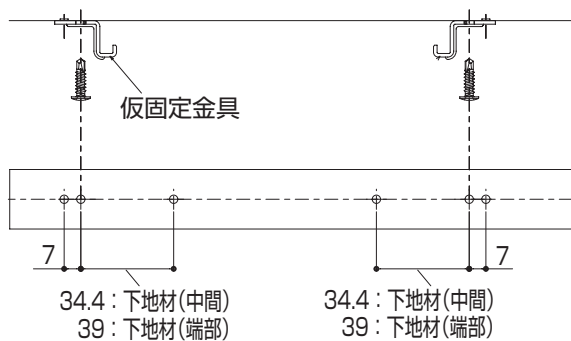
トラスタッピンねじ
($\phi 5 \times 10$)

仮固定金具取り付け用

薄バインドドリルねじ
($\phi 4 \times 16$)

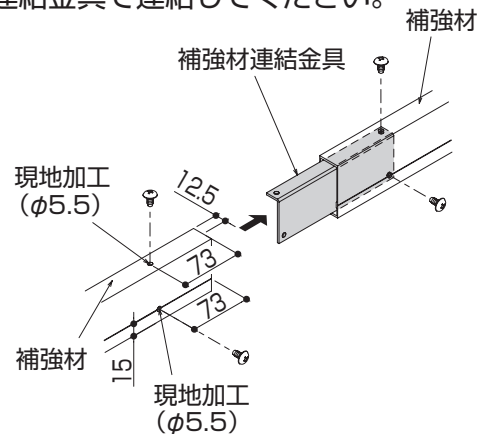
ポイント

仮固定金具は、回り止めの突起を穴位置にあわせてねじで固定してください。



たて連棟の場合

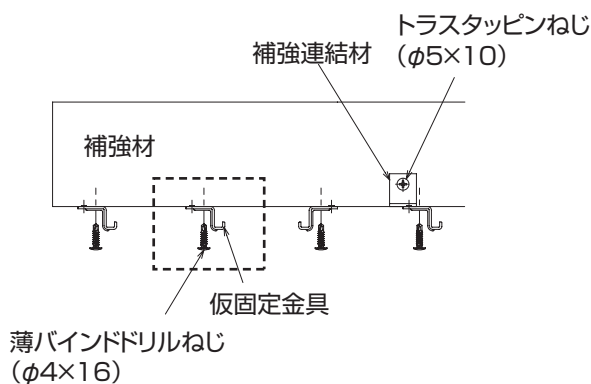
下図の位置に穴加工 ($\phi 5.5$) を行い、補強材連結金具で連結してください。



補強材連結金具取り付け用

トラスタッピンねじ
($\phi 5 \times 10$)

- 仮固定金具は、間口方向の両端に使う2本の補強材にのみ取り付けてください。
- 補強材の加工穴に仮固定金具の回り止めの突起があうよう方向に取り付けてください。
- 内の仮固定金具の数は奥行寸法によって異なります。



薄バインドドリルねじ
($\phi 4 \times 16$)

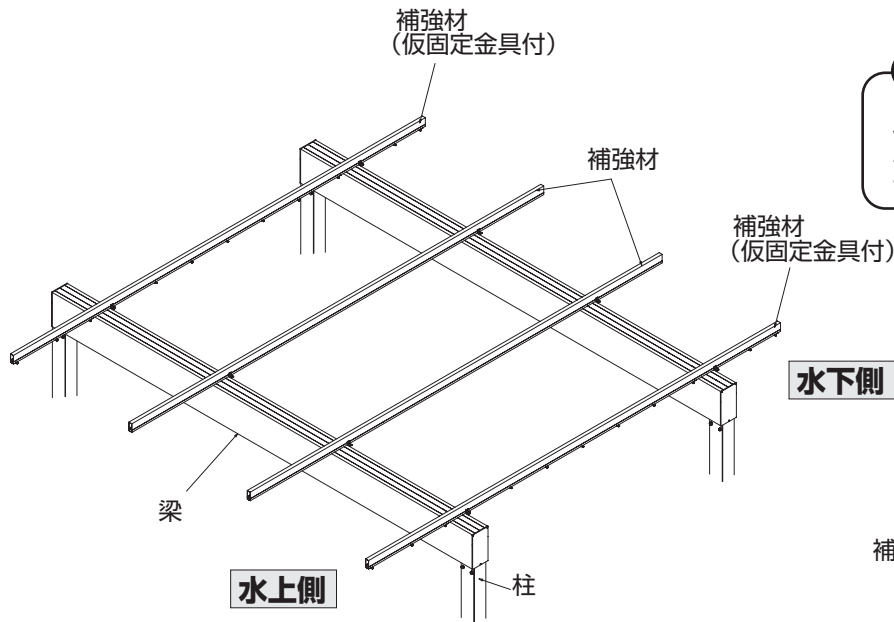
2.補強材の取り付け

4本柱の場合

お願い

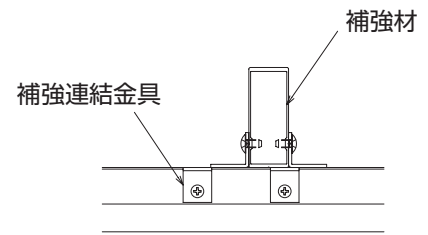
4本柱の場合、折板にルーフボルトを取り付けの際に補強材と干渉します。
補強材の位置をずらして仮置きし、ルーフボルト取り付け後に固定してください。

① 梁に補強材を仮置きしてください。

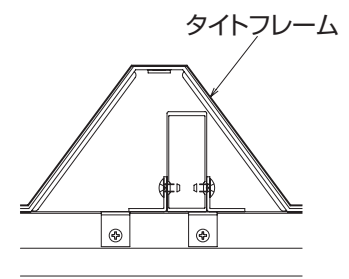
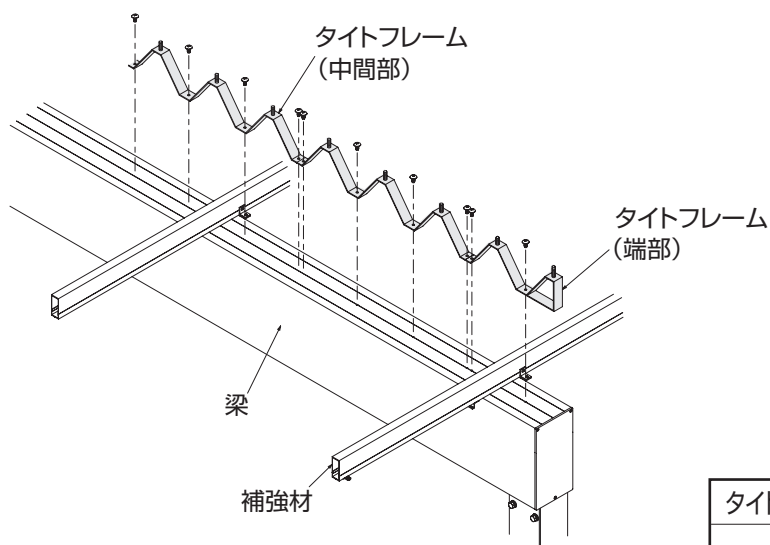


ポイント

仮固定金具付補強材は両端に取り付けてください。



② タイトフレームを取り付けてください。



タイトフレーム取り付け用(本体に同梱)

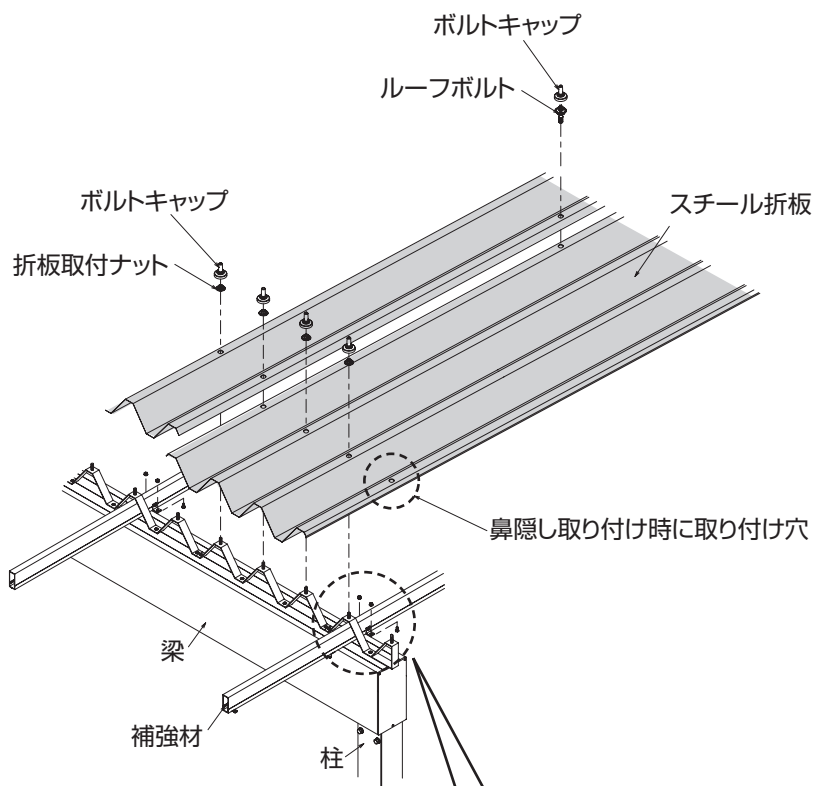
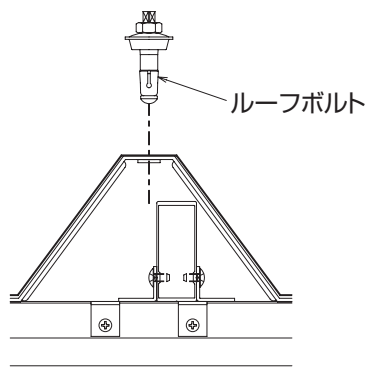


トラスタッピンねじ
(φ5×10)

52 補強材の取り付け

③折板を取り付けてください。

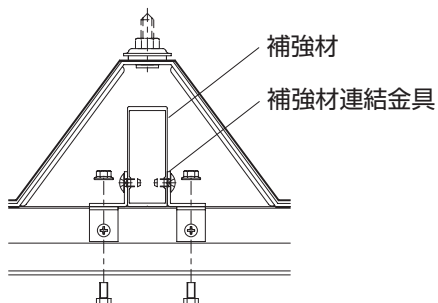
折板・鼻隠しの切り詰め・加工、および取り付けは、各折板カーポート本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。



お願い

両端部のタイトフレームボルトには折板取付ナットを取り付けしないでください。
鼻隠し施工時に取り付けます。

④補強連結金具を固定してください。



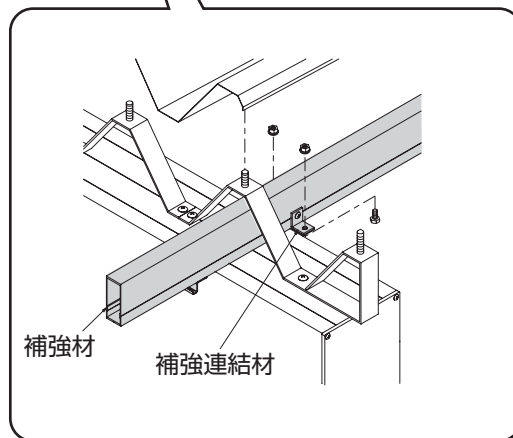
補強連結金具取り付け用



十字穴付六角ボルト
(M5×10)

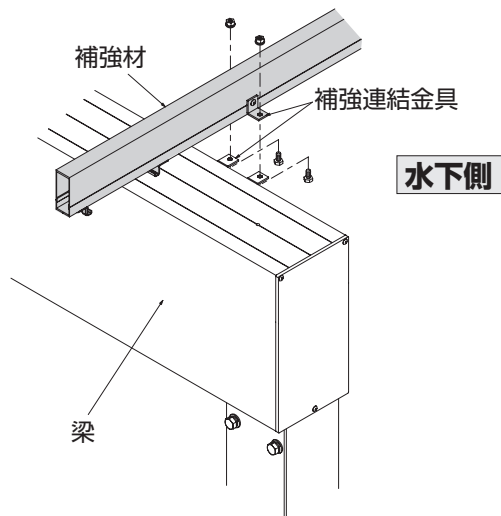
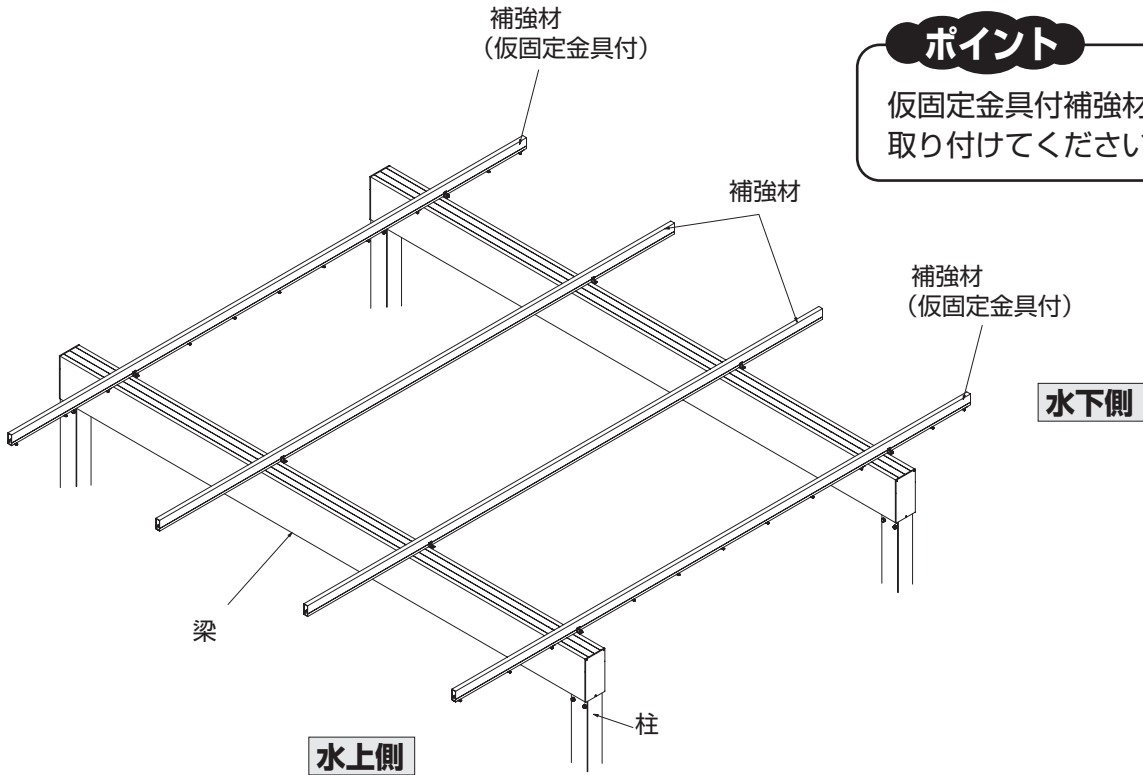


フランジ付六角ナット
(M5)



6・8本柱の場合

① 梁に補強材を取り付けてください。



補強連結金具取り付け用



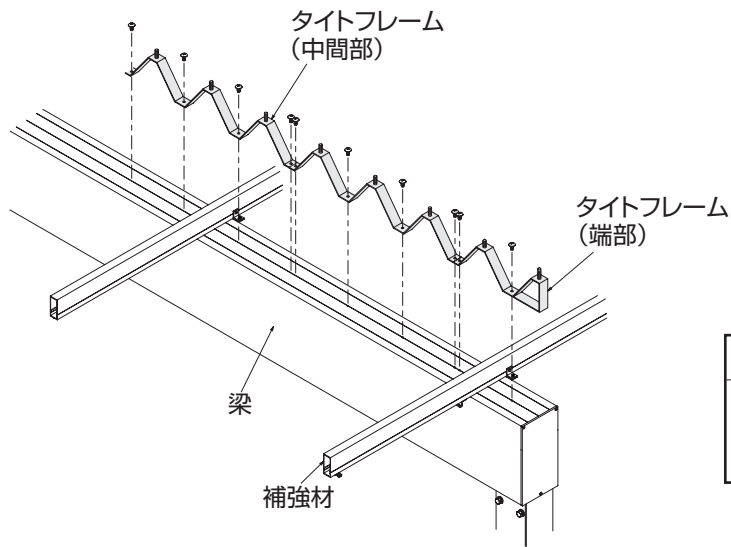
十字穴付六角ボルト
(M5×10)



フランジ付六角ナット
(M5)

54 補強材の取り付け

② タイトフレームを取り付けてください。



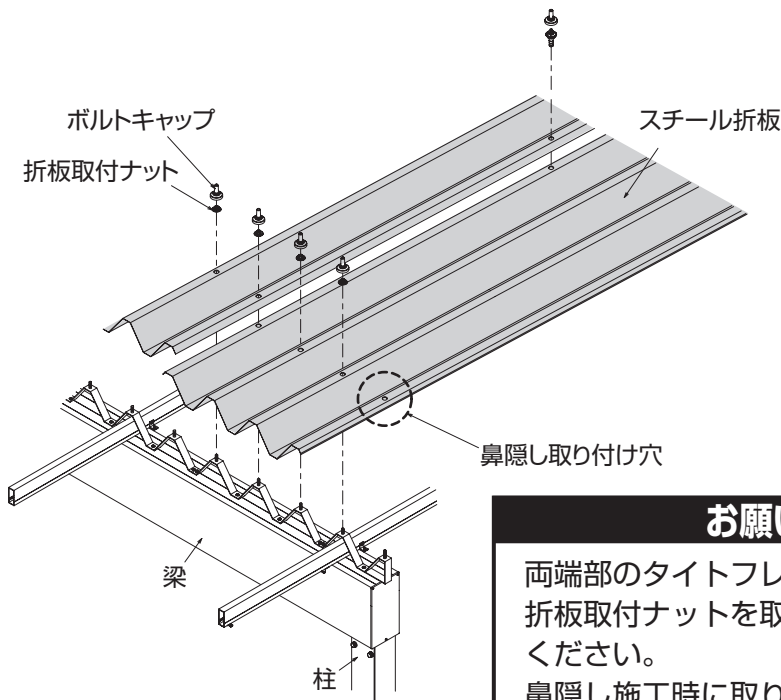
タイトフレーム取り付け用(本体に同梱)



トラスタッピンねじ
(φ5×10)

③ 折板を取り付けてください。

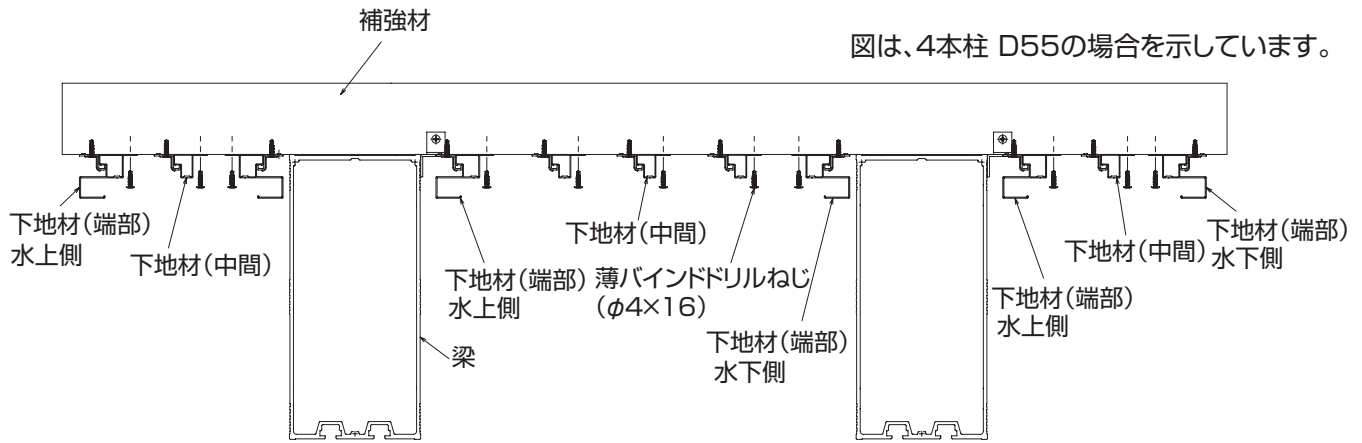
折板・鼻隠しの切り詰め・加工、および取り付けは、各折板カーポート本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。



お願い

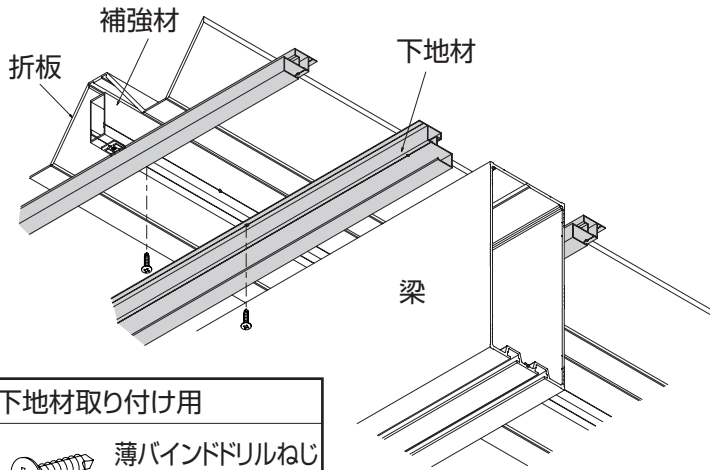
両端部のタイトフレームボルトには折板取付ナットを取り付けしないでください。
鼻隠し施工時に取り付けます。

■下地材の取り付け



図は、4本柱 D55の場合を示しています。

仮固定金具を用いて下地材を仮固定し、下地材の穴加工(φ4.5)を補強材の下穴(φ3.5)の位置にあわせて、下地材を取り付けてください。

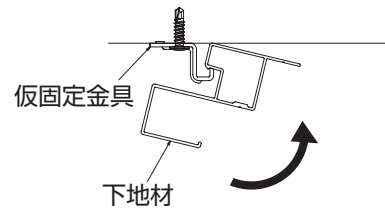


下地材取り付け用

薄バインドドリルねじ
(φ4×16)

ポイント

下地材を回転させながら仮固定金具にはめ込んでください。

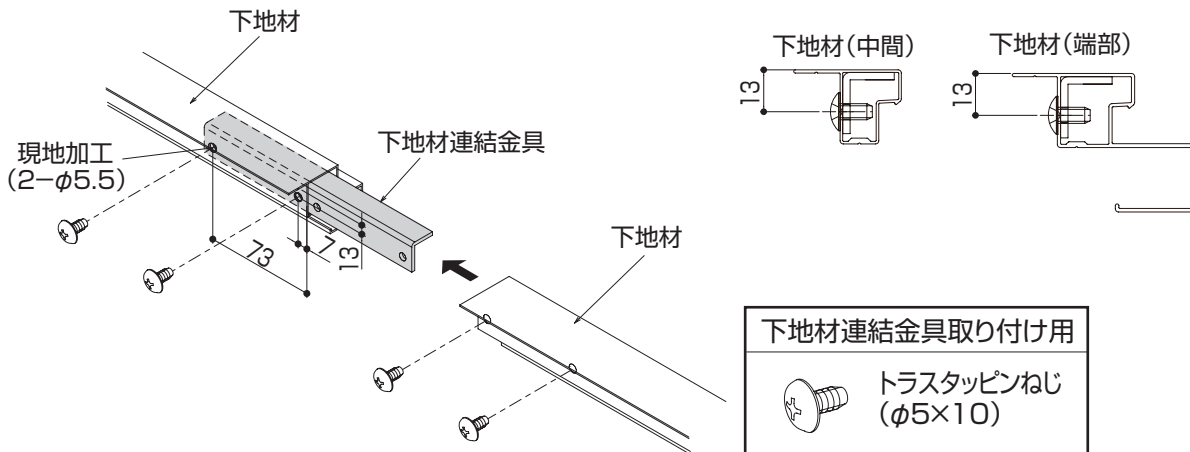


注意

仮固定後、必ずねじ留めを行ってください。

3台用、横連棟の場合

下図の位置に穴加工(φ5.5)を行い、下地材連結金具で連結してください。



下地材連結金具取り付け用

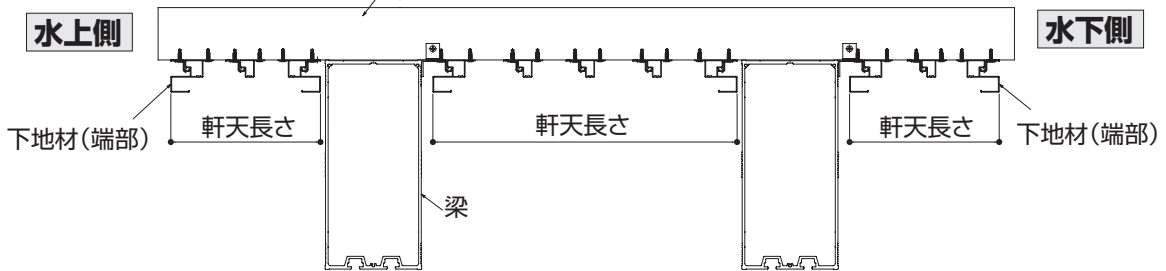
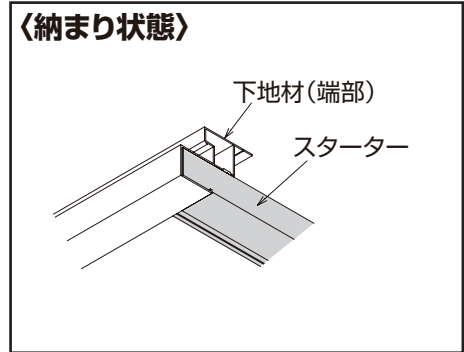
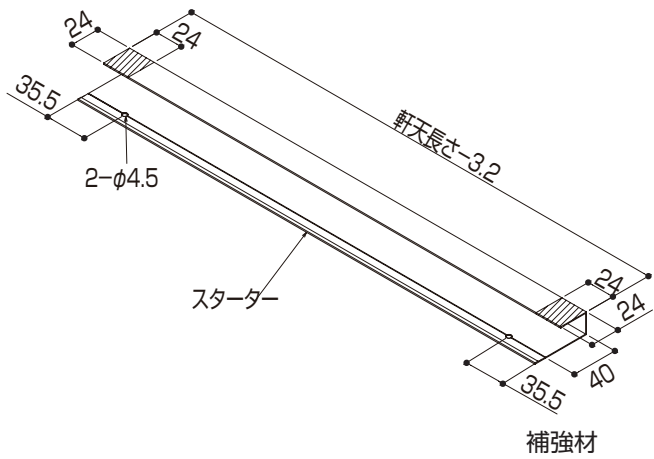
トラスタッピンねじ
(φ5×10)

56 スターターの加工・取り付け

■スターターの加工・取り付け

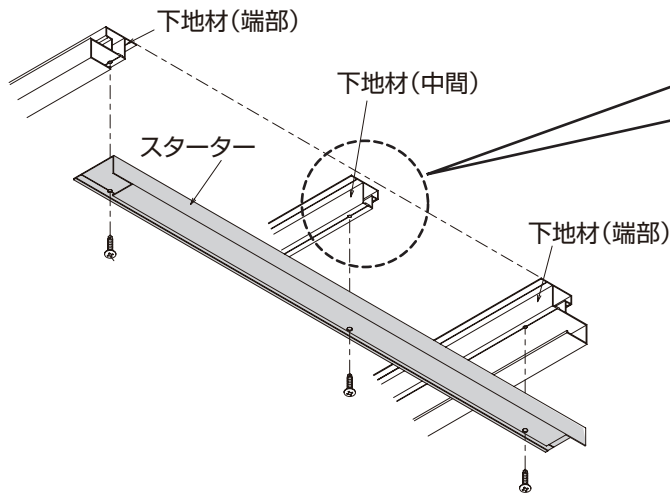
1. スターターの加工

軒天長さにあわせて、スターターに切断・切り欠き加工と穴加工を行ってください。

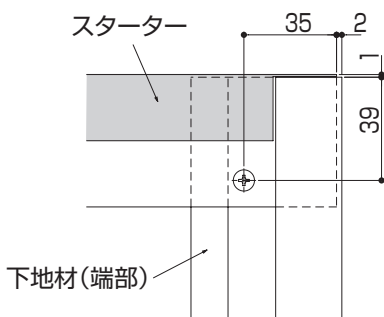
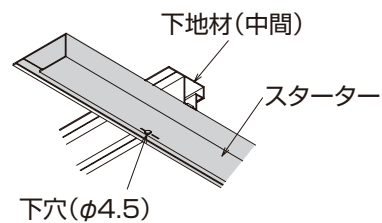


2. スターターの取り付け

軒天の張り始め側にスターターを取り付けてください。



スターターを取り付け位置にあててください。ケガキ溝の交点に印をつけ、下穴(φ4.5)をあけてください。



「下から見上げ図」

スターター取り付け用

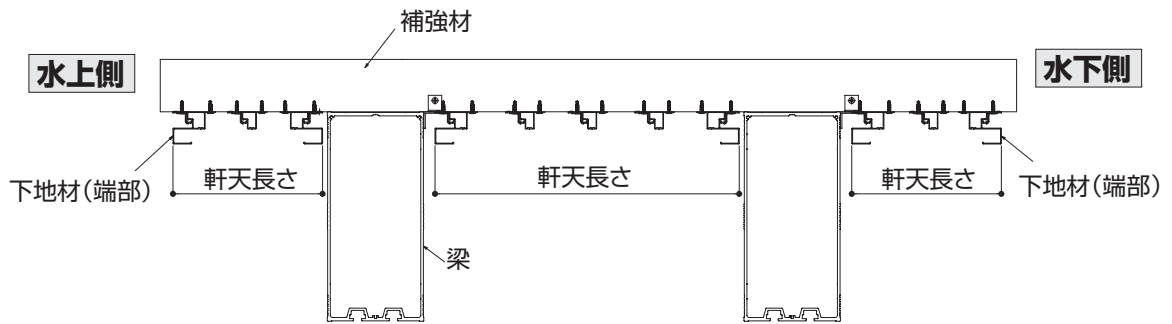
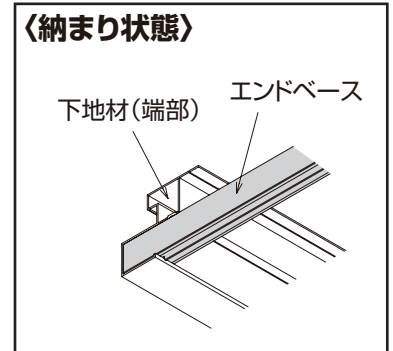
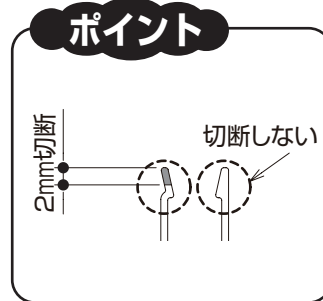
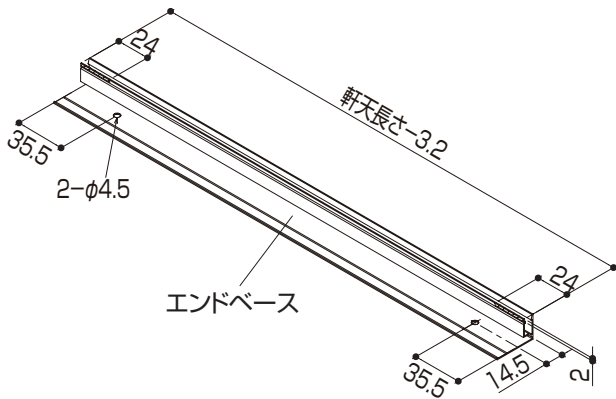


薄バインドリルねじ
(φ4×16)

■エンドベースの加工・取り付け

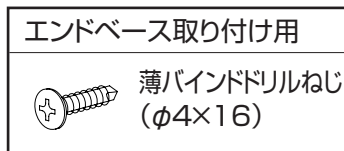
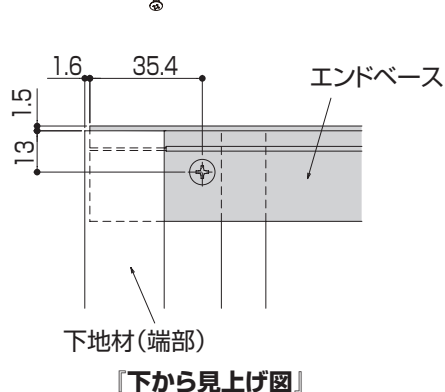
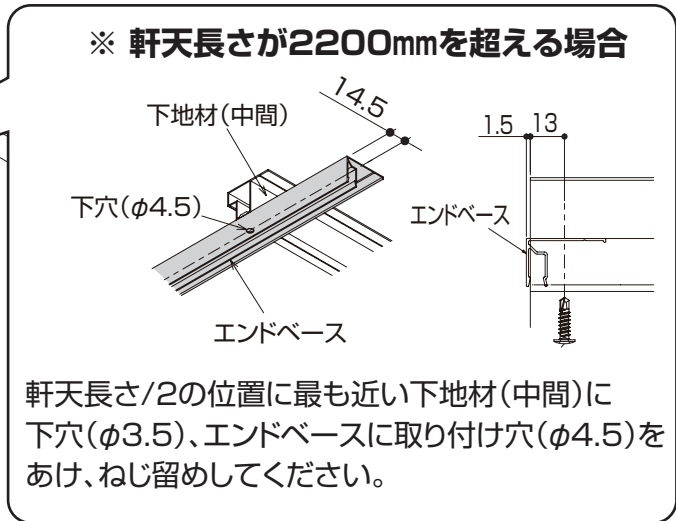
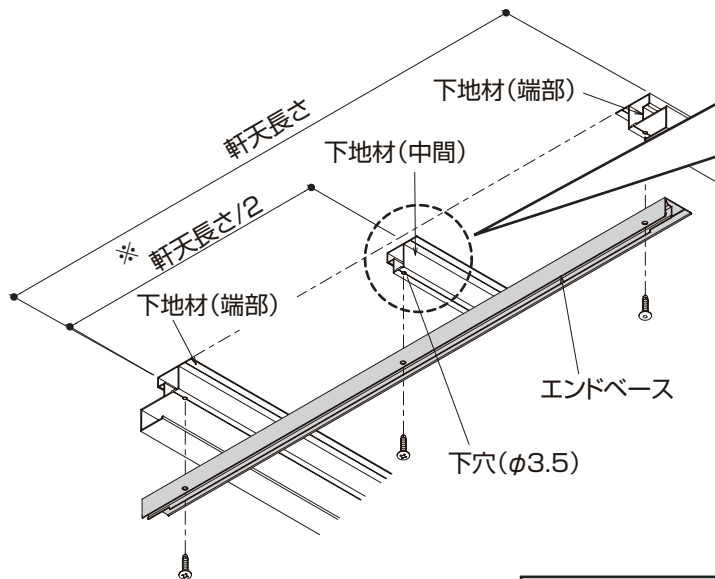
1. エンドベースの加工

軒天長さにあわせて、エンドベースに切欠き加工と穴加工を行ってください。



2. エンドベースの取り付け

軒天の張り終り側にエンドベースを取り付けてください。

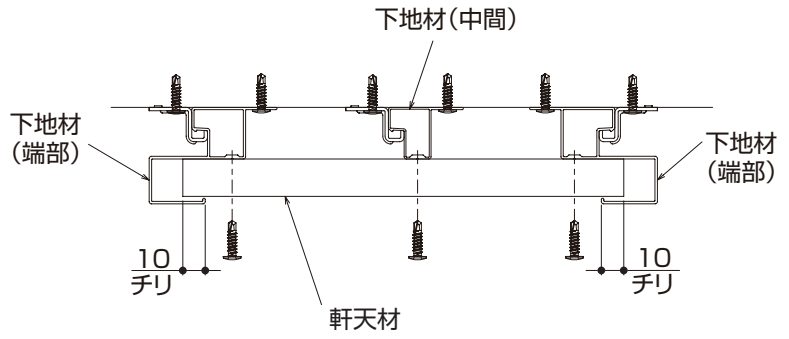
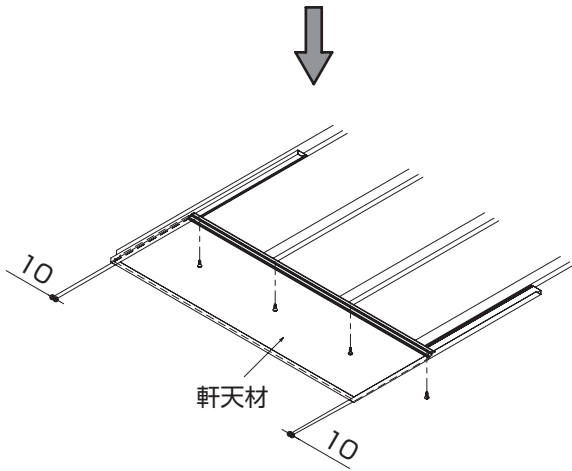
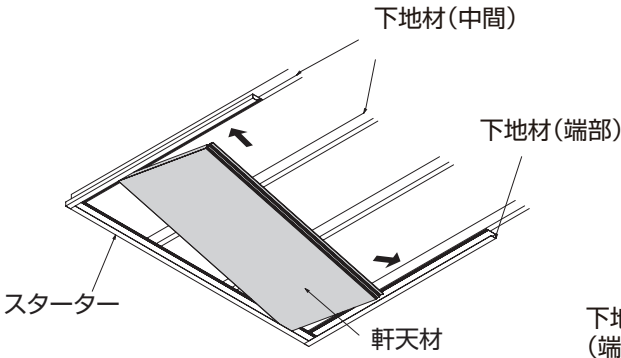


■軒天材の取り付け

左右の下地材(端部)に軒天材を差し込み、左右のチリをあわせて、ねじで取り付けてください。

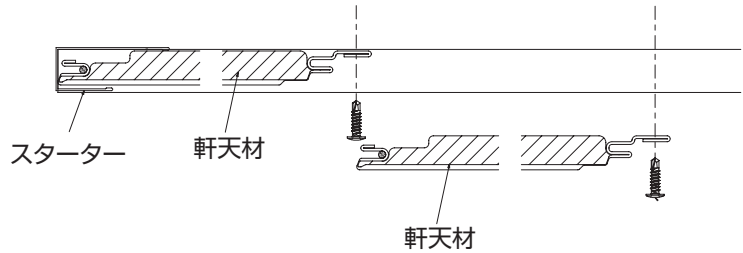
ポイント

事前に軒天材の両端から10mmの位置に印を付けると、チリあわせが行いやすくなります。



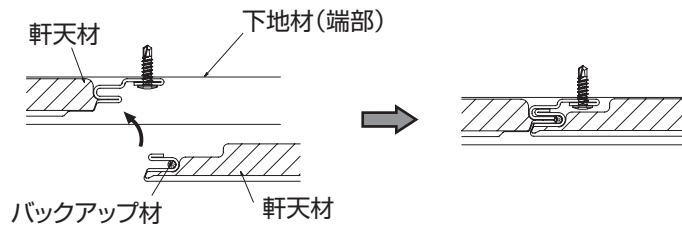
軒天材取り付け用

薄バインドドリルねじ
(φ4×16)



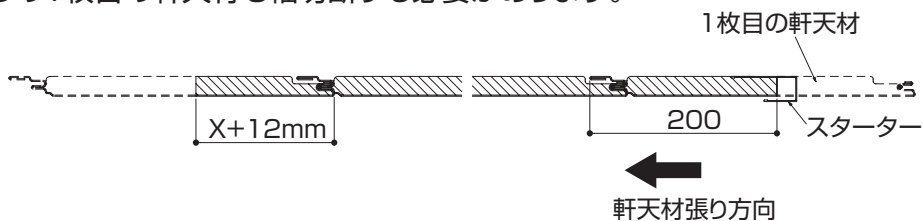
ポイント

バックアップ材を潰すように押し込んでください。



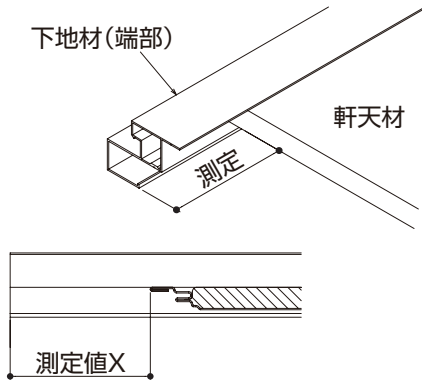
単色間口60の場合

張り始めの1枚目の軒天材も幅切断する必要があります。



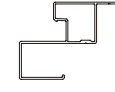
<軒天材の幅調整>

- ①一つ手前の軒天材から下地材(端部)の端までの寸法を測定してください。




お願い

測定は、下地材(端部)で行ってください。
下地材(中間)は寸法が短くなっています。

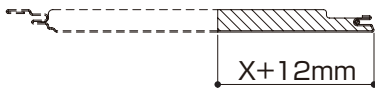


下地材(端部)



下地材(中間)

- ②下図のように「測定した値+12mmの幅」で軒天材を切断してください。



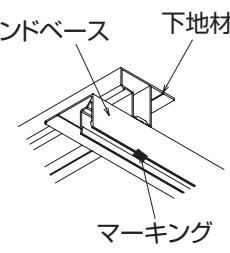
<幅調整した軒天材の取り付け>

- ①前ページと同じ要領で、軒天材をはめ込んでください。
- ②右図の位置に下穴(φ3.5)をあけて、ねじで固定してください。

ポイント

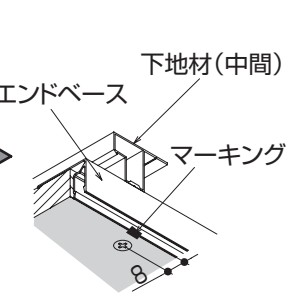
下地材の位置をエンドベースにねじ取り付け位置をマーキングしてください。

エンドベース 下地材(中間)

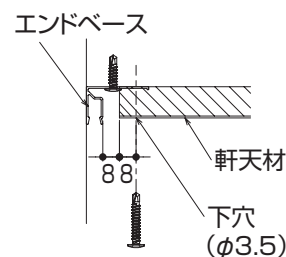
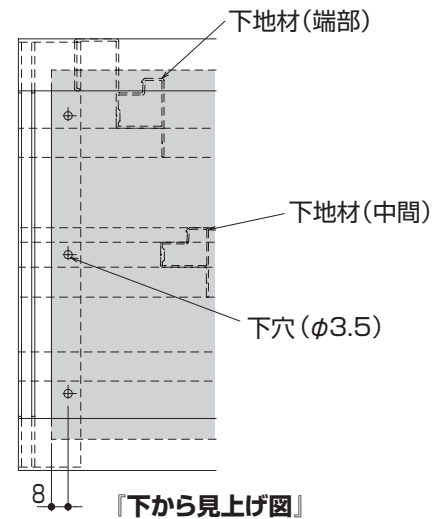


マーキング

エンドベース 下地材(中間)



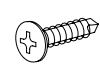
マーキング



注意

軒天材が凹まないように、軒天材表面に着座した位置以上に締め付けないでください。

軒天材取り付け用

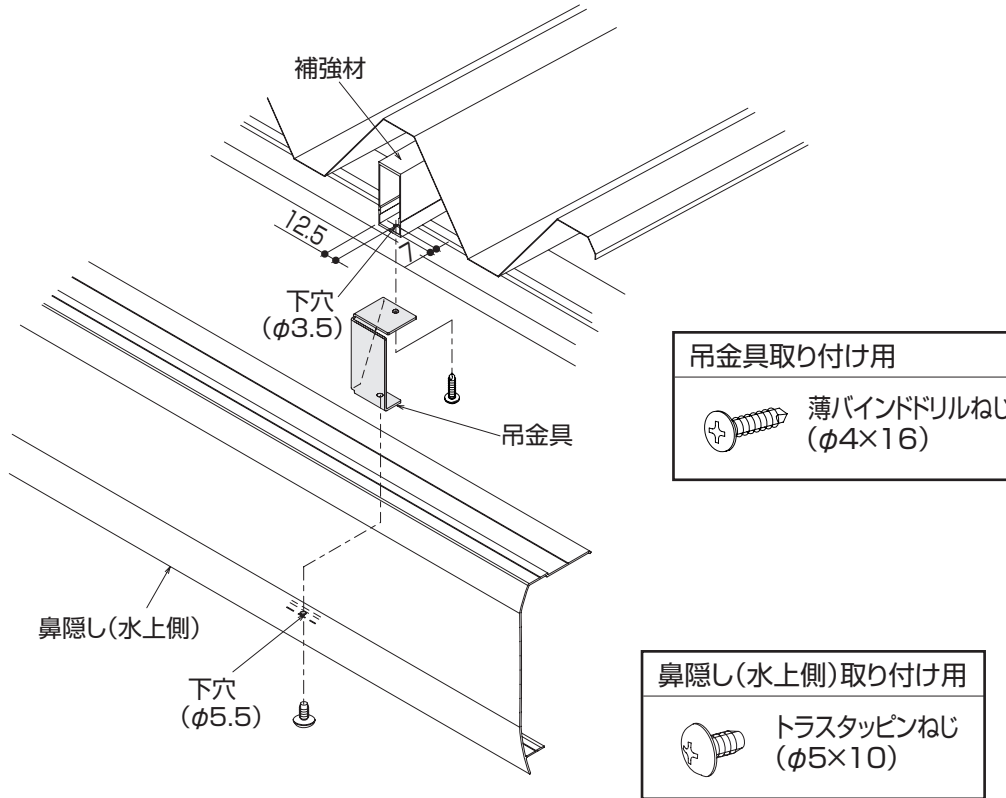


薄バインドリルねじ
(φ4×25)

60 吊金具の取り付け

■吊金具の取り付け

横連棟・3台用の場合、吊金具取り付け位置を参考に、補強材の吊金具を取り付けてください。



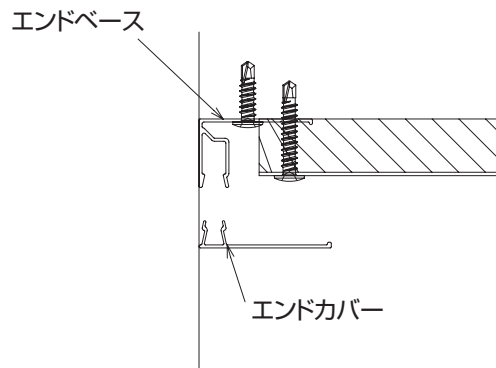
<吊金具取り付け位置>

	吊金具：1ヶ所	吊金具：2ヶ所	吊金具：3ヶ所
4・8本柱	D48・18	D55・18 D60・18 D55・30	D60・30 D48・48
6本柱	—	D48・18 D60・30	D55・18 D60・18 D55・30 D48・48

上記寸法の位置に補強材がない場合は、最も近い補強材に吊金具取付を取り付けてください。

■エンドカバーの取り付け

エンドカバーを「軒天長さ-51mm」の長さに切断し、取り付けてください。

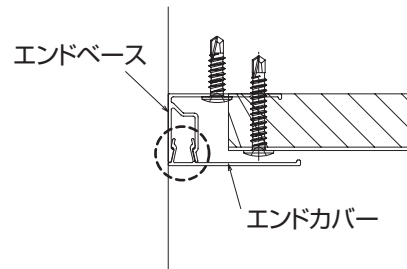
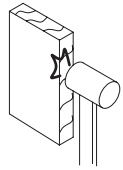


お願い

エンドベースがしっかり勘合し、脱落しない事を確認してください。その他の材についてもねじ留めがされている事を確認ください。

ポイント

- 木づち、木片などを使用すると取り付けやすくなります。
- エンドカバーのヒレを内側に入れてください。



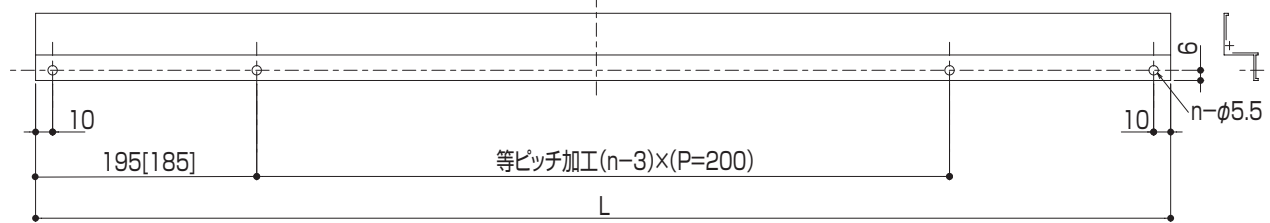
62 結露受けの取り付け (オプション)

■結露受けの取り付け 改訂

1. 結露受け・梁の加工

●結露受け

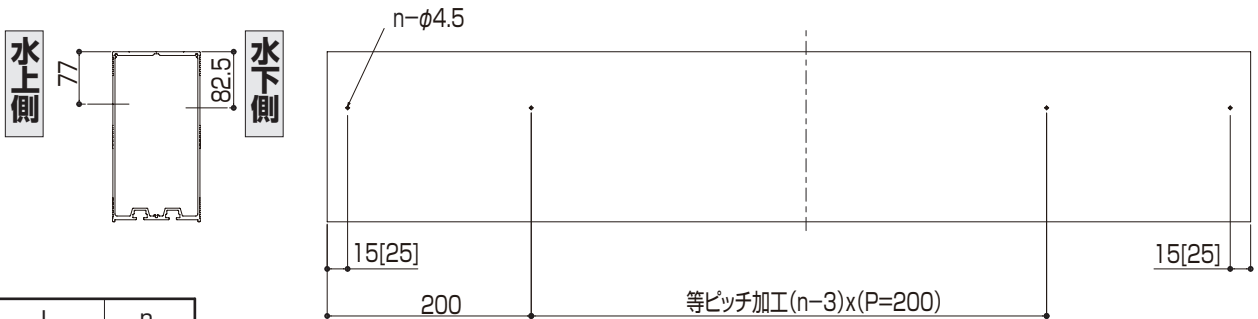
D36・48・55の場合は、結露受けの部材をそれぞれ3590、4790、5390に切断し、穴加工してください。



[]内寸法はD60の場合です。

●梁

水上側・水下側のそれぞれに穴加工をしてください。

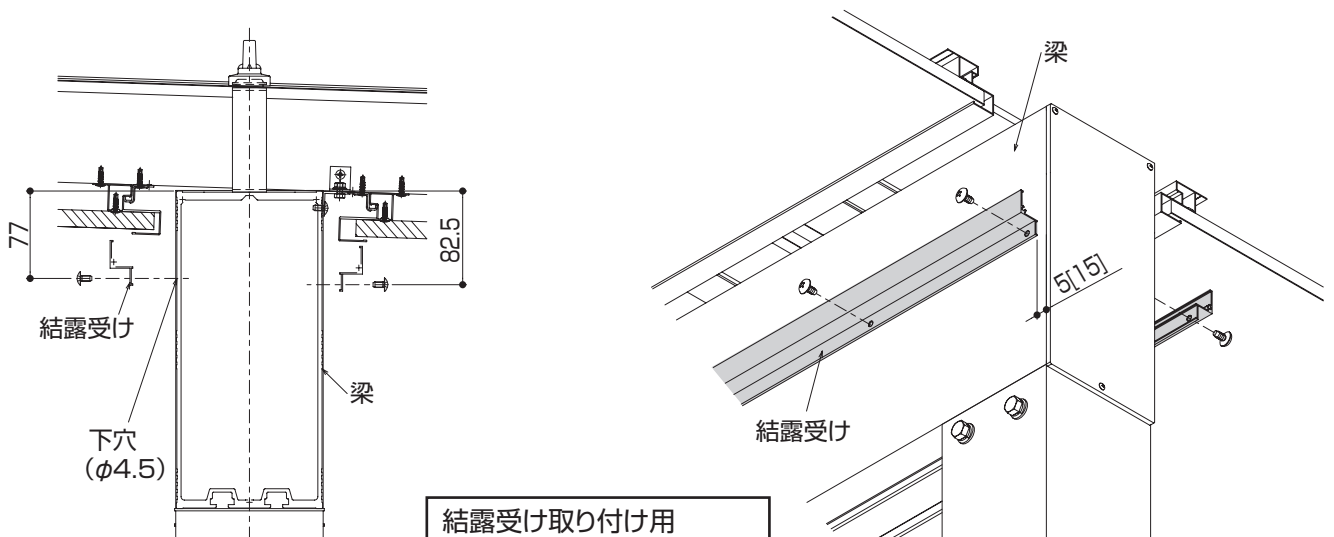


[]内寸法はD60の場合です。

D	L	n
30	2990	16
36	3590	19
48	4790	25
55	5390	28
60	5970	31

2. 結露受けの取り付け

梁に下穴(φ4.5)をあけ、結露受けを取り付けてください。



結露受け取り付け用



トラスタッピンねじ
(φ5×10)

[]内寸法はD60の場合です。

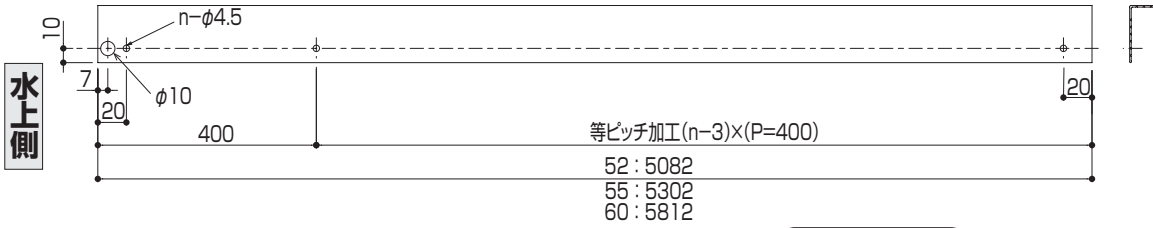
■目板カバーの取り付け 改訂

1.目板カバーの加工

目板カバーを切断し、穴加工してください。

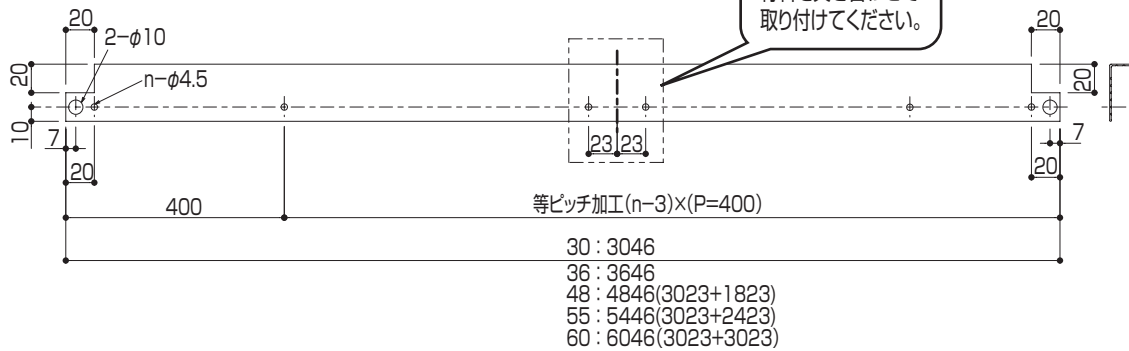
図は正面右側を示しています。
正面左側は逆勝手の加工を行ってください。

●側面(正面右側)



D	L	n
52	5082	14
55	5302	15
60	5812	16

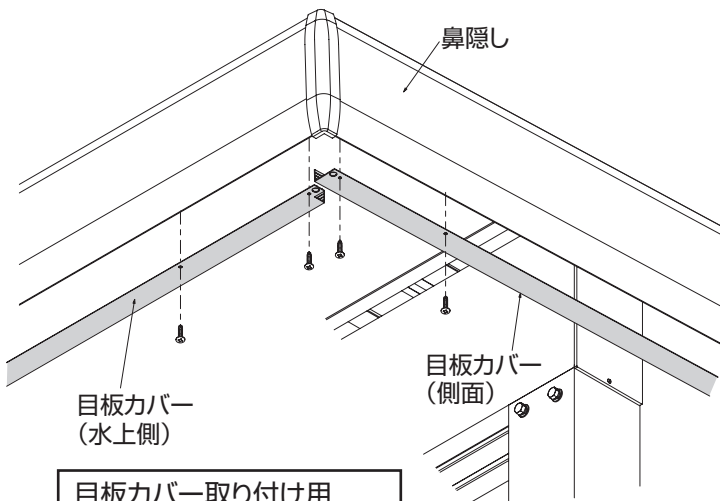
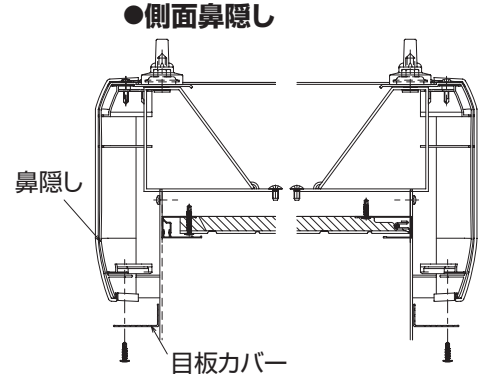
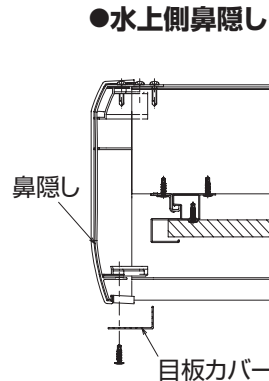
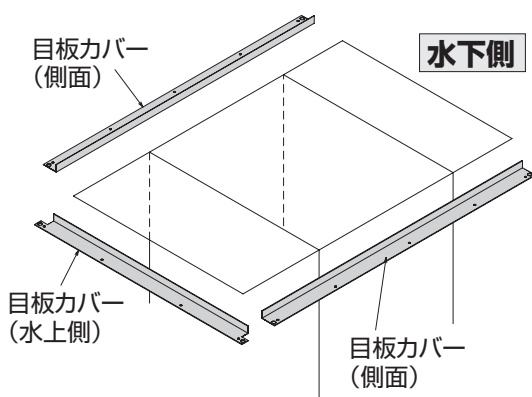
●水上側



D	L	n
30	3046	9
36	3646	10
48	4846	13
55	5446	15
60	6046	16

2.目板カバーの取り付け

鼻隠しに下穴($\phi 3.5$)をあけ、目板カバーを取り付けてください。



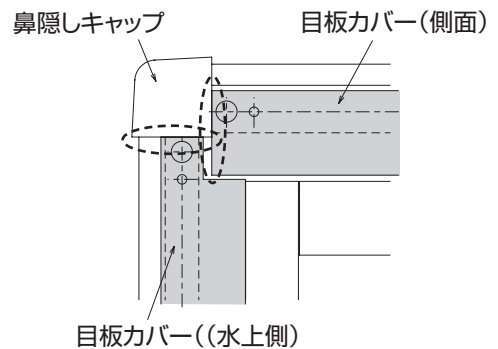
目板カバー取り付け用



薄バインドリルねじ
($\phi 4 \times 16$)

ポイント

鼻隠し端部に目板カバー端部をあわせて取り付けてください。



同梱一覧



■軒天材

姿図	-
品名	パネル
品番	2K-47067 (3K-43924)
GCD-(DS)KEA40-3-##	3
GCD-(DS)KEA40-8-##	8

()は木目色の場合

■補強材

姿図	-
品名	補強材
品番	-
GCD-(DS)KEB##-3	3
GCD-(DS)KEB##-4	4
GCD-(DS)KEB##-5	5

■下地材

姿図	-
品名	下地材
品番	-
GCD-(DS)KED##-1	1
GCD-(DS)KED##-6	6
GCD-(DS)KED##-8	8

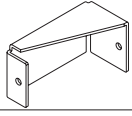


■横連棟部品

姿図		
品名	補強・連結材	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品番	6K-13067	ET-5010
GCD-(DS)KEEM-3	3	12
GCD-(DS)KEEM-4	4	16


■たて連棟部品

姿図		
品名	補強・連結材	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品番	6K-13068	ET-5010
GCD-(DS)KEEJ-3	3	12
GCD-(DS)KEEJ-4	4	16
GCD-(DS)KEEJ-5	5	20


■吊金具

姿図			
品名	補強・連結材	トラスタッピンねじ (φ5×10)	薄バインドリルねじ (φ4×16)
品番	6K-13065	ET-5010	4K-16374
GCD-(DS)KEEMA-3	1	1	1
GCD-(DS)KEEMA-4	2	2	2
GCD-(DS)KEEMA-5	3	3	3

■結露受け(オプション)

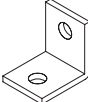



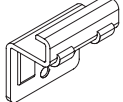
部材・部品	部材	部品
姿図	-	
品名	上アングル	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品番	-	ET-5010
GCD-(DS)KEKA-A	2	38
GCD-(DS)KEKA-B	2	62







■目板カバー(オプション)

部材・部品	部材	部品
姿図	-	
品名	アングル	アングル
品番	-	-
GCD-(DS)KEKB-A	1	2
GCD-(DS)KEKB-B	2	2
備考	間口用	側面用
		-

廻り縁

部材・部品	部材					
姿図	-	-	-	-	-	-
品名	下地材	J型廻り縁	J型廻り縁	たて廻り縁2型ベース材	たて廻り縁2型ベース材	カバー
品番	-	-	-	-	-	-
GCD-(DS)KEC30-4	6	1	2	1	2	1
GCD-(DS)KEC36-4	6	1	2	1	2	1
GCD-(DS)KEC48-4	6	1	2	1	2	1
GCD-(DS)KEC55-4	6	1	2	1	2	1
GCD-(DS)KEC60-4	6	1	2	1	2	1
GCD-(DS)KEC30-6	8	2	2	2	2	2
GCD-(DS)KEC36-6	8	2	2	2	2	2
GCD-(DS)KEC48-6	8	2	2	2	2	2
GCD-(DS)KEC55-6	8	2	2	2	2	2
GCD-(DS)KEC60-6	8	2	2	2	2	2
GCD-(DS)KEC30-8	10	3	2	3	2	3
GCD-(DS)KEC36-8	10	3	2	3	2	3
GCD-(DS)KEC48-8	10	3	2	3	2	3
備考	-	スターター中間用	スターター張出用	エンドベース中間用	エンドベース張出用	エンドアタッチメント中間用

部材・部品	部材	部品				
姿図	-					
品名	カバー	補強連結材	トラスタッピンねじ (φ5×10)	十字穴付六角ボルト (M5×10)	フランジ付六角ナット (M5)	下胴縁取付具
品番	-	6K-13066	ET-5010	2K-6621	3K-19171	4K-16343
GCD-(DS)KEC30-4	2	64	64	32	32	32
GCD-(DS)KEC36-4	2	72	72	36	36	32
GCD-(DS)KEC48-4	2	96	96	48	48	32
GCD-(DS)KEC55-4	2	112	112	56	56	32
GCD-(DS)KEC60-4	2	120	120	60	60	32
GCD-(DS)KEC30-6	2	72	72	36	36	32
GCD-(DS)KEC36-6	2	96	96	48	48	32
GCD-(DS)KEC48-6	2	120	120	60	60	32
GCD-(DS)KEC55-6	2	120	120	60	60	32
GCD-(DS)KEC60-6	2	144	144	72	72	32
GCD-(DS)KEC30-8	2	48	48	24	24	36
GCD-(DS)KEC36-8	2	64	64	32	32	36
GCD-(DS)KEC48-8	2	80	80	40	40	36
備考	エンドアタッチメント 張り出し用	-	-	-	-	-

部材・部品	部品					
姿図						
品名	薄バインドドリルねじ (φ4×16)	薄バインドドリルねじ (φ4×16)	薄バインドドリルねじ (φ4×16)	薄バインドドリルねじ (φ4×16)	薄バインドドリルねじ (φ4×16)	薄バインドドリルねじ (φ4×25)
品番	4K-16374	4K-16374	4K-16374	4K-16374	4K-16374	4K-16308
GCD-(DS)KEC30-4	32	128	16	7	128	16
GCD-(DS)KEC36-4	32	144	16	7	160	16
GCD-(DS)KEC48-4	32	192	16	7	208	16
GCD-(DS)KEC55-4	32	224	16	7	240	16
GCD-(DS)KEC60-4	32	240	16	7	272	16
GCD-(DS)KEC30-6	32	48	16	8	128	16
GCD-(DS)KEC36-6	32	64	16	8	160	16
GCD-(DS)KEC48-6	32	80	16	8	208	16
GCD-(DS)KEC55-6	32	80	16	8	240	16
GCD-(DS)KEC60-6	32	96	16	8	272	16
GCD-(DS)KEC30-8	36	54	18	10	144	18
GCD-(DS)KEC36-8	36	72	18	10	180	18
GCD-(DS)KEC48-8	36	90	18	10	234	18
備考	下地材仮固定金具 取り付け用	下地材取り付け用	廻り縁取り付け用	廻り縁ベース取り付け用	軒天材取り付け用	軒天材取り付け用

